浴室個室化改良工事

図面リスト							
建築				電気		機械	
A-01	表紙 図面リスト		（門真本署）	E-01	電気設備　特記仕様書	M-01	機械設備　特記仕様書
A-02	特記仕様書１	A-23	１階平面図	E-02	電気設備　器具参考姿図		（消防本部）
A-03	特記仕様書２	A-24	既存仕上表･既存平面詳細図･既存建具表		（消防本部）	M-02	機械設備　１階平面図（現況）
A-04	特記仕様書３	A-25	既存展開図１･既存部分詳細図	E-03	電気設備　１階平面図	M-03	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-05	特記仕様書４	A-26	既存展開図２	E-04	電灯設備　浴室平面詳細図	M-04	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-06	付近見取図	A-27	改修後仕上表･改修後平面詳細図･改修後建具表	E-05	弱電・自動火災報知設備　浴室平面詳細図		（守口消防署　東部出張所）
	（消防本部）	A-28	改修後展開図１		（守口消防署　東部出張所）	M-05	機械設備　２階平面図（現況・撤去、改修）
A-07	１階平面図	A-29	改修後展開図２	E-06	電気設備　３階平面図	M-06	機械設備　３階平面図（現況）
A-08	既存仕上表･既存平面詳細図･既存建具表	A-30	改修後展開図３	E-07	電灯設備　浴室平面詳細図	M-07	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-09	既存展開図･既存母屋受伏図･既存天井伏図	A-31	既存改修後天井伏図･改修後床伏図	E-08	弱電・自動火災報知設備　浴室平面詳細図	M-08	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-10	既存ユニットバス詳細図		（門真消防署　南部出張所）		（門真本署）		（門真本署）
A-11	改修後仕上表･改修後平面詳細図･改修後建具表	A-32	１階平面図	E-09	電気設備　１階平面図	M-09	機械設備　１階平面図（現況）
A-12	改修後展開図	A-33	既設仕上表･既設平面詳細図･既設建具表	E-10	電灯設備　浴室平面詳細図	M-10	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-13	改修後母屋受伏図･改修後天井伏図･改修後床伏図	A-34	既存展開図１	E-11	弱電・自動火災報知設備　浴室平面詳細図	M-11	衛生設備　浴室平面詳細図（改修）
	（守口消防署　東部出張所）	A-35	既存展開図２		（門真消防署　南部出張所）	M-12	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去）
A-14	３階平面図	A-36	既存部分詳細図	E-12	電気設備　１階平面図		（門真消防署　南部出張所）
A-15	既存仕上表･既存平面詳細図･既存建具表	A-37	改修後仕上表･改修後平面詳細図･改修後建具表	E-13	電灯設備　浴室平面詳細図	M-13	機械設備　１階平面図（現況・撤去）
A-16	既存展開図	A-38	改修後展開図１	E-14	弱電・自動火災報知設備　浴室平面詳細図	M-14	換気設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-17	既存部分詳細図	A-39	改修後展開図２			M-15	衛生設備　浴室平面詳細図（現況・撤去、改修）
A-18	改修後仕上表･改修後平面詳細図･改修後建具表	A-40	改修後展開図３				
A-19	改修後展開図１	A-41	既存改修後天井伏図･改修後床伏図				
A-20	改修後展開図２						
A-21	改修後展開図３						
A-22	改修後床伏図･既存改修後天井伏図						

date			設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3		株式会社 匠（たくみ）設計				浴室個室化改良工事	－	A-01
						図面名 表紙・図面リスト		

建 築 改 修 工 事 特 記 仕 様 書

Ⅰ 工 事 概 要

1.工事名称　浴室個室化改良工事

2.工事場所　門真市殿島町7-1他

3.工　　期　契約書による

4.工事概要

施設名称	改修対象床面積
消防本部	17.32 ㎡
守口消防署 東部出張所	16.37 ㎡
門真本署	19.48 ㎡
門真消防署 南部出張所	21.30 ㎡

5.工事範囲　浴室改修に係る、建築工事、電気設備工事、機械設備工事

6.別途工事

7.その他

Ⅱ 工 事 仕 様

1．共通仕様　(1.1.1)

この特記仕様書は、本工事に適用する仕様を特記するものである。

図面及び特記仕様書に記載のない事項はすべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改修仕」という）、及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という）による。仕様書はともに最新版とする。

本工事に、電気設備工事及び機械設備工事を含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。

本工事は、本組合工事請負契約約款に基づき施工されるものとする。

本工事は下記により施工し、相互間の内容に相違がある場合の優先順位は、記載の順序とする。

1．現場説明書（質疑回答書を含む）
2．特記仕様書（地業、鉄筋、コンクリート、鉄骨の各工事については、構造仕様書優先）
3．設計図面（地業、鉄筋、コンクリート、鉄骨の各工事については、構造図面優先）
4．改修標準仕様書（改修仕）及び、標準仕様書（標仕）

2．特記仕様

特記事項の適用については次による

イ．特記事項は□印を塗りつぶしたものを適用し、塗りつぶしの無い場合は※印をつけたものを適用する。

ロ．特記事項で□印を塗りつぶしたものと、※印をつけたものがある場合は、両方を適用する。

ハ．特記事項に記載の（　　）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
尚、（標仕　　）とあるものは標準仕様書の該当箇所を示す。

ニ．メーカー名又は製品名の記入がある場合は、そのメーカー及び仕様について同等品とする。

	項　目	特 記 事 項
1 一般共通事項	①適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（最新版） ※ 敷地調査共通仕様書（最新版） ※ 建築構造設計基準（最新版） ※ 建築物解体工事共通仕様書（最新版）
	②監督職員の指示など	監督職員の承諾、指示、協議等については書面によって行うこと。(1.1.2) 監督職員の検査を行った際、その結果が不合格となった場合は、工程に支障をきたさぬよう速やかに手直しを行い、監督職員の承諾を得た上で次工程に進捗すること。又、監督職員に検査を願い出る場合は、事前に受注者が検査を行うこと。
	③官公署その他への届出手続等	(1.1.3) 工事の着手、施工及び完成に当たり、関係法令等に基づく関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を直ちに行うこと。また、届出内容はあらかじめ監督職員に報告すること。
	④工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)への登録	※ 工事請負代金が５００万円以上の場合は、工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うこと。(1.1.4) 登録内容については、あらかじめ監督職員の確認を受けた後、次に示す期間内に登録を行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。 ① 工事受注時　契約締結後１０日以内 ② 登録内容の変更時　変更契約締結後１０日以内 ③ 工事完成時　工事完成後１０日以内
	⑤既設建物との取合い	※ 既設建物と今回工事の取合い部分、その他本工事の範囲外の部分に汚染・損傷を生じた場合は、(1.3.13) 監督職員の承諾を得た上で、原型と同仕上材で完全に補修するものとする。

⑥施工条件
■ 土曜日及び日曜日、祝日に工事の施工を行わない。(1.3.5)
■ 作業時間の制限（　9：00 ～ 17：00　）

⑦施工中の安全確保および環境保全
※ 監督職員および工事関係者と常時安全対策にかかる打合せをおこない、必要に応じて施工場所とその他の部分をバリケード等で区画し、事故の防止に努める。(1.3.7)
※ 労働者の安全衛生教育の徹底を図り、施工場所の安全パトロールの励行に努める。(1.3.11)
※ 建設機械器具・足場等、危害防止措置の徹底を行う。
※ 第三者に災害を及ぼさないこと。また公害防止にも努めること。

⑧火気の取扱い
※ 使用する火気に適した種類及び容量の消火器等を設置する。(1.3.8)
※ 火気の使用箇所附近に可燃性のもの及び危険性のあるものを置かない。
※ 火気の使用箇所附近は、防炎シート等による養生及び火花飛散防止措置を講ずる。
※ 作業終了後は、十分に点検を行い、異常のないことを確認する。

⑨発生材の処理
■ 工事に伴って発生したコンクリート塊等は「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、その処理責任については施工者にある。またその処理は産業廃棄物の処分及び運搬業の許可を有するものに限る。なお施工者は廃棄物の処理方法を記載した施工計画書・許可書の写し及び処理証明書を提出すること。(1.3.12)
■ 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下、リサイクル法）」の規定に基づき、適正に分別解体・再資源化を図るものとする。また本工事契約時までに下記事項を記載し所定書面を契約課へ提出すること。
1．分別解体の方法
2．解体工事に要する費用
3．特定建設資材廃棄物の再資源化等を行うための施設の名称及び所在地
4．特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用（費用については見積もり金額を記載）
□ 発生材のうち発注者に引渡しを要するものは、監督職員の指示を受けた場所に保管する。また、保管したものの調書を作成し、監督職員に提出する（発生材は図示による）。
■ 上記以外のものは全て工事現場外に搬出し、「リサイクル法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、その他関係法令等に基づくほか、「建設副産物適正処理推進要綱」を踏まえ、適切に処理のうえ、監督職員に報告する（リサイクル法適用の竣工時は、再資源化等報告書を提出のこと）。

⑩環境への配慮
※ 使用する材料は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づき環境負荷を低減できる材料の選定に努めること。(1.4.1)

⑪材料の品質等
※ 使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとする。その材料にJISまたはJASのマーク表示があるものを使用する場合は、所定の品質及び性能を有するものとして扱い、それ以外のものについては、監督職員の承諾を受けること。(1.4.2)
※ 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。同等のものとする場合は監督職員の承諾を受ける。
※ 下記材料のホルムアルデヒド仕様は、日本農林規格（JAS）及び日本産業規格（JIS）のF☆☆☆とする。
合板・木質系フローリング、集成材、繊維板、パーティクルボード、壁紙、断熱材、塗料、接着剤、カーペット、家具

⑫特別な材料の工法
※ 改修仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑬施工計画調査
※ 工事の着手に先立ち、施工計画書作成のための調査を行う。(1.5.1)
※ 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議すること。
※ 工事契約後すみやかに、関係法令等に基づき、建材のアスベストの使用の有無について事前調査を行い、調査結果を監督職員に提出すること。その際、国土交通省「目で見るアスベスト建材(第２版)」を参照すること。そのうえで、アスベスト除去に関する作業計画を適切に立て、必要に応じ関係法令等に基づく届出等を行うこと。

14.化学物質の濃度測定
□ 行う(1.6.9)
測定箇所数：　箇所（対象室：　　）
測定物質：※ ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン
測定方法：※ 拡散方式（パッシブ方式）　□ 吸引方式（アクティブ方式）
測定後は、厚生労働省が定める「化学物質の室内濃度指針値」又は文部科学省が定める「学校環境衛生基準」に定める濃度以下であることを確認し、監督職員に報告書を提出すること。

15.技能士
□ 本工事の施工に当たって下記に明記されたものについては、職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する技能士を配置させること。その際、資格を証明する資料を監督職員に提出すること。(1.6.2)

適用工事種別	適用技能検定職種（作業）
鉄筋工事	□ 鉄筋施工（鉄筋工事作業）
コンクリート工事	□ 型枠施工（型枠工事作業） □ コンクリート圧送（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	□ とび（とび作業）
ブロック ALCパネル工事	□ ブロック建築（補強コンクリートブロック作業） □ ALCパネル施工（ALCパネル工事作業）
防水工事	□ 防水施工（□アスファルト防水工事作業 □合成ゴム系シート防水工事作業 □塗膜防水工事作業 □シーリング防水工事作業）
石工事	□ 石材施工（石張り作業）
タイル工事	□ タイル張り（タイル張り作業）
木工事	□ 建築大工（大工工事作業）
屋根およびとい工事	□ 建築板金（内外装板金作業） □ スレート施工（石綿スレート工事作業） □ かわらぶき（かわらぶき作業）
金属工事	□ 内装仕上げ施工（鋼製下地作業）
左官工事	□ 左官（左官作業）
建具工事	□ サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） □ ガラス施工（ガラス工事作業） □ 自動ドア施工（自動ドア施工作業）
カーテンウォール工事	□ カーテンウォール施工（□金属製カーテンウォール工事作業 □PCカーテンウォール工事作業）
塗装工事	□ 塗装（建築塗装作業）
内装工事	□ 内装仕上げ施工（□プラスチック系床仕上げ工事作業 □鋼製下地工事作業 □ボード仕上げ工事作業 □カーテン工事作業）
植栽工事	□ 造園（造園工事作業）

⑯立会いおよび検査
本工事の施工に当たって、下記に定める項目については監督職員の立会いを受けること。(1.4.4)(1.4.5)(1.6.7)
■ 指示された施工又は試験
■ 各法令に基づく諸官庁の検査
本工事の施工に当たって、下記に定める項目については監督職員の検査を受け、承諾を得ること。また、必要に応じて試験成績表等の提出をすること。
■ 指示された材料・製品及び機器の検査
■ 指示された工程完了時点での中間検査
■ 竣工検査（検査員による検査を除く）

17.関係法令に基づく検査
□ 開発手続き条例に基づく検査　□ 建築基準法に基づく検査
□ 消防法に基づく検査　□ 宅地造成法に基づく検査
□ その他（　　）

⑱完成時の提出書類
■ 工事完成時の提出書類は以下のものとする(1.8.2~3)

タイトル	内 容	部 数	備 考
工事竣工引渡し書類	■ 工事保証書	2 部	保証期間を明記し、受注者・施工業者連名とする
	□ 鍵引渡し書	2 部	
	■ 各種取扱い説明書	2 部	
	□ 工具引渡し書	2 部	
	□ 清掃方法説明書	2 部	
工事竣工引渡し備品	□ 鍵および鍵箱	1 組	
	□ 工具および工具箱	1 組	
	□ 予備材料	1 組	
	□ その他資料・材料・器具類	1 組	

各室の鍵は監督職員立会いの上鍵合わせを行い、鍵違い・不具合の有無を確認した後鍵箱に整理収納し、配置図・鍵目録を添付する。鍵はそれぞれ３個とし、いずれも整理札を取付ける。

■ 竣工写真の提出枚数、部数等は以下のものとする。

分類・規格	枚数×部数	備 考
■ キャビネ版（カラー）	各室×１部	文字入りアルバム
□ 四つ切（カラー）	３枚×２部	アルミパネル入り
□ 半切り（カラー）	３枚×２部	アルミパネル入り
□ ネガポジキャビネ版（カラー）	５枚×１部	マウント

キャビネ版は外部を３ヶ所、内部を異なる室ごと２面を原則とする。（撮影箇所については監督職員と協議のこと）

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計			浴室個室化改良工事	-	A-02
					図面名 特記仕様書１		

■ 完成図は下記のものを提出する（提出期限は、竣工後１ヶ月以内）

タイトル	内　容	形　態	提出部数	備　考
竣工図	原設計・竣工図	□ 見開きＡ１版製本	部	工事完了後、CADデータを本組合より借入し、複製修正を行った上、製本等を行うこと。
	原設計・竣工図	□ 見開きＡ２版製本	部	
	原設計・竣工図	■ 見開きＡ３版製本	2 部	
	原設計・竣工図縮小版	□ マイクロ焼付けマイラー　黒表紙製本 綴じ方 ※紐綴じ □ネジ止め 表紙文字 ※ラベル □金文字印刷 サイズ ※Ａ３ □Ｂ４	部	
竣工図	JWW及びPDFの電子ﾃﾞｰﾀ	■ ＣＤ又はＤＶＤ	1 枚	
写真データ	JPEG形式等の電子ﾃﾞｰﾀ	■ ＣＤ又はＤＶＤ	1 枚	
施工図	施工図	■ 見開き製本（サイズ：　）	各 1 部	

※　工事関係書類保管ケース（プラスチック製　引出し式：　工事名称・契約期間・受注者名記入）を提出のこと。

19.電気保安技術者　□ 適用する　□ 適用しない　(1.3.3)

⑳事故（災害）報告　※ 工事中に事故（災害）が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害が発生しないよう工事現場の安全確保に努めること。また、直ちに監督職員に通報すると共に、事故（災害）報告書を提出すること。　(1.3.10)

㉑設備工事との取合い　■ 施工図　：必要に応じて設備機器の位置、取合いなどの検討ができる施工図を提出して、監督職員の承諾を受けること。

㉒損害保険等
※ 建設工事保険及びその他第三者賠償責任損害を担保する「請負業者賠償責任保険」に加入し、工事にかかる事故及び第三者への損害等について、速やかに対処すること。
※ 保険の成立後、速やかにその写しを監督職員に提出すること。
※ 上記保険等について、被保険者は発注者・受注者及びその全下請負人を網羅すること。また、保険金額は請負代金全額（支給材料又は貸与品がある場合には、その全額を加えること）とし、保険期間は工事着手日から工事完了日に１４日を加えた期間（完了日を１日に数える）とすること。

2 仮設工事

①工事用進入路　□ 指定しない　■ 指定する（現場指示）

②仮囲い等　□ 設ける（位置および延長は図示による）
□ ガードフェンス（H=1,800）　□ 波形鉄板（H=　）　□ 単管シート（H=　）
□ 防音パネル（H=　）　□ カラーコーン
□ シートゲート（H=　・W=　・　ヶ所）
□ パネルゲート（H=　・W=　・　ヶ所）
□ 設けない

③交通誘導員

④監督員事務所　■ 設けない　(2.4.1)
□ 設ける　□ 既存建物内の一部を使用する
□ 構内に設置する　（規模　㎡程度）
□ 据え付ける備品　（　）

⑤工事標識等　※　工事室付近の目に付く場所に工事標識類の設置を行うこと

⑥既存部分の養生　家具の移動　□ 行う　■ 行わない　(2.3.1)
固定された備品、机、ロッカー等の移動　□ 行う　■ 行わない
養生方法　■ ビニールシート等による
□ （　）
保管場所　（□　）

⑦仮設間仕切り　□ 設ける（設置場所は図示による）　(2.3.2)

種別	材　質	仕上げ
□ Ａ種	両面（□ 石膏ボード □ 合板）張り（厚さ □ 9.5 □　）	□ 片面塗装
□ Ｂ種	片面（□ 合板 □ 石膏ボード）張り（厚さ □ 9.0 □　）	
□ Ｃ種	シート張り	――

仮設扉（ □ 合板張り木製扉　※ アルミ扉 ）

⑧工事用水　構内既存の施設　■ 利用できる（□ 有償　■ 無償）　□ 利用できない

⑨工事用電力　構内既存の施設　■ 利用できる（□ 有償　■ 無償）　□ 利用できない
※ １００Ｖの使用は監督職員の指示によるコンセントとし、同時使用は１．５ｋｗ以下とする。
２００Ｖの使用は認めない。

⑩足場等　■ 内部足場　(2.2.1)
□ 外部足場（手すり先行工法）
□ 防護シート

⑪仮設シャワー　■ 工事中の施設においては、仮設シャワーを２基設置すること。（ハマネツ FS2-20S 同等品以上）
※光熱費については発注者負担とする。

3 防水改修工事

1．基本要求品質　□ 防水工事の保証書の提出及び保証年限　(3.1.2)
保証年限　※ 引渡しの日より１０年以上　□ 引渡しの日より５年以上
保証書　※ 受注者、防水施工者、材料製造者による連帯保証のこと（各２通）

（２ － ５ 略）

⑥シーリング
シーリング材の種類及び施工箇所　※ 表3.7.1による（JIS A 5758）　(3.7.2)
工法　(3.1.4)（3.7.4~7)
■ シーリング充填工法　□ シーリング再充填工法　□ 拡幅シーリング再充填工法　□ ブリッジ工法
シーリング材の試験　(3.7.8)
□ 行う（※ 簡易接着性試験　□ 引張接着性試験（JIS A 1439））　■ 行わない

4 外壁改修工事　略

5 建具改修工事

1．改修工法　□ かぶせ工法　□ 撤去工法　(5.1.3)

（２ － ４ 略）　(5.5.2)

⑤鋼製軽量建具　簡易気密型ドアセット（気密性：Ａ－３）の適用　※ 建具表による

（６ － ７ 略）

⑧建具用金物　材質　※ 表5.7.1による　(5.7.2~3)
種類　□ 錠（シリンダー箱錠）　□ ドアクローザ　□ フロアヒンジ　□建具表による
マスターキーの製作　□ 行う　□ 行わない　(5.7.4)
既存マスターキー合わせ　※ 行う　□ 行わない

（８ － ９ 略）

⑩自閉式上吊り引戸装置　□ 表5.9.1による　■製造所の仕様による

（１１ － １３ 略）

⑭ガラス　(5.9.2~4)
ガラスの種別・品種・厚さ　※ 建具表による　(5.13.2~4)
ガラス留め材

建具の種類	材　種
アルミニウム製及び樹脂製	※ シーリング材　□ ガスケット（ＦＩＸ部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材
ステンレス製	※ シーリング材
木製	□ シーリング材　※ 木製建具用ガラスパテ　□ 押縁

⑮ガラス用フィルム　ＪＩＳ Ａ ５７５９

名　称	種　類	張り面	性能値
■ ガラス飛散防止フィルム	第２種	※ 内張り　□ 外張り	飛散防止率　Ｄ１
□ 紫外線カットフィルム			

16.かぎ箱　□ ２０組用　□ ３０組用　□ ６０組用　□ １２０組用

6 内装改修工事

①既存床の撤去並びに下地補修　ビニル床シート等の撤去　※ 仕上げ材のみ（接着剤共）　(6.2.2)
■ 下地モルタルとも（※ 図示の範囲　□ 除去範囲全て）
合成樹脂塗り床材の除去工法　□ 機械的除去工法　□ 目荒し工法
改修後の床の清掃範囲　※ 改修室内全体　□ 図示の範囲
集塵装置　□ 使用する（木製床の場合は ※ ）　■ 使用しない

②既存壁の撤去並びに下地補修　間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修　(6.3.2)
□ 図示による　■ モルタル塗り（塗り厚２５㎜を超える場合の補強　□ 行う　□ 行わない）
集塵装置　□ 使用する　■ 使用しない

③木下地等　見え掛り面の表面仕上げ　機械加工　□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種　(6.5.1)
手加工　□ Ｈ－Ａ種　※ Ｈ－Ｂ種　□ Ｈ－Ｃ種
木材の工事現場搬入時の含水率　※ Ａ種　□ Ｂ種　(6.5.2)
保存処理木材　□ 使用する（適用箇所　）
造作材の品質の基準

使 用 箇 所	部 材 名 称	※ Ａ 種	□ Ｂ 種
生地のまま又は透明塗料塗りの場合	枠、額縁、敷居、かもい、かまちの類	上小節（見え掛り面のみ）	小　節
	押入、戸棚等の内面造作の類	小　節	小　節
不 透 明 塗 料 塗 り の 場 合		小　節	小　節

下地用合板等
■ 普通合板

施工箇所	厚さ	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	その他の処理
床	12	ﾗﾜﾝ	※ １類 ■ ２類	広葉樹　□ １等　※ ２等 針葉樹　※ Ｃ－Ｄ	□ する □ しない	※ 難燃処理

□ 構造用合板

施工箇所	厚さ	表板の樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理
		※ 針葉樹	※ １類 □ 特類(注)	□ １級 ※ ２級	※ Ｃ－Ｄ	□ する □ しない

(注)屋内の常時湿潤状態となる場所に使用する場合は特類とする
防腐・防蟻処理（表面処理用木材保存（防腐・防蟻）剤は監督職員の承諾するものとする）　(6.5.5)
□ 薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理　（適用部位：　性能区分：　）
□ 薬剤の塗布等による防腐防蟻処理
処理部分　１．鉄筋コンクリート造、組積造等の最下階等における床束、大引受及び根太掛の各部材でコンクリート、ブロックの類に接する部分
２．土間スラブの類及びその周辺のコンクリートに接する土台、転ばし大引及び転ばし根太等の各部材の全面
□ 防虫処理（※ ラワン材等を使用する場合は、「製材の日本農林規格」第８条「広葉樹製材の規格」に基づく保存処理の性能区分Ｋ１の防虫処理を行う）
樹 種　(6.5.6)

適　用　箇　所		材　種
鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組	□ 間仕切軸組	※ 杉　※ 松
	□ 床組	※ 杉　※ 松
	□ 土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引、転ばし根太	※ ひのき　□ 保存処理木材

④軽量鉄骨天井下地　野縁等の種類　屋外（※ ２５形　□ １９形）　屋内（※ １９形　□ ２５形）　(6.6.2~4)
既存の埋込インサート　□ 使用する
あと施工アンカーの確認試験　□ 行う

⑤軽量鉄骨壁下地　スタッド、ランナーの種類　■ ５０形　■ ６５形　□ ９０形　■ １００形　(6.7.2~4)
スタッドの高さが５ｍを超える場合の処置　※ 図示による

⑥ビニル床シート　(6.8.2)（6.8.3）(6.8.4)

区　分	種類の記号	厚さ（㎜）	継目	接着剤	色　柄	その他
■ 発泡層なし	※ ＦＳ	■ ２．０ ■ ２．５	※ 熱溶接 □ 突付け	※ ウレタン系 □ エポキシ系	■ 無地　□ マーブル柄 （　色程度張り分け）	■ 一般用 □ ノンスリップ □
■ 発泡層あり	■ ＨＳ	■ ２．８			□ 柄物　■ 無地 （　色程度張り分け）	

⑦ビニル床タイル　(6.8.2)

種　類	ＪＩＳ記号	厚さ（㎜）	
※ コンポジションビニル床タイル	ＫＴ	※ ２．０　□３．０	
□ 複層ビニル床タイル	ＦＴ	※ ２．０　□３．０	
□ 単層ビニル床タイル	ＴＴ	※ ２．０　□３．０	

⑧ゴム床タイル　(6.8.2)

種　類	厚さ（㎜）	色　柄	
□ 天然ゴム	□	□ プレーン	
□ 合成ゴム	□	□	

⑨ビニル幅木　高さ（mm）　※ ６０　□ ７５　■ １００　(6.8.2)
厚さ（mm）　※ １．５　□

date		株式会社 匠設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事	scale	No.
2023.3						図面名	特記仕様書２	－	A-03

10.カーペット敷き

□ 織じゅうたん (6.9.3)

種　類	種　別	パイル形状	帯電性
※ 模様のない無地	□ A種 □ B種 □ C種	□カットパイル □ループパイル	人体帯電圧
□ 模様あり		□カット、ループパイル併用	□３ｋｖ以下

□ タフテッドカーペット (6.9.3)

パイル形状	パイル長（㎜）	工　法	帯電性	
□カットパイル □ループパイル	□	※グリッパー工法	人体帯電圧	
□レベルループパイル □カット、ループ併用		□全面接着工法	□３ｋｖ以下	

□ タイルカーペット (6.9.3)

パイル形状	種　別	寸法（㎜）	総厚さ（㎜）	
□カットパイル ※ループパイル	※第１種	※５００×５００	※６．５	
□レベルループパイル □カット、ループ併用	□第２種			

11.合成樹脂塗床

□ 厚膜型塗床材 (6.10.3)

種　別	工法及び仕上の種類	
□ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ □ 防滑仕上げ □ つや消し仕上げ	
□ エポキシ樹脂系塗床材	□ 薄膜流しのべ工法 □ 厚膜流しのべ工法	□ 平滑仕上げ
	□ 樹脂モルタル工法	□ 防滑仕上げ

□ 薄膜型塗床材 (6.10.3)

種　別	仕上の種類	
※ エポキシ樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ	

12.フローリング張り

単層フローリング (6.11.2~6)

種　類	樹種	寸法（㎜）	厚さ（㎜）	工　法
□ フローリングブロック	※ なら □	※ ３０３×３０３ □	※ １５ □	□ 接着工法
□ フローリングボード	※ なら □	板幅 ※ ７５以上 □ ９０以上	□ １５ □ １２ □	※ 釘留め工法 □ 根太張り工法 □直張り工法 □ 接着工法 □緩衝材(合成樹脂発泡シート)

複合フローリング (6.11.2~5)

種　類	樹種	種別	寸法（㎜）	工　法
□ 複合フローリング	※ なら □	□ A種 □ B種 □ C種	板厚　以上 板幅　以上 板長さ　以上	□ 釘留め工法 □ 根太張り工法 □直張り工法 □ 接着工法 □緩衝材(合成樹脂発泡シート)

13.畳敷き

(6.12.2)

下地の種類	畳の種別
□ 改修標仕　表６．５．８による床組	□ A種　※ B種　□ C種　□ D種
□ ポリスチレンフォーム床下地	□ A種　□ B種　※ C種　□ D種

⑭せっこうボード その他ボード

(6.13.2~3)

種　　類	ＪＩＳの記号	規格・厚さ（㎜）等
□ 硬質木毛セメント板	HW	□ １５　□ ２０　□ ２５　□
□ 普通木毛セメント板	NW	□ １５　□ ２０　□ ２５　□
■ けい酸カルシウム板	０．８ＦＫ １．０ＦＫ	タイプ２（無石綿） ■ ５　■ ６　■ ８
■ 化粧けい酸カルシウム板		■ ６
□ ロックウール化粧吸音板	ＤＲ	※ フラットタイプ（※９　□１２　□　） □ 凹凸タイプ（※１２　□１５　□　）
□ ロックウール吸音ボード	RW－B	□ ２５
□ グラスウール吸音ボード	GW－B	□ ２５（ガラスクロス包み）
■ せっこうボード	GB－R	■ １２．５（不燃）　□ ９．５（準不燃）
■ 不燃積層せっこうボード	GB－NC	■ ９．５（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
■ シージングせっこうボード	GB－S	■ １２．５（準不燃）　□
□ 強化せっこうボード	GB－F	□ １２．５（不燃）　□
□ せっこうラスボード	GB－L	□ ７(不燃)
■ 化粧せっこうボード	GB－D	□ １２．５（不燃）　■ ９．５（準不燃）
□ 化粧せっこうボード（木目）	GB－D	□ １２．５（不燃）　□ ９．５（準不燃） 幅４４０程度　模様（※柾目　□板目）専用下地材付
□ メラミン樹脂化粧板		ＪＩＳ　Ｋ　６９０３による　厚さ□ １．２

遮音シール材　□適用する（※アクリル系シーリング材　□ウレタン系シーリング材　□ジョイントコンパウンド）

※ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆のものを使用すること。

⑮壁紙張り

(6.14.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備　考
	紙	繊維（織物）	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ（ビニル）	無機質	その他		
消防本部	・	・	・	・	・	※不燃　□準不燃　□難燃	中級品程度

⑯モルタル塗り

■現場調合材料　□既調合材料 (6.15.3) (6.15.6)

吸水調整材の品質　※ 表4.2.2による

既製目地材　□ 使用する

床目地　□ 設ける（工法　※ 押し目地　□　　）

17.タイル張り

タイルの種類 (6.16.2~4)

施工箇所	形状寸法（㎜）	きじ			うわぐすり		役物		色		再生材の適用	備　考
		Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施釉	無釉	あり	なし	標準	特注		
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物　※ 標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※ 行わない　□ 行う（※ 外壁タイル　□　　）

タイルの試験張り　※ 行わない　□ 行う（※ 外壁タイル　□　　）

内壁タイル張り　※ 接着剤張り　□ 積上げ張り

18.ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り

セルフレベリング材の品質　※ 表6.17.1による（□ せっこう系　□ セメント系） (6.17.2)

⑲樹脂製束

フリーフロアＣＰ-Ｆ(フクビ化学工業)同等品以上 (6.17.2)

7 塗装改修工事

①材料

屋内の壁及び天井仕上げ材　※ 防火材料とする (7.1.3)

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量　※ Ｆ☆☆☆☆　□

上塗り用の塗料　※ 少量の場合を除き原則として、上塗り塗料の製造所において指定された色及びつやに調合されたものとする

②下地調整

ＲＢ種の既存塗膜除去範囲　※ 既存塗膜の３０％　□ (7.2.1)

下地処理 (7.2.2~7)

	下地処理の種類		備　考
	塗替え	新　規	
□ 木部（不透明塗料塗りの場合）	※ ＲＢ種	※ ＲＡ種	
□ 木部（透明塗料塗りの場合）	※ ＲＢ種	※ ＲＢ種	※ 塗替えは既存塗膜全面除去
□ 鉄鋼面	※ ＲＢ種	※ ＲＡ種	
■ 亜鉛めっき鋼面	※ ＲＢ種	※ ＲＡ種	
■ モルタル面・プラスター面	※ ＲＢ種	□ RA種 □ RB種	
□ コンクリート面・ＡＬＣパネル面	※ ＲＢ種	※ ＲＡ種	
□ コンクリート面・押出成形セメント板面	□ RA種 □ RB種	※ RA種 □RB種	
□ せっこうボード面・その他ボード面	※ ＲＢ種	□ RA種 □RB種	

3.錆止め塗料塗り

(7.3.2~3)

	仕上	塗装種別	錆止め塗料種別	錆止め塗料塗り工程
□ 鉄鋼面	ＥＰ－Ｇ以外	塗替え	※ Ａ種	※ Ｃ種
		新規塗装（見え掛り）	※ Ａ種	※ Ａ種
		新規塗装（見え隠れ）	※ Ａ種	※ Ｂ種
	ＥＰ－Ｇ（屋内）	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種	※ Ｃ種
		新規塗装（見え掛り）	□ Ａ種　※ Ｂ種	※ Ａ種
		新規塗装（見え隠れ）	□ Ａ種　※ Ｂ種	※ Ｂ種
□ 亜鉛めっき鋼面	ＥＰ－Ｇ以外	塗替え	※ Ａ種　□ Ｂ種	※ Ｃ種
		新規塗装	※ Ａ種　□ Ｂ種	※ Ａ種　□ Ｂ種
		新規塗装（鋼製建具）	※ Ａ種　□ Ｂ種	※ Ａ種
	ＥＰ－Ｇ（屋内）	塗替え	※ Ｃ種	※ Ｃ種
		新規塗装	※ Ｃ種	※ Ａ種　□ Ｂ種

4.合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）

(7.4.2~5)

		種　別	備　考
□ 木部	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装（外部）	※ Ａ種　□ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装（内部）	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
□ 鉄鋼面	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	
□ 亜鉛めっき鋼面	塗替え（鋼製建具）	※ Ａ種　□ Ｂ種　□ Ｃ種	
	塗替え（その他）	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	

5.クリヤラッカー塗り（ＣＬ）

(7.5.2)

		種　別	備　考
□ 木部	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種	
	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	

6.フタル酸樹脂エナメル塗り（ＦＥ）

(7.6.2~3)

		種　別	備　考
□ 木部（屋内）	塗替え	※ 表7.6.1による	
□ 鉄鋼面（屋内） □ 亜鉛めっき鋼面（屋内）	塗替え	※ 表7.6.2による	

⑦アクリル樹脂系非水分散形塗料（ＮＡＤ）

(7.7.2)

		種　別	備　考
□ コンクリート面（屋内）	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種	
■ モルタル面（屋内）	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	
■ 石こうボード面（屋内）	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	

8.耐候性塗料塗り（ＤＰ）

□ 鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面（屋外） (7.8.2~3)

	種　別	上塗り塗料（JIS K 5659）の等級	備　考
塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	□ １級　フッ素系樹脂（２液形）	
新規塗装	※ Ａ種	□ ２級　シリコン系樹脂（２液形）	
		※ ３級　ポリウレタン系樹脂（２液形）	

□ コンクリート面・押出成形セメント板面（屋外） (7.8.4)

種　別	上塗り塗料（JIS K 5658）の等級	備　考
□ Ａ－１種　□ Ａ－２種	１級　フッ素系樹脂（２液形）	
□ Ｂ－１種　□ Ｂ－２種	２級　シリコン系樹脂（２液形）	
※ Ｃ－１種　□ Ｃ－２種	３級　ポリウレタン系樹脂（２液形）	

9.つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

(7.9.2~5)

		種　別	備　考
□ コンクリート面 □ モルタル面 □ プラスター面 □ せっこうボード面 □ その他ボード面 □ 鉄鋼面（屋内） □ 亜鉛めっき鋼面（屋内）	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	
□ 木部（屋内）	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装	※ Ａ種　□ Ｂ種　□ Ｃ種	

10.合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝペイント塗り（ＥＰ）

(7.10.2)

		種　別	備　考
□ コンクリート面 □ モルタル面 □ プラスター面 □ せっこうボード面 □ その他ボード面	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	
	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	

11.合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）

(7.11.2)

		種　別	備　考
□ コンクリート面（屋内） □ モルタル面（屋内）	塗替え	□ Ａ種　※ Ｂ種　□ Ｃ種	※ 下地調整がＲＢ種の場合はＡ種 下地調整がＲＣ種の場合はＣ種
□ プラスター面（屋内） □ せっこうボード面（屋内）	新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	

12.ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り（ＵＣ）

(7.12.2)

		種　別	備　考
□ 木部	塗替え・新規塗装	□ Ａ種　※ Ｂ種	※ フローリングはＡ種（３回塗）

13.オイルステイン塗り（ＯＳ）

(7.13.2)

		種　別	備　考
□ 木部	塗替え・新規塗装	※ 表7.13.1による	

14.木材保護塗料塗り（ＷＰ）

(7.14.2)

	種　別	備　考
□ 木部	□ Ａ種　※ Ｂ種	

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠（たくみ）設計				浴室個室化改良工事	－	A-04
					図面名 特記仕様書３		

8 環境配慮改修工事

①一般事項

適用範囲 (9.1.1)

□ アスベスト含有吹付け材　□ アスベスト含有保温材等　■ アスベスト含有成形板

施工調査

※ 目視、設計図書等による確認を行うこと。

■ 分析によるアスベスト含有の調査

□ アスベスト粉じん濃度測定

②除去工事共通事項

※ アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出するとともに処理方法については施工計画書を提出すること。 (9.1.2)

※ アスベストの除去にあたっては、石綿障害予防規則に基づき石綿作業主任者の選任を行うこと。

※ 石綿含有建材の除去に従事する作業者は、石綿則に基づく特別の教育を受けた者とする。

※ 廃棄物処理法に基づき、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を配置する。ただし、石綿含有成形板の除去工事を除く。

※ アスベスト含有建材の有無の調査結果の概要等、建築物等の解体等の作業に関するお知らせを周知住民の見やすい場所に掲示すること。

3.アスベスト含有吹付け材の除去

□ 処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様等 (9.1.3)

材料名	撤去場所	処理を行う範囲
		※ 図示による

4.アスベスト含有保温材等の除去

□ 処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様等 (9.1.4)

材料名	撤去場所	処理を行う範囲
配管保温材	設備配管	※ 受注者の調査及び機械設備 特記仕様書 M-3による

⑤アスベスト含有成形板の除去

□ 処理を行うアスベスト含有成形板等の仕様等 (9.1.5)

材料名	撤去場所	処理を行う範囲
仕上塗材	外壁	※ 受注者の調査による
アスファルト防水	内部床、壁立上り	※ 受注者の調査による
モルタル	内部床、壁	※ 受注者の調査による
タイル	内部床	※ 受注者の調査による
設備材料(パッキン、耐火二層管)	器具接続部、設備配管	※ 機械設備 特記仕様書 M-3による
人研ぎ	流し	※ 受注者の調査による
せっこうボード	廊下天井	※ 図示による
フレキシブルボード	トイレ天井	※ 図示による
その他	※ 受注者の調査による	

9 その他工事

1.土工事

埋戻し及び盛土　種別 □ A種（盛り土は真砂土とする） ※ B種 □ C種 □ D種 (標仕3.2.3)

残土処分　※ 構外搬出適切処理　□ 構内指示の場所に敷均し　□ 構内指示の場所に堆積 (標仕3.2.5)

2.地業工事

砂利地業　※ 再生クラッシャラン　□ 切込砂利及び切込砕石 (標仕4.6.2～3)

捨てコンクリート地業 (標仕4.6.4)

□ コンクリートの種類：　厚さ（mm） □ 60 ※ 50

床下防湿層　□ ポリエチレンフィルム　厚さ0.15mm以上　重ね幅縦横共250mm (標仕4.6.5)

3.排水工事

排水管 (標仕21.2.1)

排水管用材料　□ 硬質ポリ塩化ビニル管（※ VP　□ VU） □

排水桝及び蓋 (標仕21.2.1)

鋳鉄製マンホール蓋　□ 水封形 □ 密閉形（ﾃｰﾊﾟ･ﾊﾟｯｷﾝ式） □ 簡易気密形（ﾊﾟｯｷﾝ式） □ 中蓋付密閉形

グレーチング蓋　□ 鋼製　□ ステンレス製

4.屋根工事

□ 長尺金属板葺 (標仕13.2.2～3)

屋根葺形式　□ 横葺　□ 瓦棒葺　□ 平葺

長尺金属板の種類　※ ガルバリウム鋼板　□　板厚（mm） ※ 0.4

□ 折板葺 (標仕13.3.2)

屋根葺形式　□ 重ね形　□ はぜ締め形

折板の種類　※ ガルバリウム鋼板 □　山高 ※ 85 □　厚さ ※ 0.6 □ 0.8

□ 波板葺

波板の波の種類　ガルバリウム鋼板 ※ 大波　厚さ ※ 0.4

□ 屋根工事の保証書の提出及び保証年限 (標仕13.1.2)

保証年限　※ 引渡しの日より１０年以上

保証書　※ 受注者、屋根施工者、材料製造者による連帯保証のこと（各２通）

5.金属工事

金属成形板張り (標仕14.6.2～3)

□ 手すり （ □ アルミニウム製（φ４０） □ ステンレス製　□ スチール製 ） (標仕14.8.2)

□ タラップ （ □ ステンレス製　□ スチール製 ） (標仕14.8.3)

⑥ユニット及びその他工事

□ トイレブース (標仕20.2.5)

脚部　※幅木タイプ　□サポートタイプ

製造所：

■ 階段滑り止め（ ※ アルミ製（ビニルタイヤ入り）　幅 ※ ３５ ） (標仕20.2.6)

フラットエンドの有無　※ 有り（ □ ステンレス製　□ 樹脂製 ）　□ 無し

□ 黒板及びホワイトボード　□ アルミ枠ホーロー白板 (標仕20.2.8)

□ 鏡　寸法　×　mm　厚さ ※ 5　□ 図示　□ (標仕20.2.9)

□ 室名札 （ □ 可倒式　□ 平付式 ） (標仕20.2.10)

製造所：

□ カーテン及びカーテンレール (標仕20.2.14)

きれ地の品質：　ひだの種類：

形式 □ 片引き □ 引分け　引分け装置 □ あり □ なし

製造所：

□ カーテンボックス （ □ 木製　□ アルミニウム製　□ ステンレス製 ）

■ 回り縁 （ ※ 塩ビ製　□ アルミニウム製　□ ステンレス製 ）

□ 天井見切り縁 （ ※ 塩ビ製　□ アルミニウム製　□ ステンレス製 ）

■ 点検口　■ 天井用（ ※ アルミニウム製　※ ４５０×４５０ ）

□ 床用 （ ※ ステンレス製　□ 鋳鉄製　※ ６００×６００　□ φ６００ ）

製造所：

□ 学校間仕切　枠見込み（mm） ８０以上

製造所：

□ 実験台 （ ※ 教師用 Ｈ８５０　※ 生徒用 Ｈ７５０ ）

製造所：

□ 調理台 （ ※ 教師用 Ｈ８００　※ 生徒用 Ｈ７５０ ） □ システムキッチン

製造所：

□ 掃除用具入れ （ 製造所：　）

□ 流し台 （ □ ステンレス製　□　厚さ □ 1.0 ※ 図示 ）

製造所：

□ 消火器表示板 （ Ｈ２００×Ｗ２５０ ）

□ 避難口誘導表示板(H120×W360)

■ ユニットバス １１１６サイズ、ＢＬ認定品、浴槽・水栓金物とも、ﾌﾛﾐ建具とも

■ シャワーブース ０８１２サイズ 水栓金物とも、ﾌﾛﾐ建具とも

10 鉄骨工事

① 鋼材

材質	品名又は使用箇所	規格等
ＳＳ４００	消防本部	

2 エンドタブの処理

※切除する　・しない

適用箇所

・図示による　・施工箇所（　）

仕上げ等は標準仕様書による。

3 耐火被覆

種別	材料・工法
・ラス張りモルタル	
・耐火材吹付け	・ロックウール（・湿式　・半湿式　・乾式）
・耐火板	・成形板耐火被覆材

4 高力ボルト

・ＪＩＳ形高力ボルト　（２種Ｆ１０Ｔ）

※トルシア形高力ボルト　（２種Ｓ１０Ｔ）

・溶融亜鉛めっき高力ボルト　（１種Ｆ８Ｔ）

5 溶接部の検査

完全溶込み部は第三者機関により超音波探傷試験を行う。

⑥ 鉄鋼面の錆止め塗装

１８．５「錆止め塗料塗り」による。

耐火被覆材の接着する面も錆止め塗装を行う。

※DP塗装の場合は標準仕様書による

・溶融亜鉛メッキ標準仕様書による

7 アンカーボルトの保持及び埋込

・Ａ種（鉄骨造）　・Ｂ種（軽量鉄骨造）　・Ｃ種

材質　・ ＳＳ４００

・ケミカルアンカー標準仕様書による

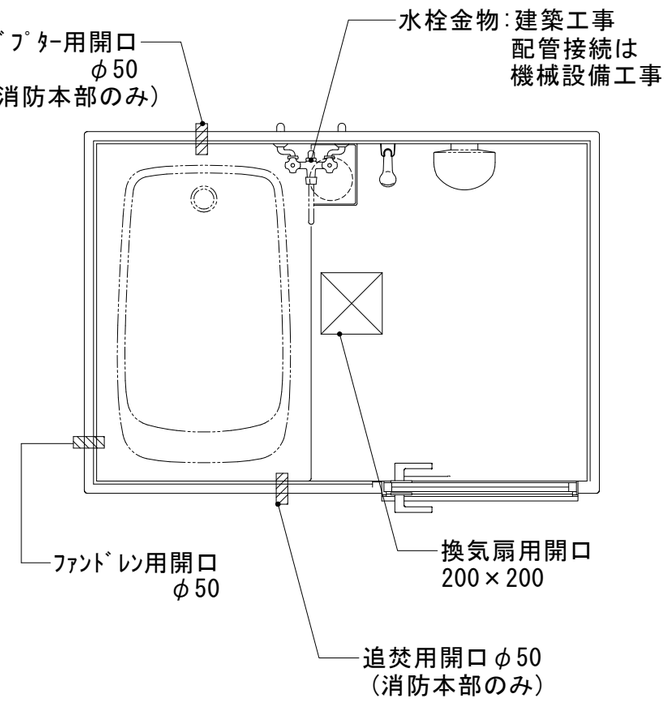
8 鋼材底均しモルタル

工法　※Ａ種（無収縮モルタル）

材料　標準仕様書による。

9 施工管理技術者

※適用する　・しない



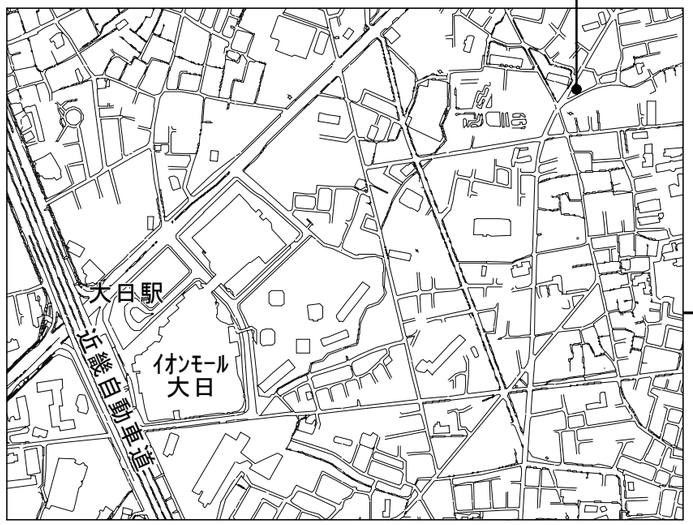
※特記なきは各署共通

※図中設備開口位置は設備調整にて設けること。

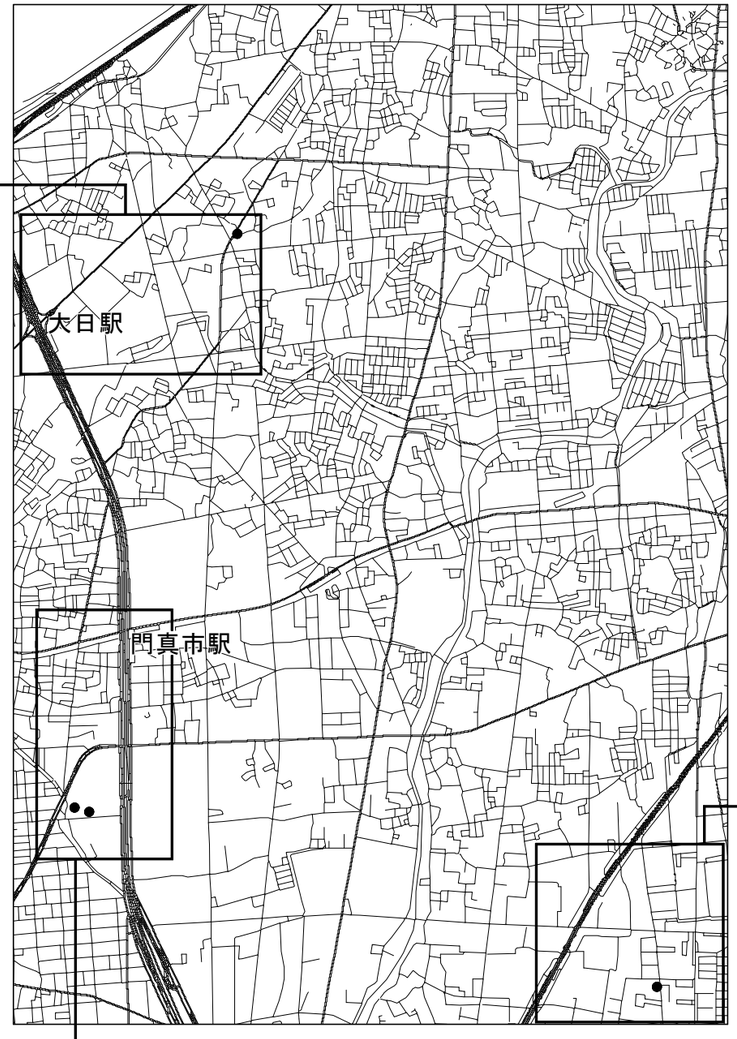
ユニットバス詳細図	1/20

date		設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				図面名	特記仕様書４	－	A-05

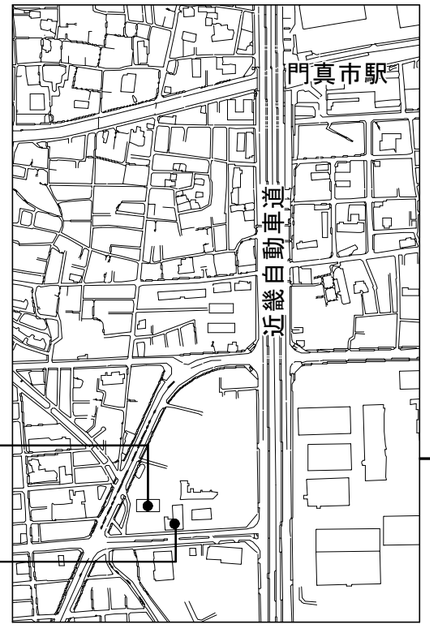
守口消防署 東部出張所
守口市金田町1丁目37-19



付近見取図(東部) 1/10000



付近見取図(全体) 1/25000

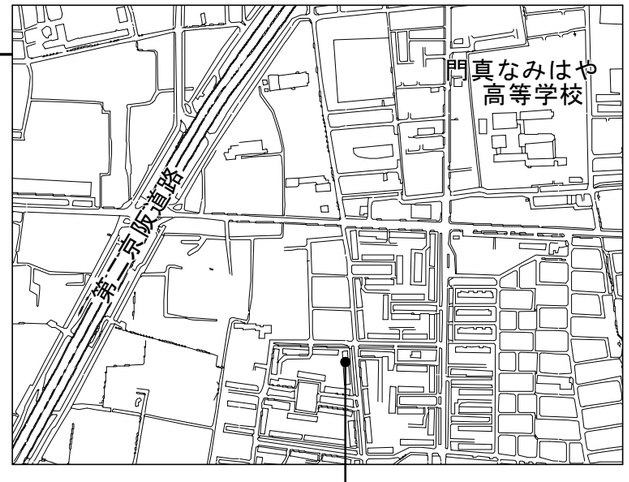


消防本部
門真市殿島町7-1

門真本署
門真市殿島町7-1

付近見取図(本部)(門真) 1/10000

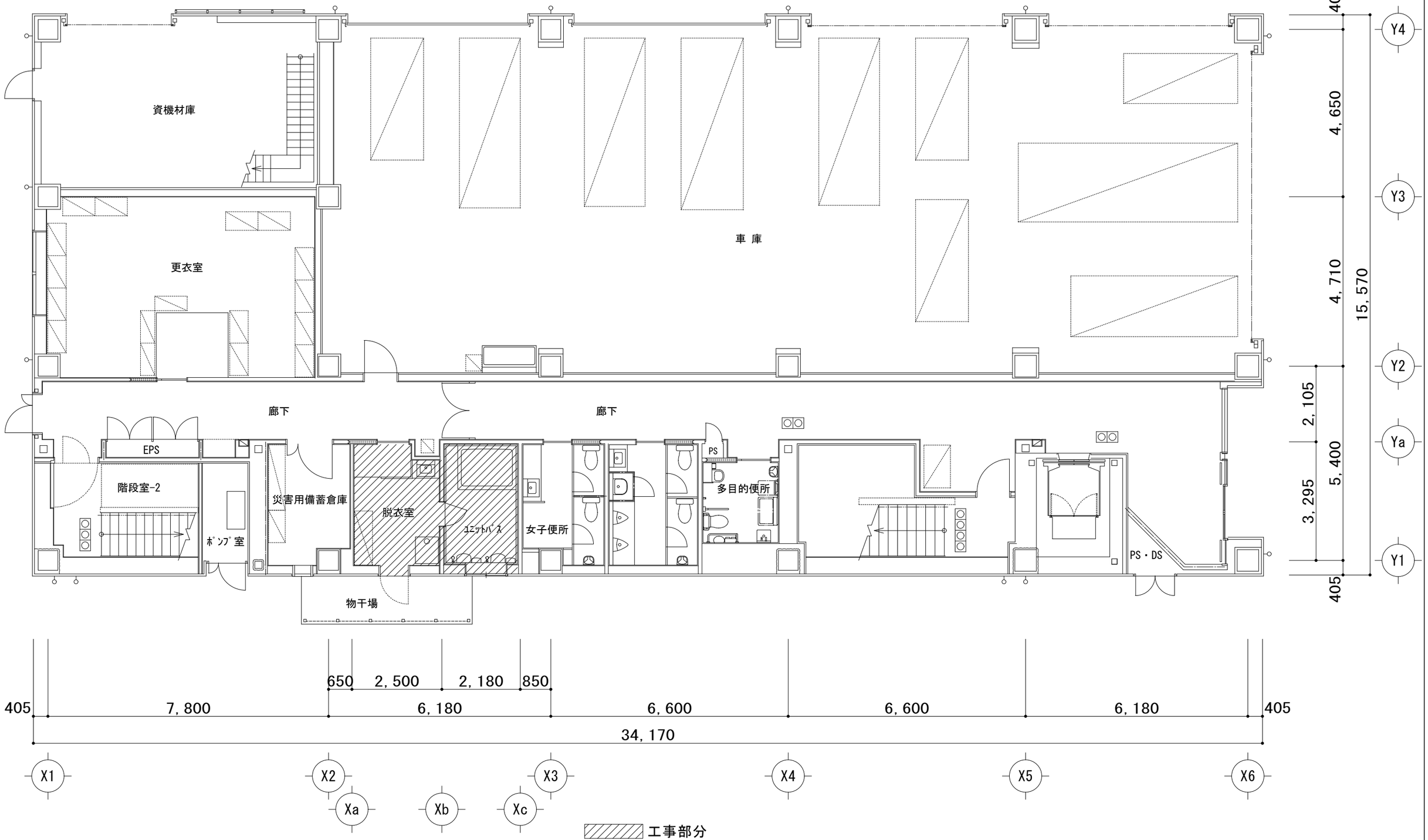
N



門真消防署 南部出張所
門真市千石西町10-16

付近見取図(南部) 1/10000

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事 図面名 付近見取図	scale 1/10000 1/25000 / No. A-06

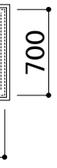


date			設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事（消防本部）	1/100	A-07
						図面名 1階平面図		

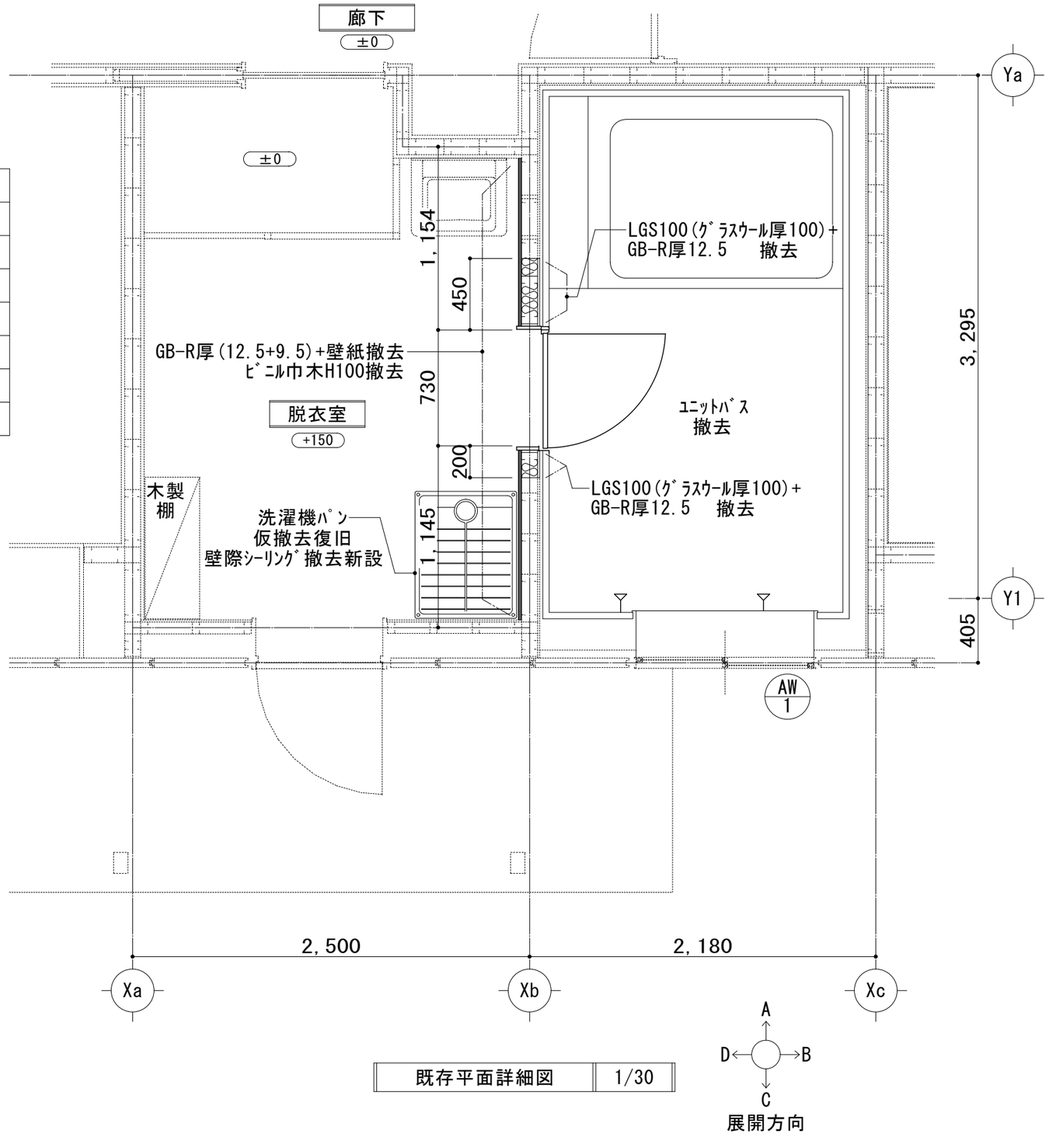
特記なき室は既設のまま
※記号凡例 記号なし:既設のまま　　【△】一部撤去　　【×】撤去

既存仕上表		
脱衣室	床	二重床組+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20+普通合板厚12+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100【△】
	壁	LGS100(ｸﾞﾗｽｳｰﾙ100とも)【△】+GB-R厚(12.5+9.5)【△】+壁紙張り【△】
	廻縁	塩ﾋﾞ製【△】
	天井	軽量鋼製天井下地+GB-D厚9.5
	ﾕﾆｯﾄ類	木製棚･洗濯機ﾊﾟﾝ
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ	壁	LGS100(GW100とも)【△】+GB-R厚12.5【△】
	ﾕﾆｯﾄ類	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ【×】

既存建具表	
AW 1	scale 1/50



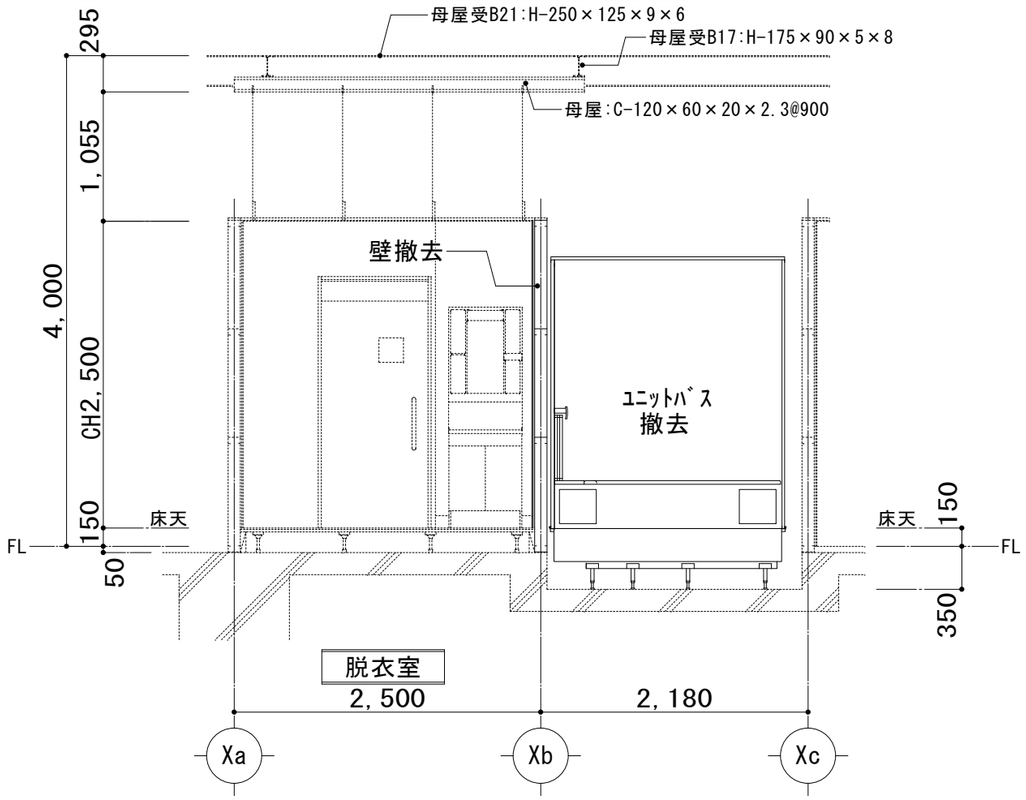
工事内容(記載以外 既設のまま)
･ｱﾙﾐ額(D290)撤去

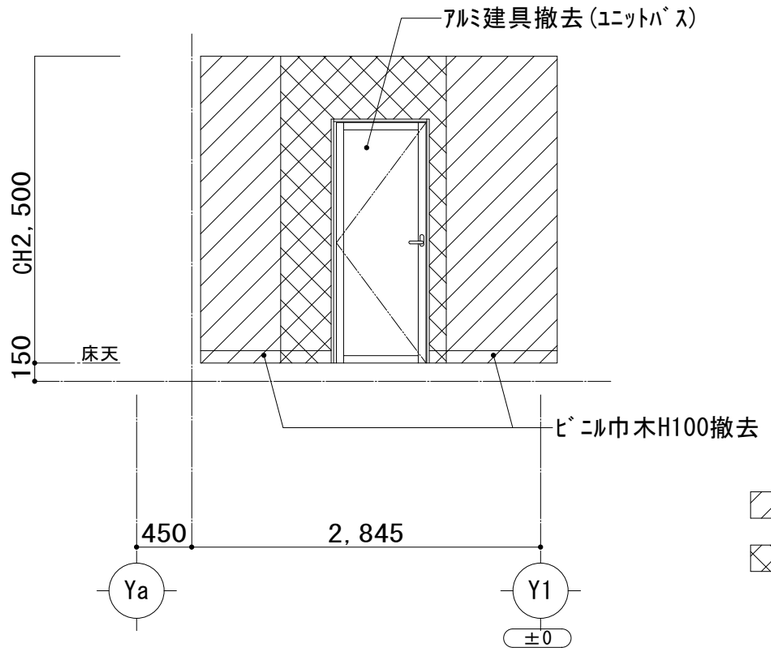


既存平面詳細図　1/30

展開方向

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (消防本部)	scale 1/30 1/50	No. A-08
						図面名	既存仕上表･既存平面詳細図･既存建具表		





壁:LGS存置、GB-R(12.5+9.5)+壁紙撤去

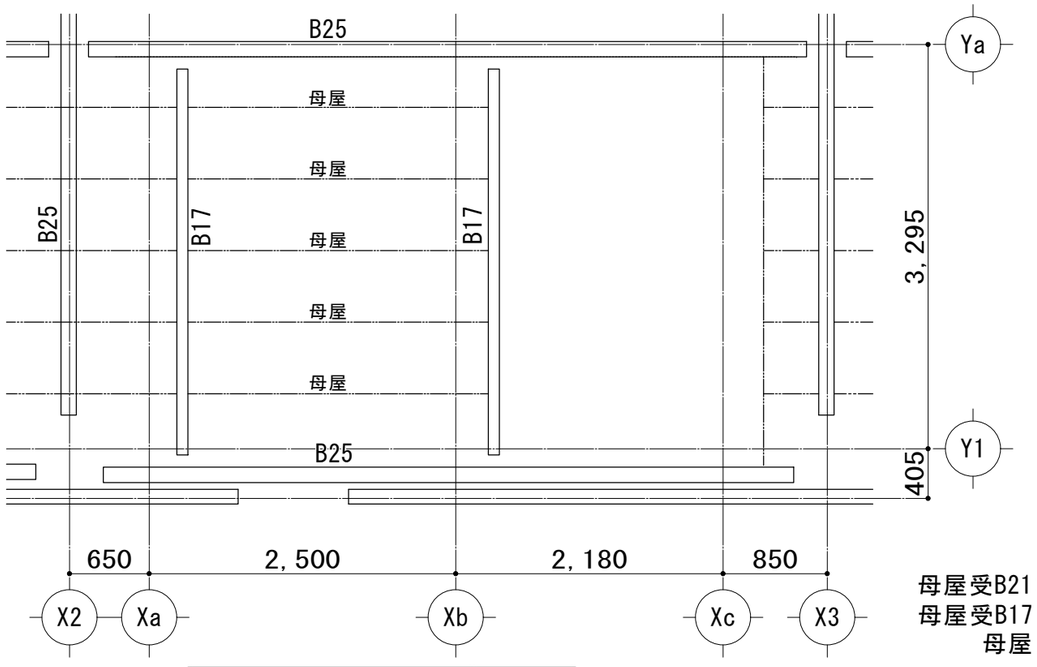
壁:LGS100+GB-R(12.5+9.5)+壁紙撤去

A面

※記載無き面は既設のまま

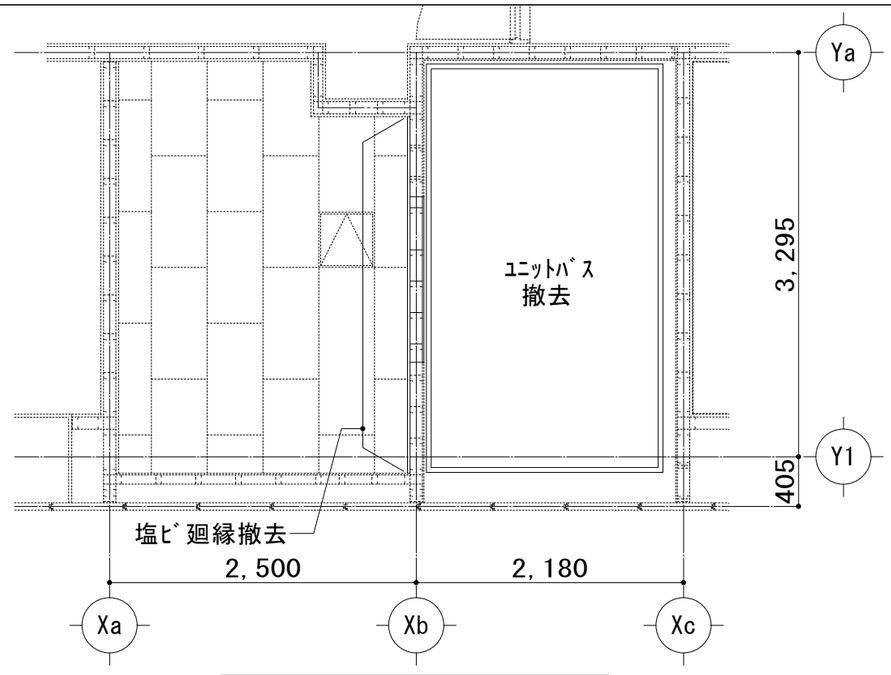
B面

既存展開図 1/50



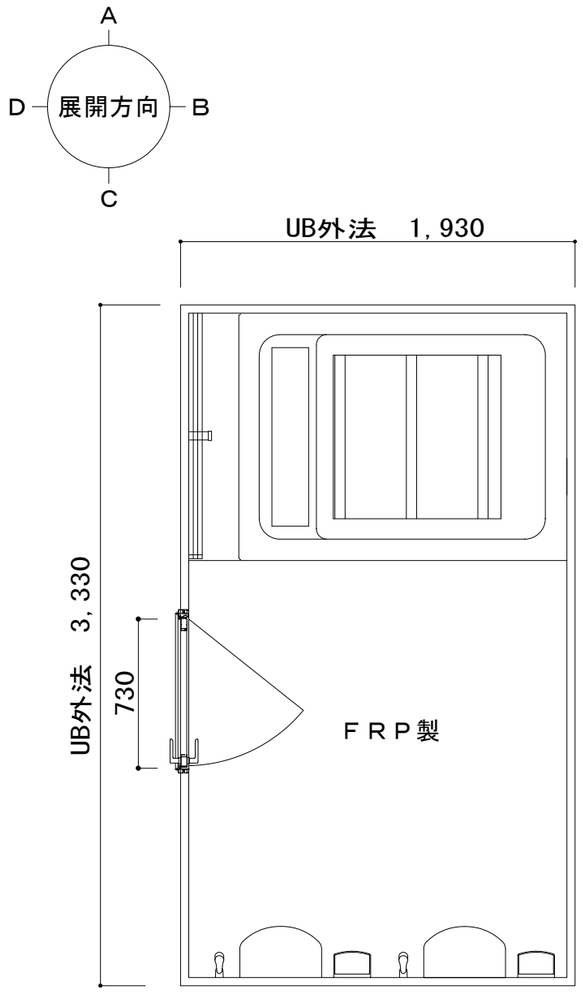
母屋受B21:H-250×125×9×6
母屋受B17:H-175×90×5×8
母屋:C-120×60×20×2.3@900

既存母屋受伏図 1/50



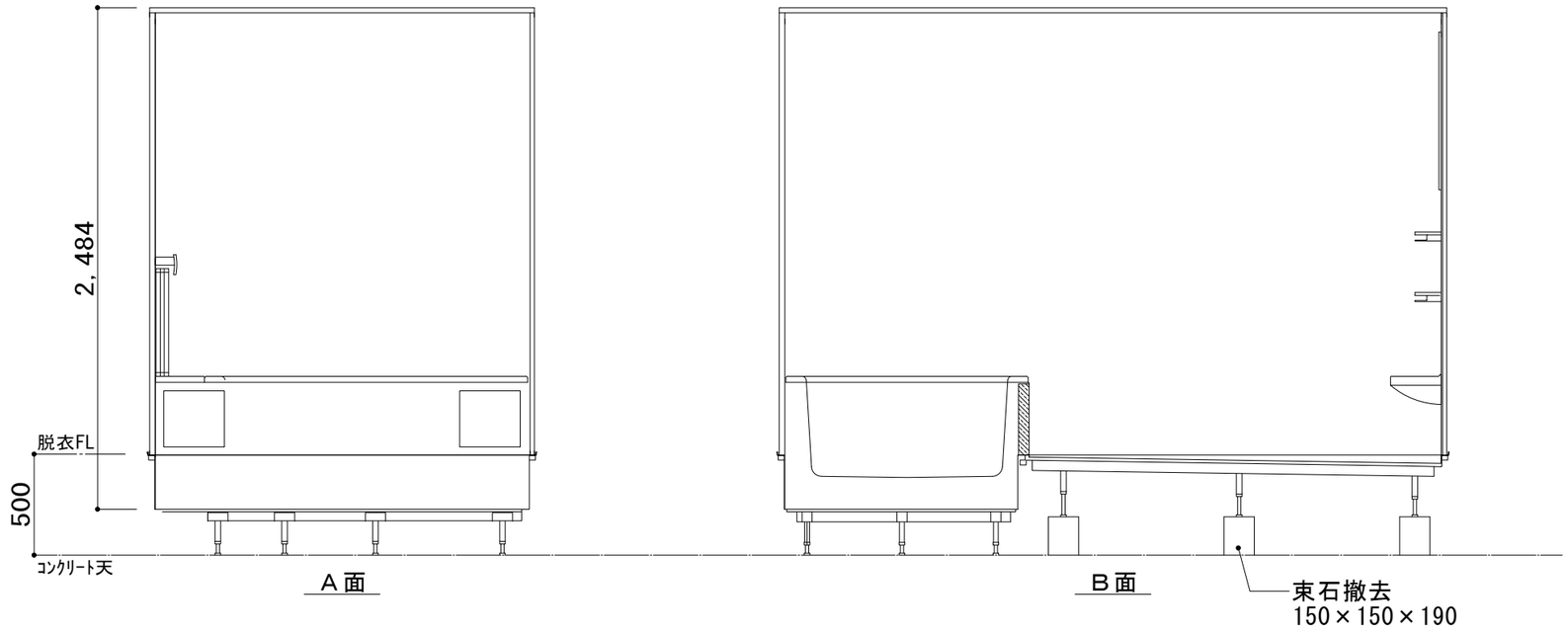
既存天井伏図 1/50

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（消防本部）	scale 1/50	No. A-09
						図面名 既存展開図・既存母屋受伏図・既存天井伏図		



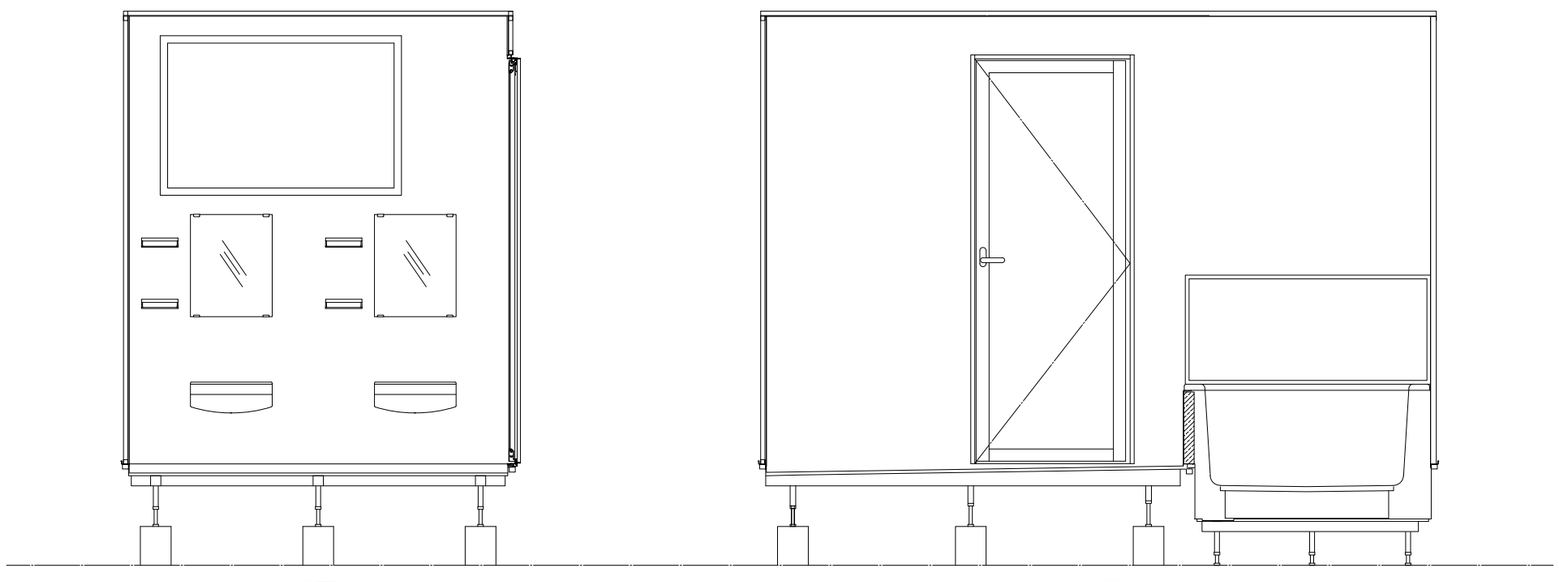
※全て撤去

平面詳細図



Ａ面

Ｂ面



Ｃ面

Ｄ面

※全て撤去

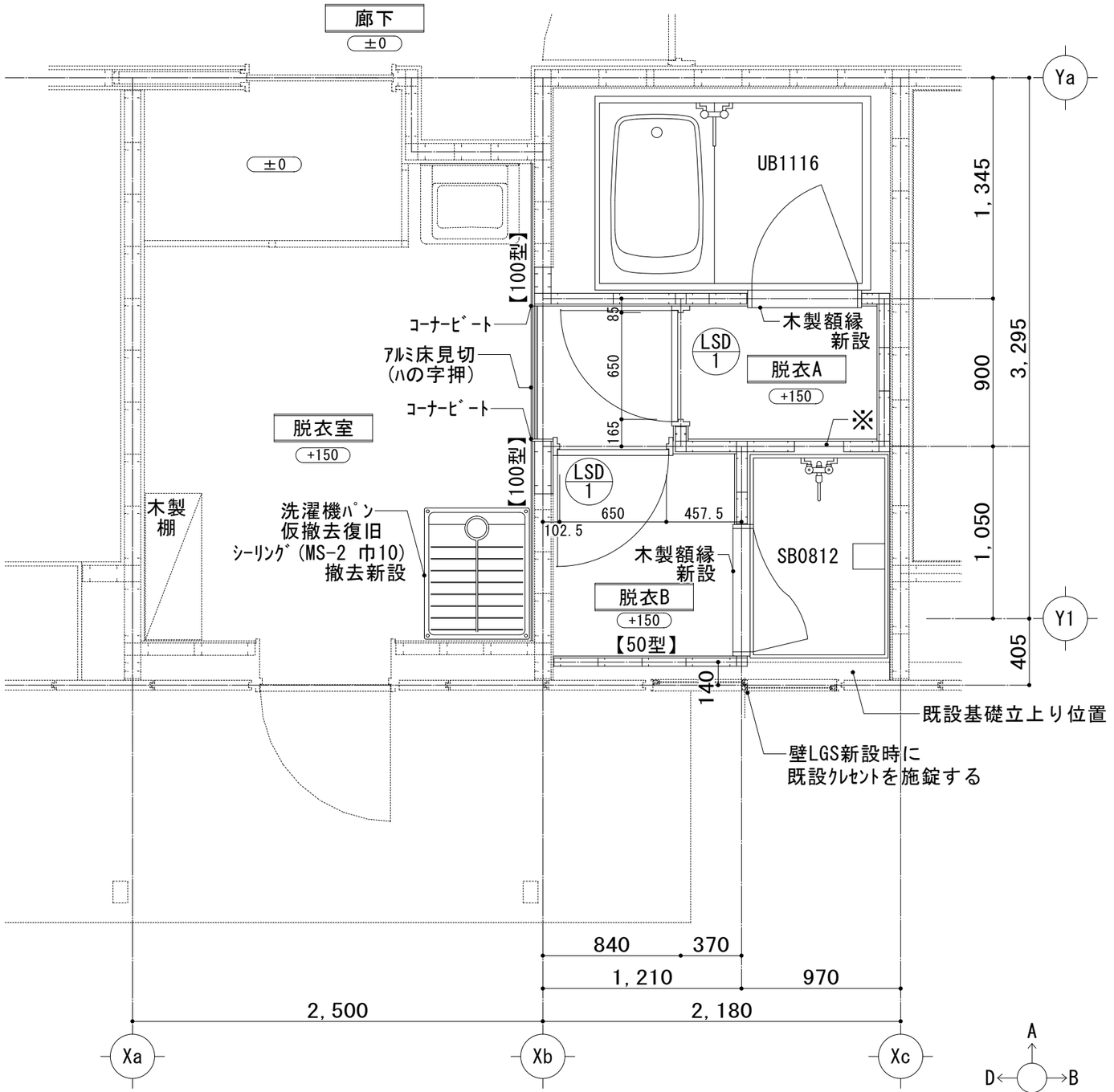
展開図

既存ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ詳細図	1/30

date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（消防本部）	scale	No.
2023.3						図面名	既存ユニットバス詳細図	1/30	A-10

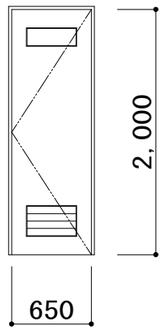
特記なき室は既設のまま
※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部新設　【○】新設
※樹脂製束床:樹脂製束+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20+普通合板厚12

改修後仕上表		
脱衣室	床	樹脂製束床【△】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2【△】
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100【△】
	壁	【既設LGS】LGS100【△】+GB-S厚12.5+9.5【△】+壁紙張り【△】 【新設LGS】LGS65【○】+GB-S厚12.5【○】+壁紙張り【○】
	廻縁	塩ﾋﾞ製【△】
	天井	LGS19【△】+GB-D厚9.5【△】
	ﾕﾆｯﾄ類	木製棚・洗濯機ﾊﾟﾝ
脱衣A 脱衣B	床	樹脂製束床【○】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2【○】
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100【○】
	壁	LGS65(一部50,100)【○】+GB-S厚12.5【○】+NAD塗【○】
	廻縁	塩ﾋﾞ製【○】
	天井	LGS19【○】+GB-NC厚9.5【○】+NAD塗【○】
	ﾕﾆｯﾄ類	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ(1116ｻｲｽﾞ BL認定品)【○】 ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ(0812ｻｲｽﾞ)【○】



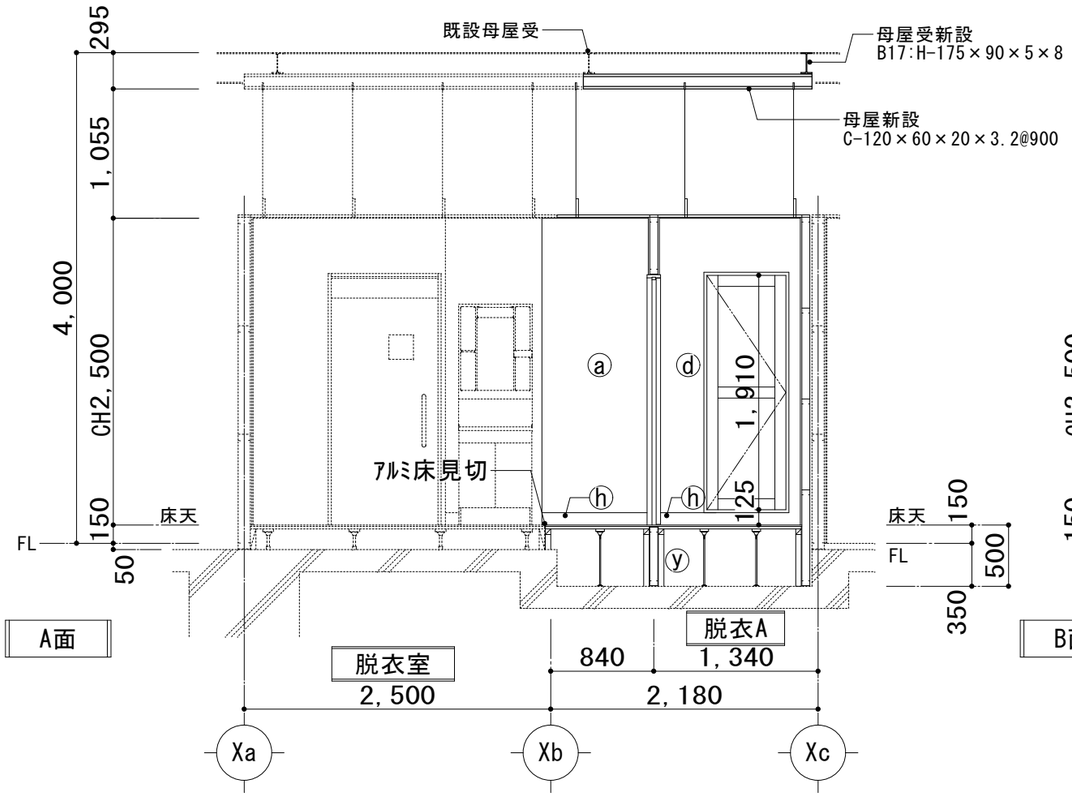
改修後平面詳細図	1/30

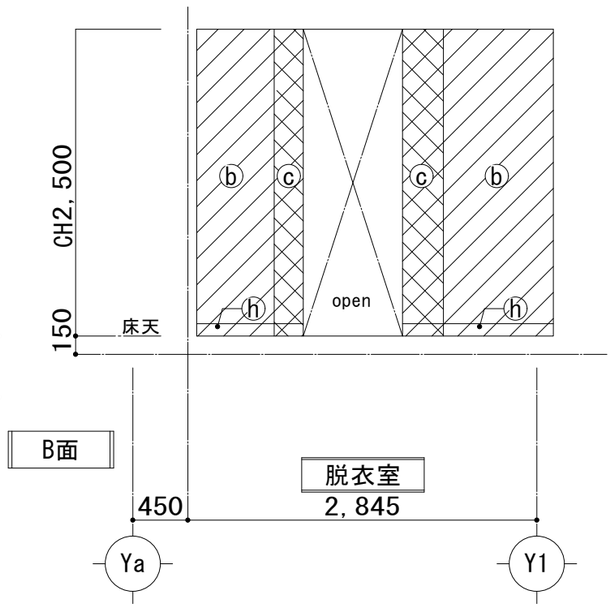
【数字】: 壁LGSサイズを示す(特記なきは65型)
※ : SB配管部 壁LGS設置なし(巾300程度)

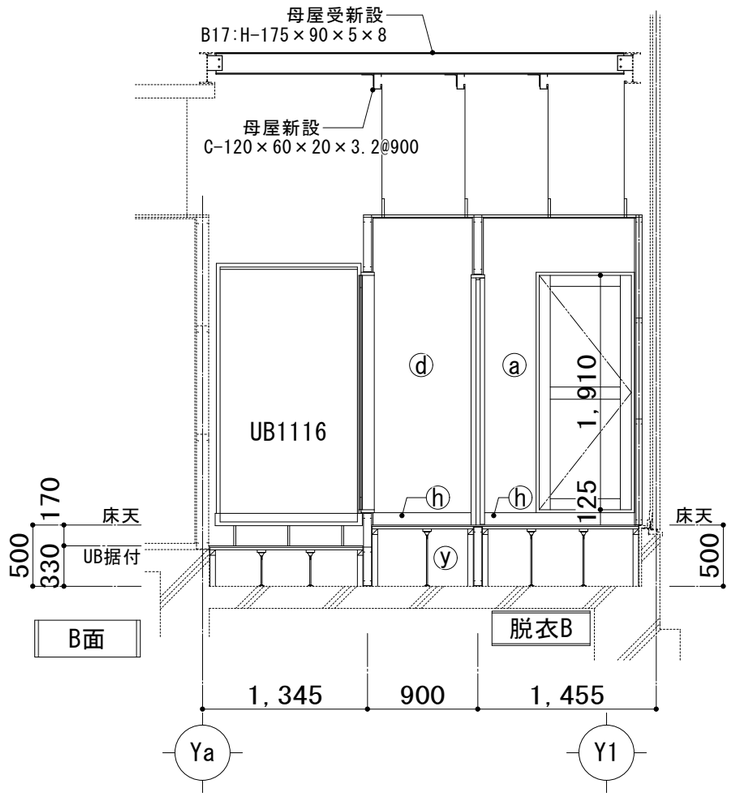
改修後建具表		
LSD 1 scale 1/50 	形式	軽量鋼製片開き戸
	数量	2
	扉仕様	化粧鋼板厚0.6
	枠仕様	鋼製枠NAD塗
	ｶﾞﾗｽ	型ｶﾞﾗｽ厚4
	金物類	・ｽﾃﾝﾚｽ丁番 ・表示付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠 (非常時解錠機構付) ・ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ
	その他	
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ付ﾄﾞｱ 木製額縁	木製四方額縁 25×110 NAD塗 UB:644×1910 SB:758×1916	

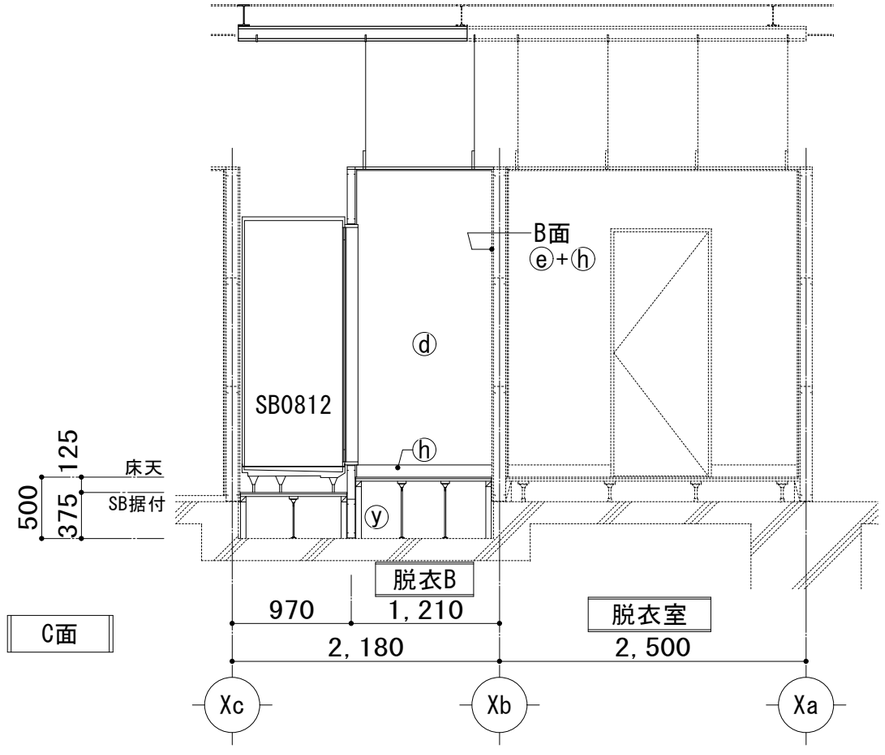
date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (消防本部)
2023.3						図面名	改修後仕上表・改修後平面詳細図・改修後建具表

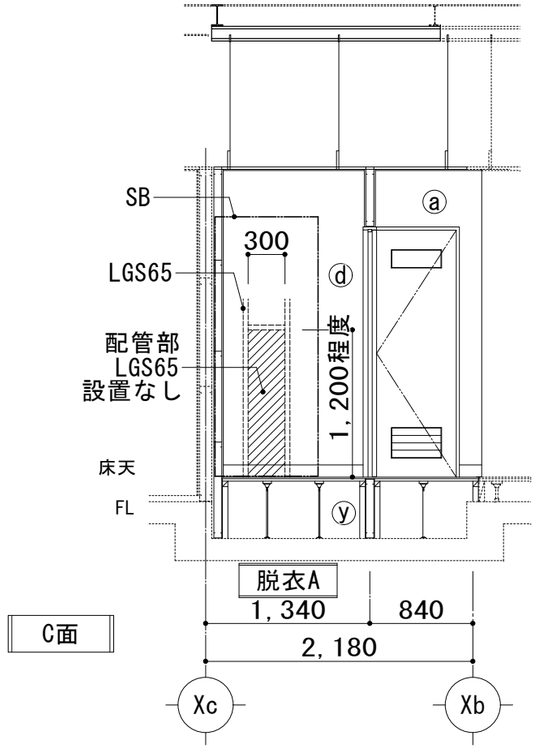
scale	No.
1/30 1/50	A-11







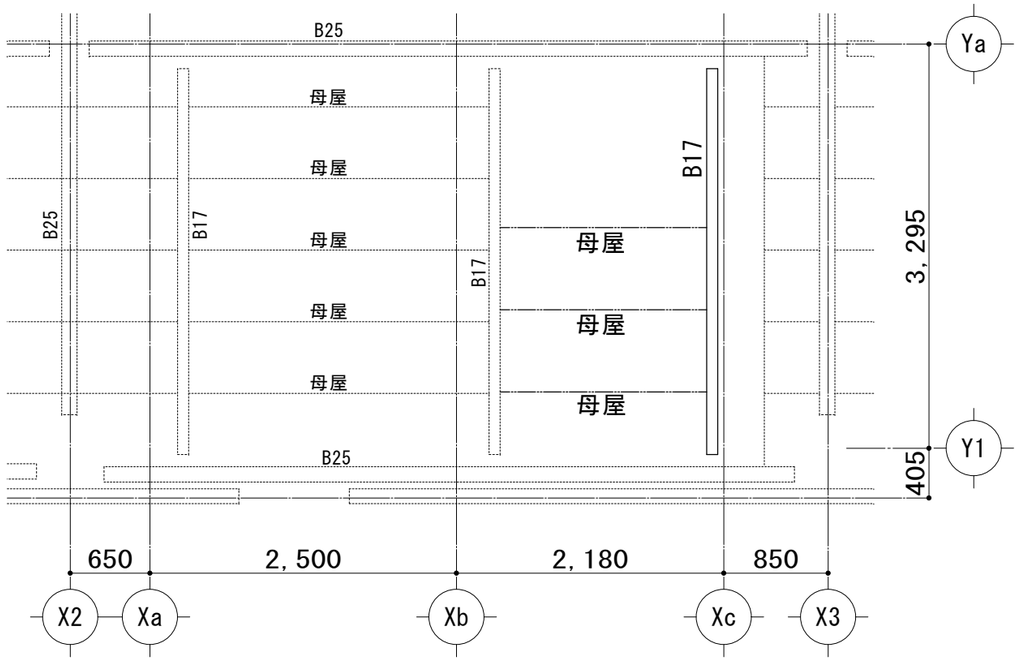




ⓐ	LGS65+GB-S厚12.5+NAD塗
ⓑ	既設LGSの上、GB-R厚(12.5+9.5)+壁紙張り
ⓒ	LGS100+GB-R厚(12.5+9.5)+壁紙張り
ⓓ	LGS50+GB-S厚12.5+NAD塗
ⓔ	LGS100+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓗ	ビニル巾木H100
ⓨ	樹脂製束床

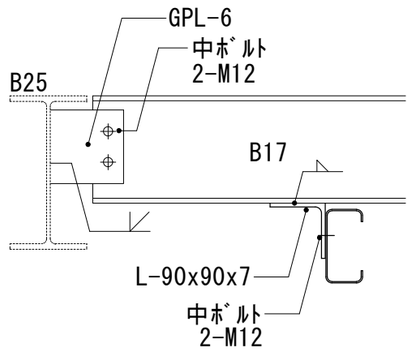
date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（消防本部）	scale
2023.3						図面名	改修後展開図	1/50

No. A-12

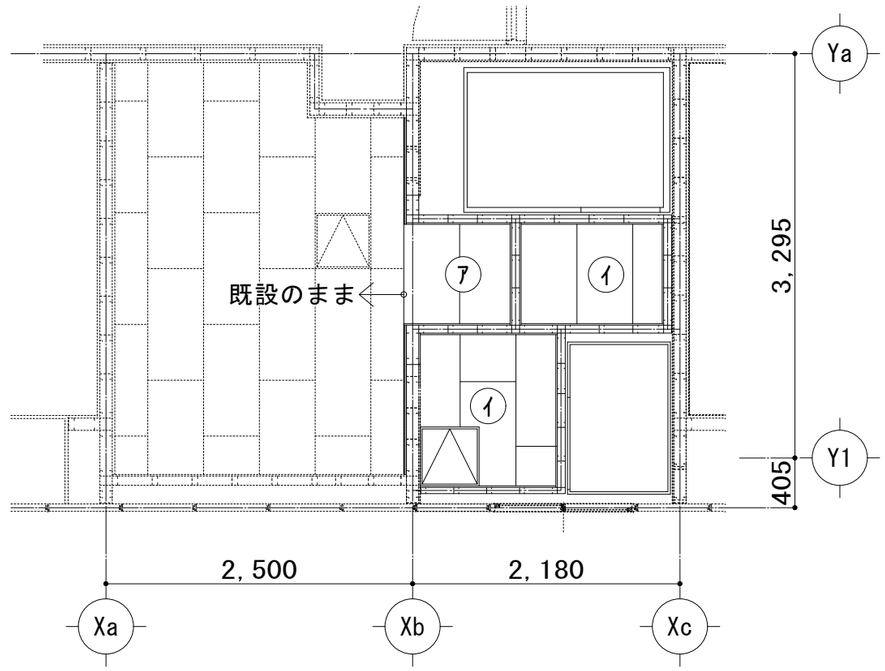


改修後母屋受伏図	1/50

母屋受B25:H-250×125×9×6
母屋受B17:H-175×90×5×8
母屋:C-120×60×20×3.2@900

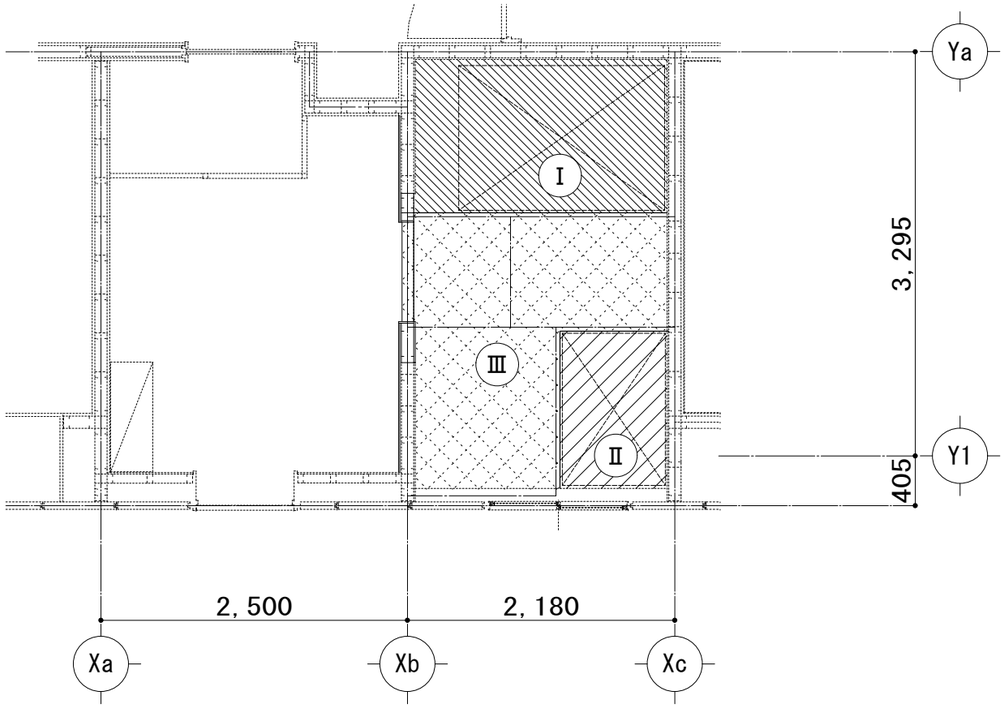


部分詳細図	1/10

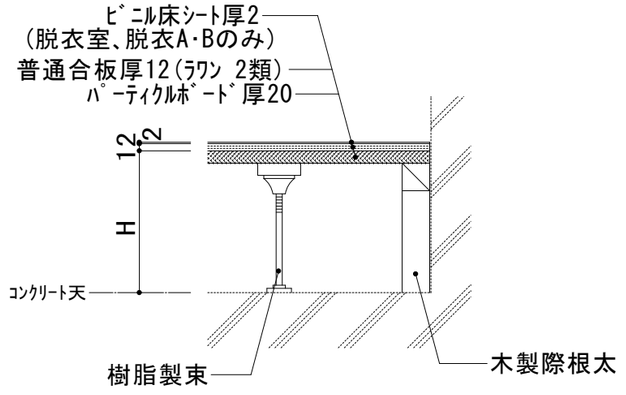


ア	LGS19+GB-D厚9.5		天井点検口 450×450 ｱﾙﾐ額縁
イ	LGS19+GB-NC厚9.5+NAD塗		

改修後天井伏図	1/50



改修後床伏図	1/50



床詳細図	1/10

参考値

	H
Ⅰ	318
Ⅱ	363
Ⅲ	486

※ 既存ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ撤去後実測を行い、監督員の承諾を得ること

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (消防本部)	scale	No.
2023.3						図面名	改修後母屋受伏図･改修後天井伏図･改修後床伏図	1/10 1/50	A-13

救急訓練室（兼トレーニング室）
倉庫１
仮眠室４
仮眠室３
バルコニー
廊下
ＥＶホール
廊下
書　庫
更衣室
会議室
待機室（厨房）
待機室（食堂）
待機室（和室）
浴室
脱衣室
バルコニー

Y7
Y6
Y5
Y4
Ya
Y1
3,300
3,650
3,450
17,200
9,800

X1
X2
X3
X4
Xa
Xb
X5
700
7,050
3,850
9,500
9,100
325
29,825

工事部分

date		株式会社 匠（たくみ）設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	scale
2023.3						図面名	３階平面図	1/100

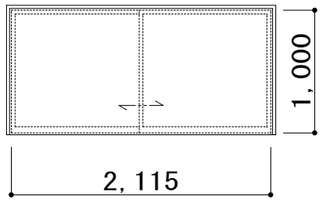
No. A-14

特記なき室は既設のまま
※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部撤去　【×】撤去

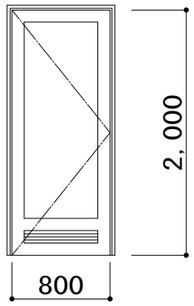
既存仕上表		
脱衣室	床	RC+ﾓﾙﾀﾙ【△】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.5【△】　図中
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100【△】
	壁	・GB-R厚12.5(直張り)【△】+NAD塗
	廻縁	塩ﾋﾞ製【△】
	天井	LGS19【△】+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6【△】+NAD塗
	ﾕﾆｯﾄ類	更衣棚【△】・洗濯機ﾊﾟﾝ・洗面台
浴室	床	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水【△】+保護ｺﾝｸﾘｰﾄ【△】+ﾓﾙﾀﾙ【△】+陶器質ﾀｲﾙ【×】
	巾木	壁にならう
	壁	ﾓﾙﾀﾙ【×】+陶器質ﾀｲﾙ【×】
	廻縁	ｱﾙﾐ廻縁(ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ用)【×】
	天井	LGS19【×】+ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(断熱材裏打)【×】
	ﾕﾆｯﾄ類	浴槽【×】

既存建具表

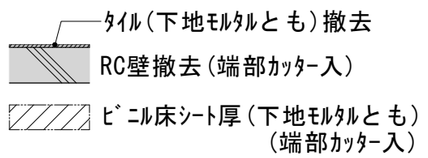
AW 1　scale 1/50

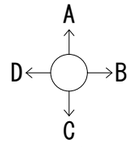


AD 1　scale 1/50

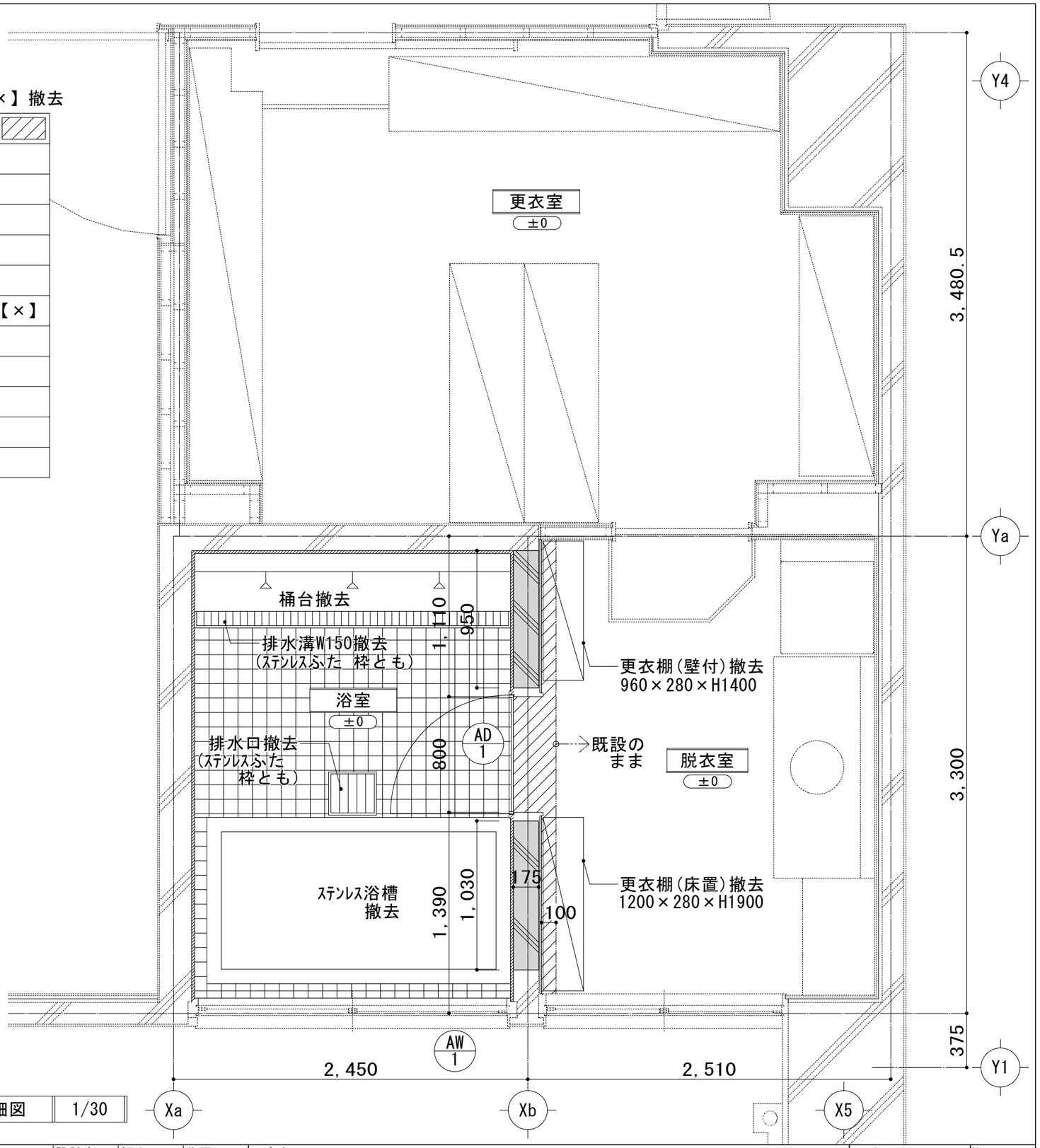


工事内容(記載以外 既設のまま)	工事内容(記載以外 既設のまま)
ｱﾙﾐ額縁撤去(上+左右三方)	・撤去(枠、下枠とも) ・概要:ｱﾙﾐ製片開き戸 型ｶﾞﾗｽ厚4



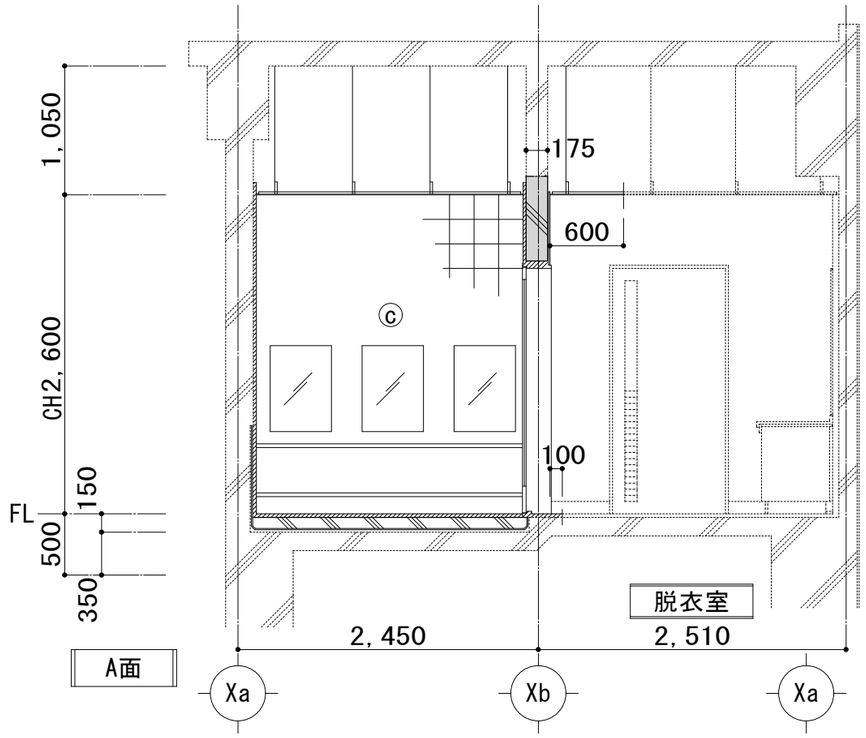


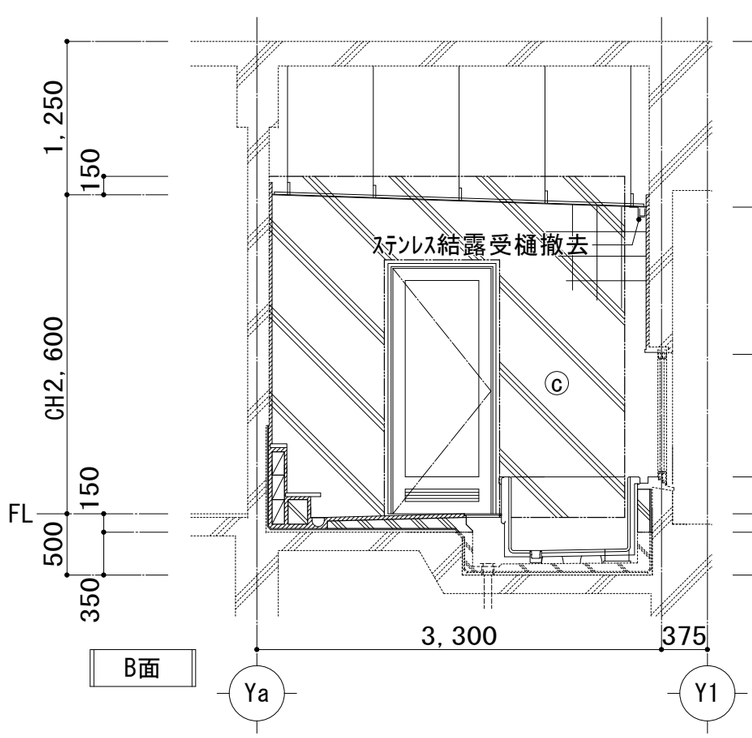
展開方向

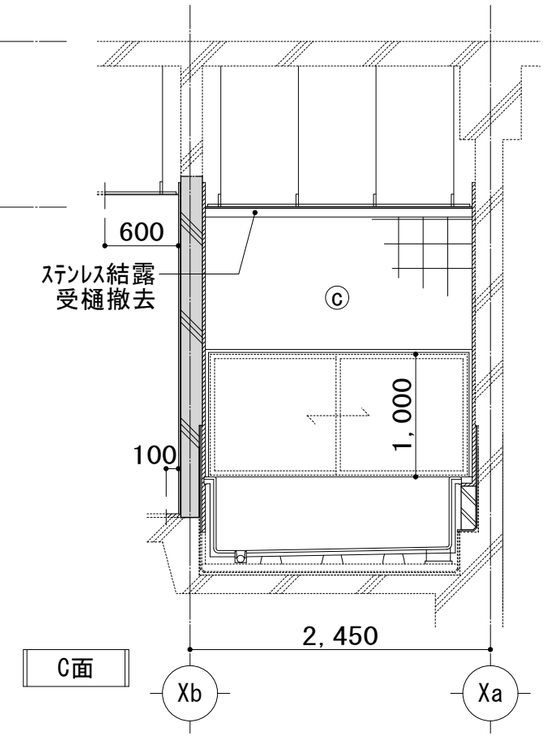


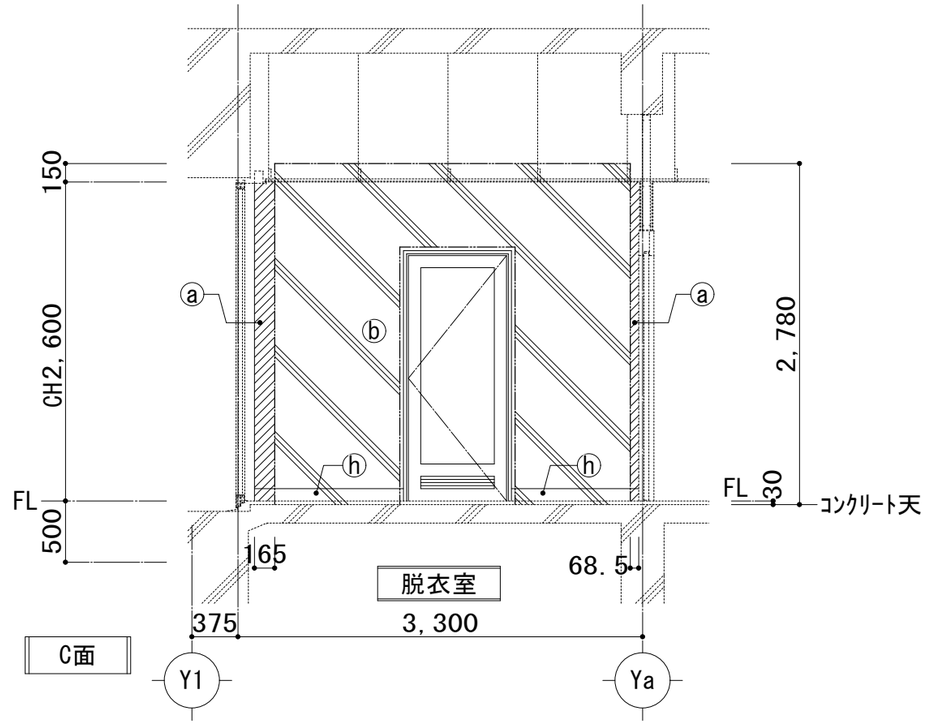
既存平面図詳細図	1/30

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (守口消防署　東部出張所)	scale 1/30 1/50
2023.3						図面名	既存仕上表・既存平面詳細図・既存建具表	No. A-15







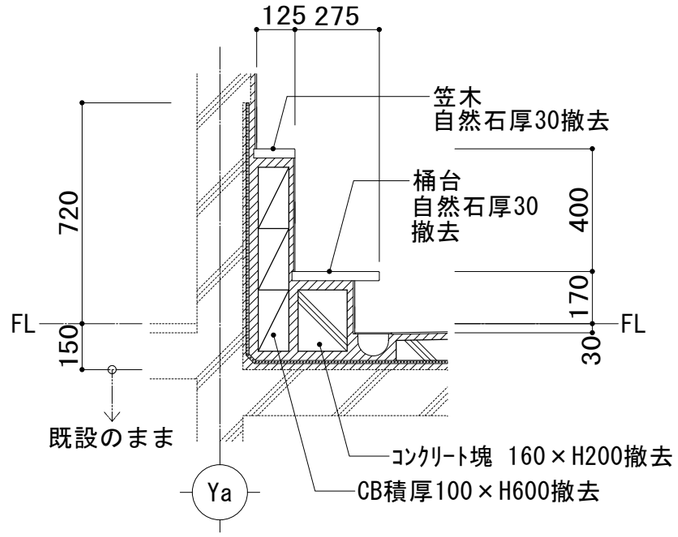


	ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去(厚175)(端部ｶｯﾀｰ入)
ⓐ	GB-R厚12.5(直張り)撤去(ｺﾝｸﾘｰﾄ壁存置)
ⓑ	GB-R厚12.5(直張り)撤去(ｺﾝｸﾘｰﾄ壁撤去)
ⓒ	壁ﾀｲﾙ撤去(下地ﾓﾙﾀﾙとも)
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100撤去

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事 (守口消防署　東部出張所)	scale
2023.3						図面名 既存展開図	1/50

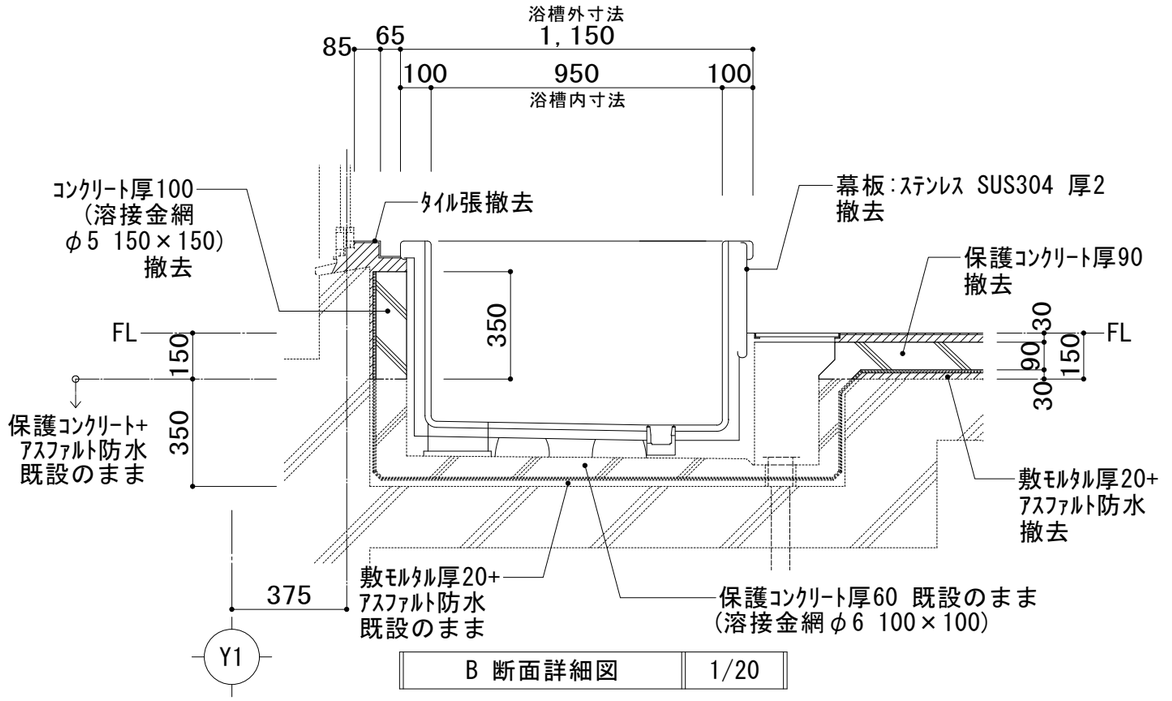
No. A-16

既存桶台詳細図

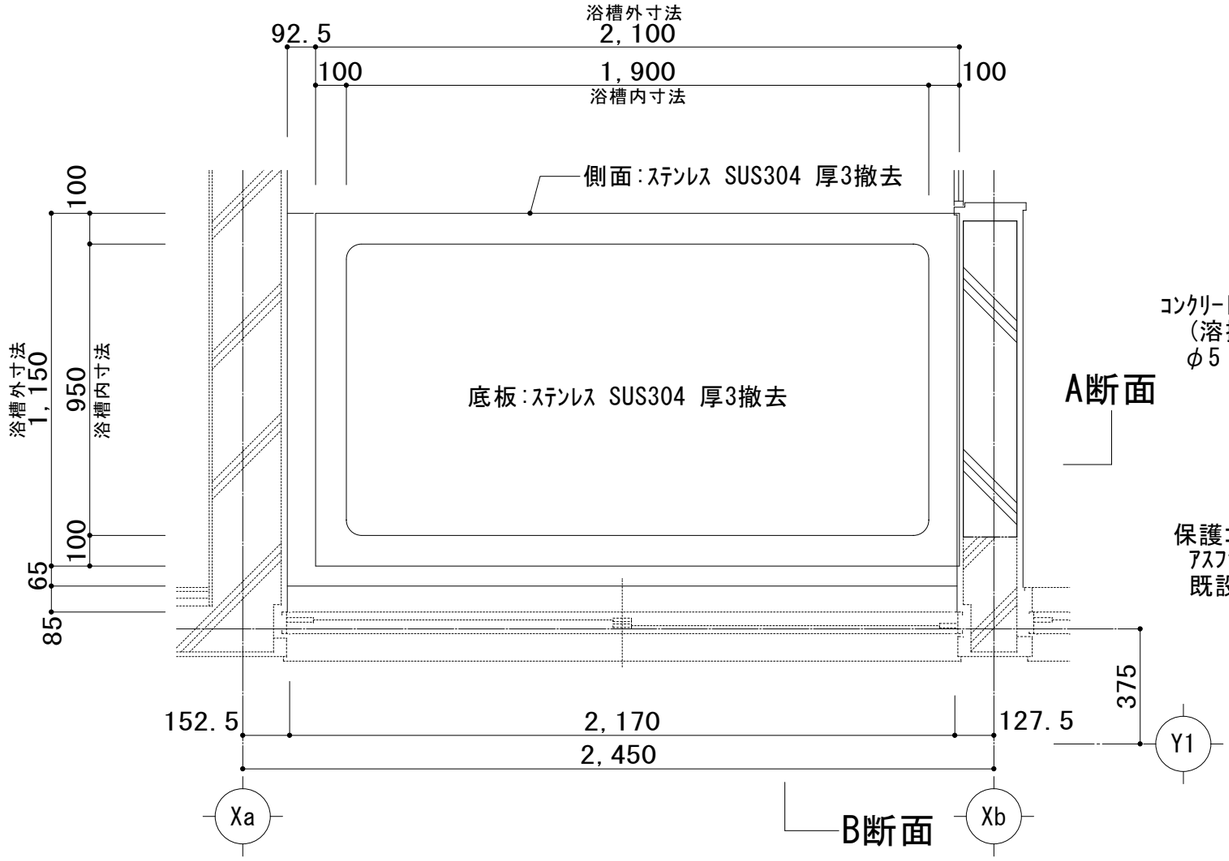


断面詳細図	1/20

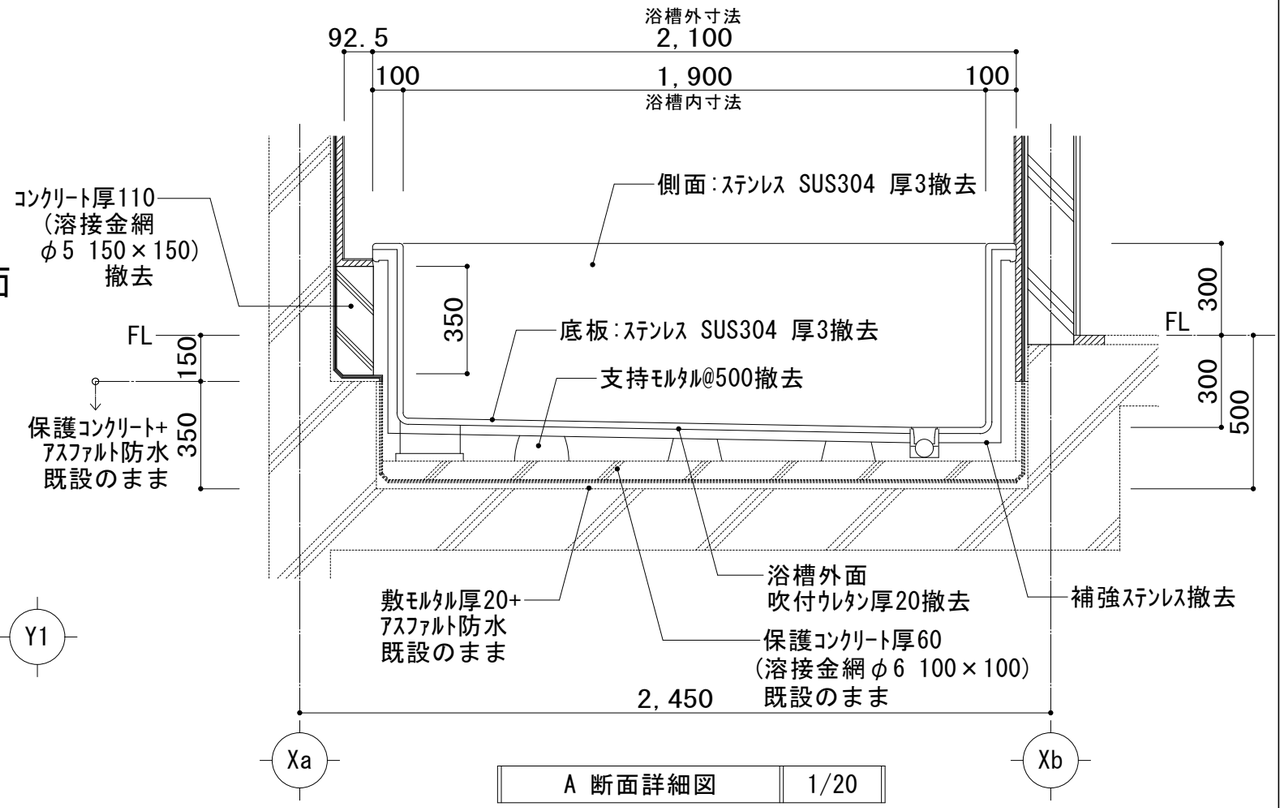
既存浴槽詳細図



B 断面詳細図	1/20



平面詳細図	1/20



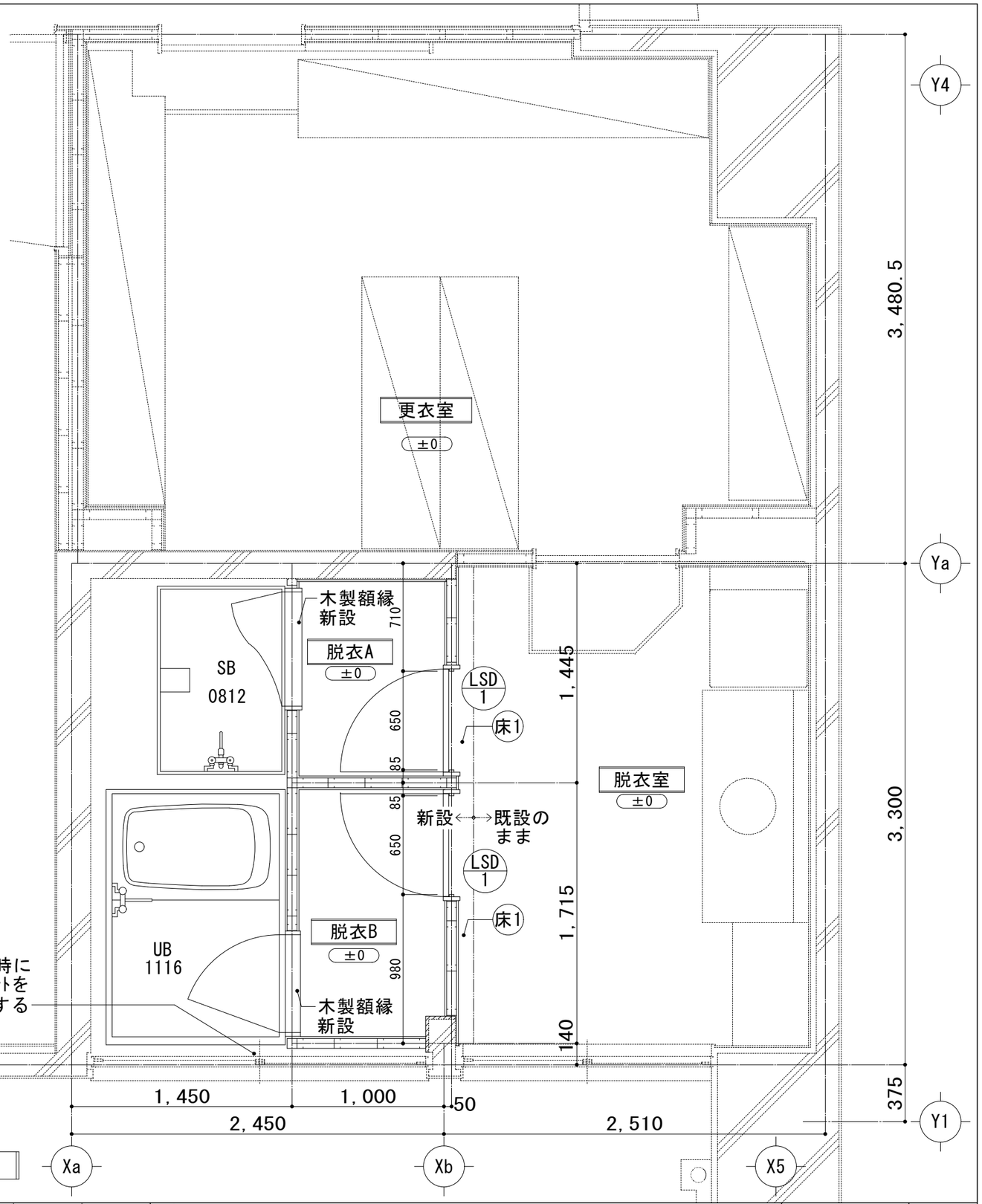
A 断面詳細図	1/20

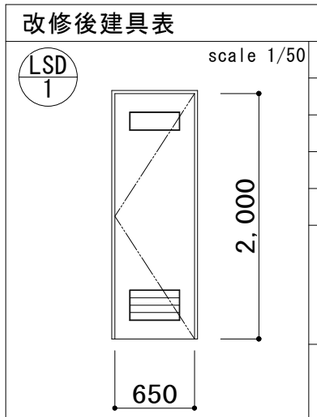
date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	1/20	A-17
					図面名 既存部分詳細図		

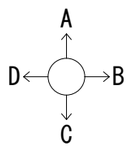
特記なき室は既設のまま
※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部新設　【○】新設
※樹脂製束床:樹脂製束+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20+普通合板厚12

改修後仕上表		
脱衣室	床	RC+ﾓﾙﾀﾙ【△】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.5【△】　図中(床1)
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100【△】
	壁	【新設部】LGS65【△】+GB-S厚12.5【△】+NAD塗【△】 【既設部】既設ﾎﾞｰﾄﾞ面の上､NAD塗(RB)【○】
	廻縁	塩ﾋﾞ製【△】
	天井	【新設部】LGS19【△】+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6【△】+NAD塗【△】 【既設部】既設ﾎﾞｰﾄﾞ面の上､NAD塗(RB)【○】
	ﾕﾆｯﾄ類	洗濯機ﾊﾟﾝ･洗面台
脱衣A･B	床	樹脂製束床【○】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.5【○】
	巾木	ﾓﾙﾀﾙ巾木H100【○】
	壁	･LGS65【○】+GB-S厚12.5【○】+NAD塗【○】 ･GB-S(直張り)厚12.5【○】+NAD塗【○】 ･ﾓﾙﾀﾙ【○】+NAD塗【○】
	廻縁	塩ﾋﾞ製【○】
	天井	LGS19【○】+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6【○】+NAD塗【○】
	ﾕﾆｯﾄ類	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ(1116ｻｲｽﾞ BL認定品)【○】 ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ(0812ｻｲｽﾞ)【○】

改修後建具表		
LSD 1　scale 1/50	形式	軽量鋼製片開き戸
	数量	2
	扉仕様	化粧鋼板厚0.6
	枠仕様	鋼製枠NAD塗
	ｶﾞﾗｽ	型ｶﾞﾗｽ厚4
	金物類	･ｽﾃﾝﾚｽ丁番 ･表示付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠 (非常時解錠機構付) ･ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ
	その他	
ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ付ﾄﾞｱ 木製額縁	木製四方額縁 25×110 NAD塗 UB:644×1910 SB:758×1916	





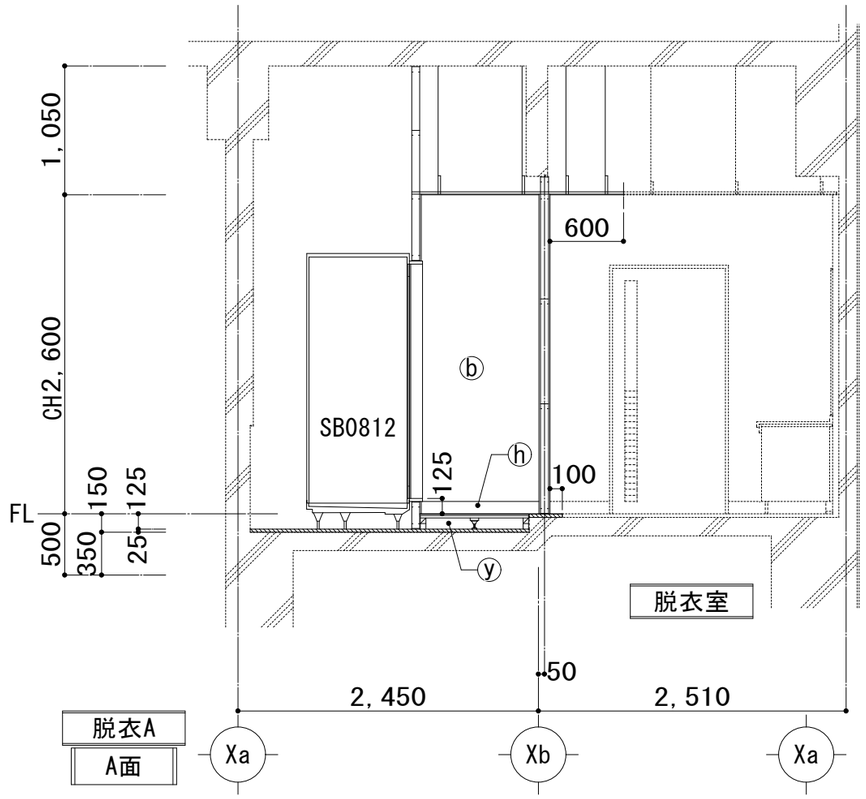


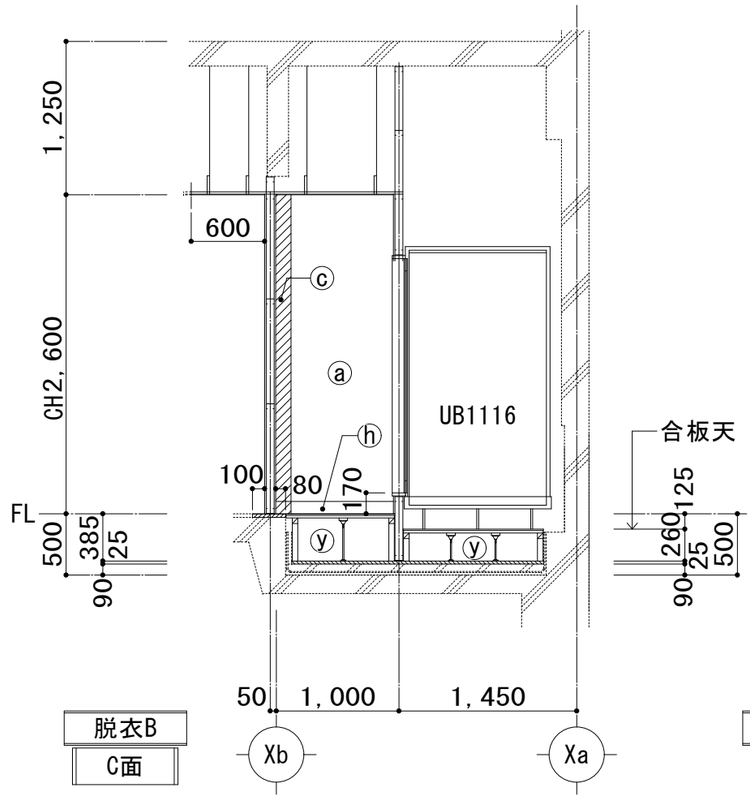
展開方向

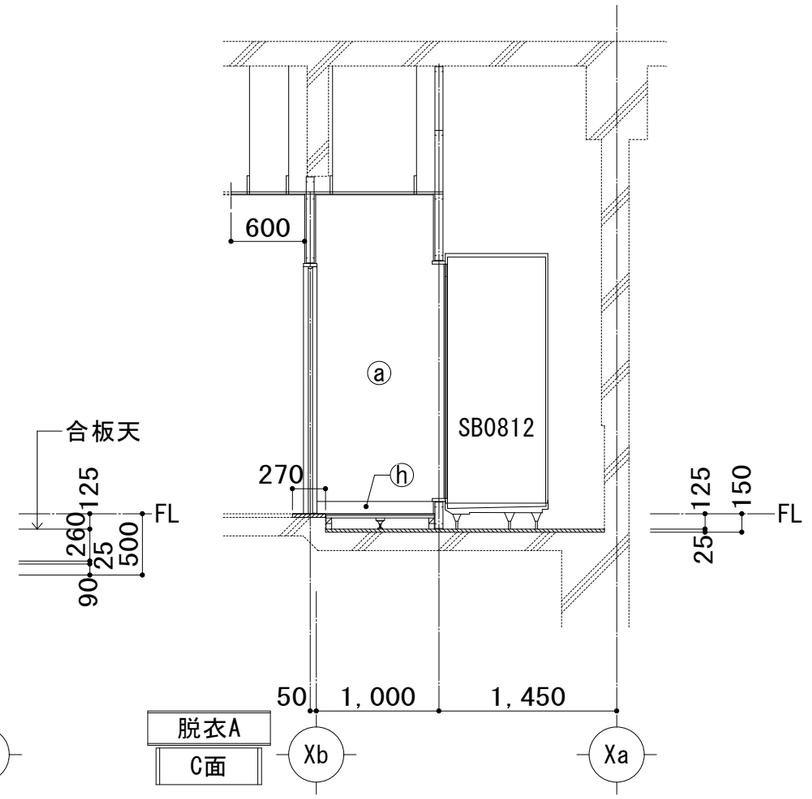
改修後平面図詳細図　1/30

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）
						図面名	改修後仕上表･改修後平面詳細図･改修後建具表

scale 1/30 1/50　No. A-18



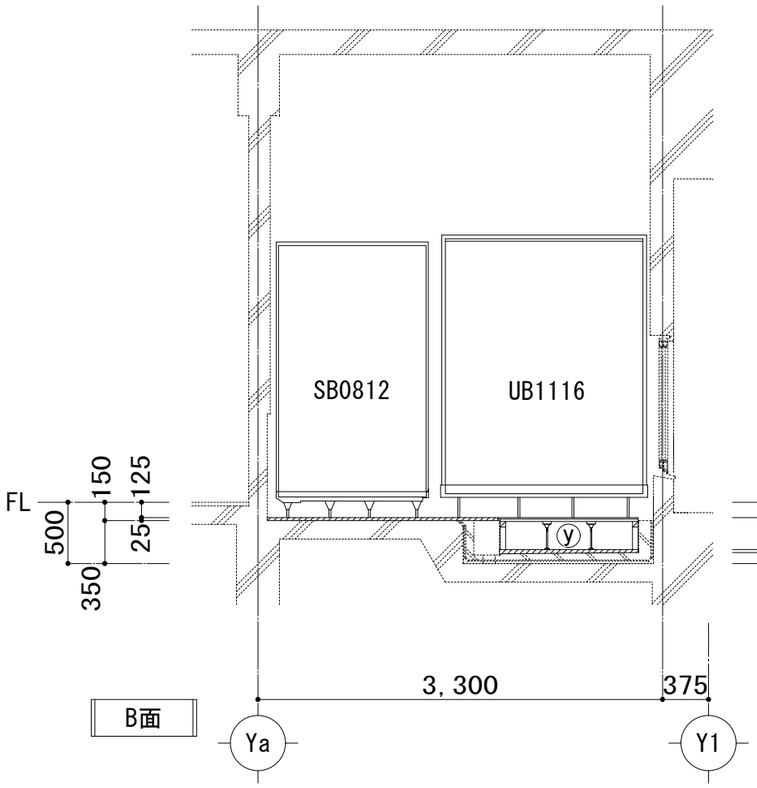


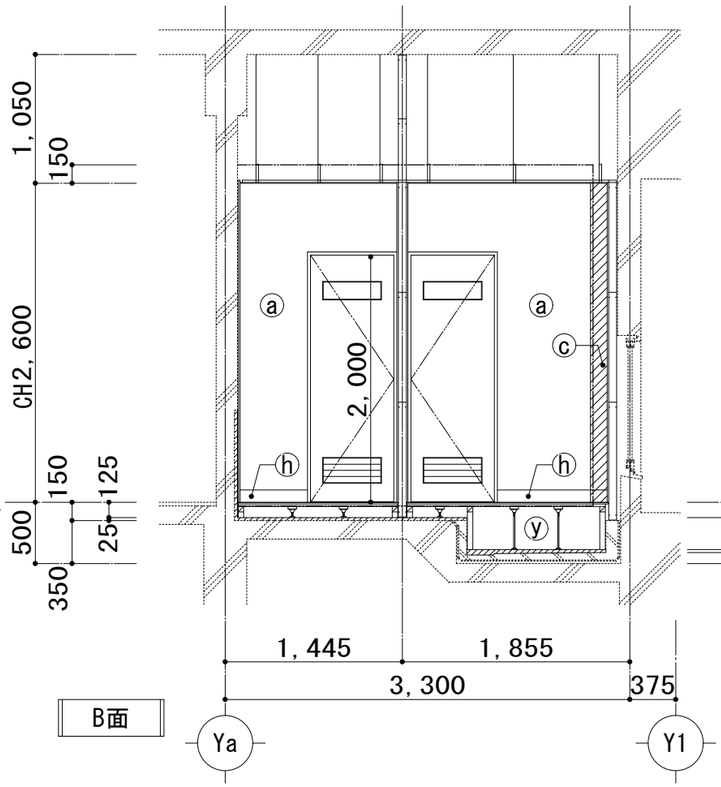


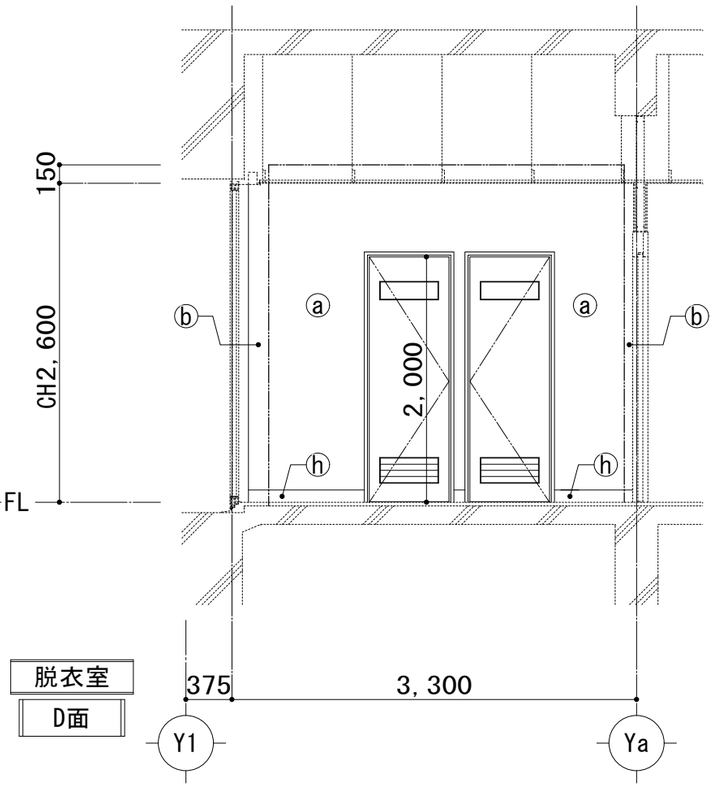
ⓐ	LGS65+GB-S厚12.5+NAD塗
ⓑ	GB-S厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ塗+NAD塗
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	scale
2023.3						図面名	改修後展開図１	1/50

No. A-19

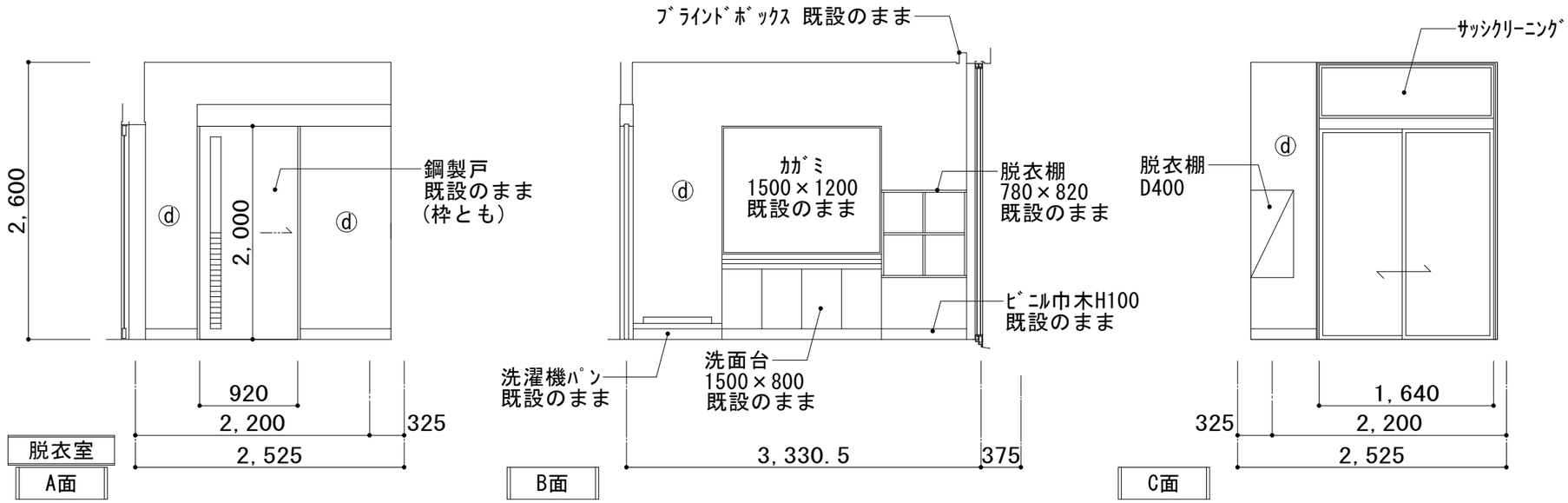






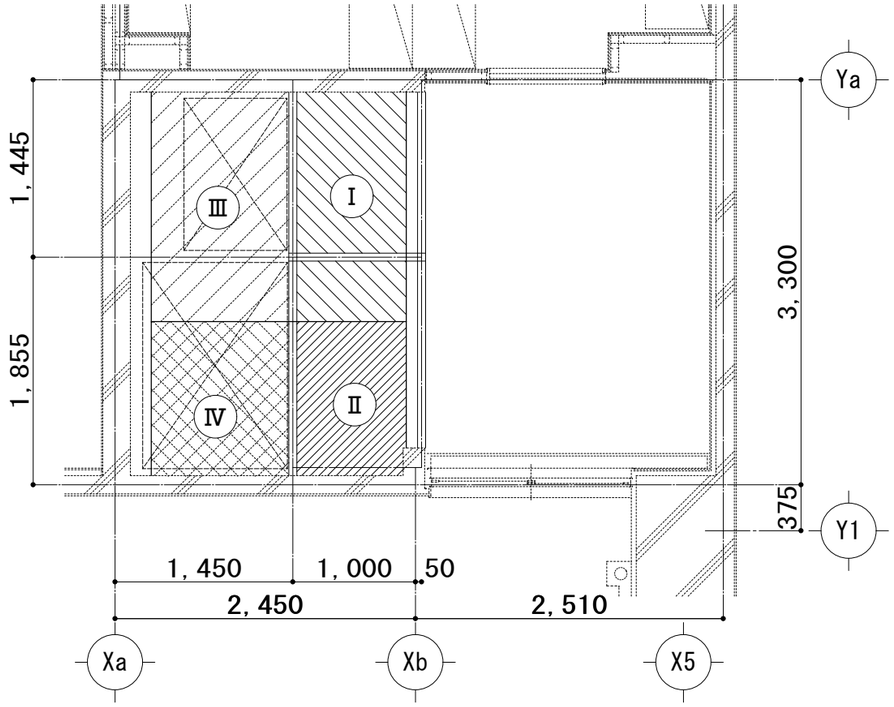
ⓐ	LGS65+GB-S厚12.5+NAD塗
ⓑ	GB-S厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ塗+NAD塗
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	scale 1/50
						図面名	改修後展開図２	No. A-20

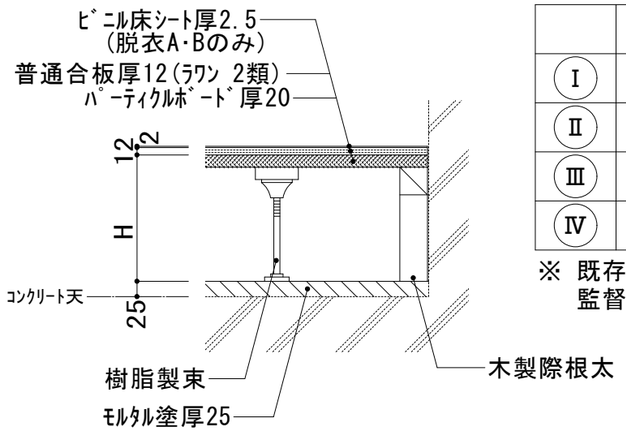


ⓓ	既設ﾎﾞｰﾄﾞ面の上、NAD塗(RB)

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所） 図面名 改修後展開図３	scale 1/50	No. A-21



改修後床伏図	1/50

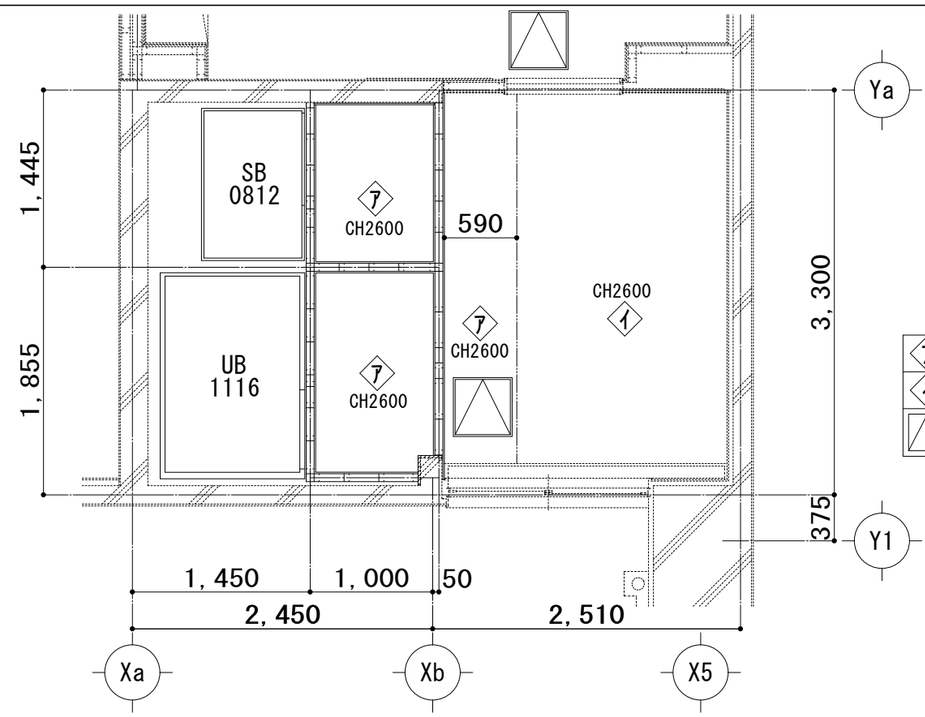


参考値

	H
Ⅰ	111
Ⅱ	280
Ⅲ	ﾓﾙﾀﾙ厚25のみ
Ⅳ	486

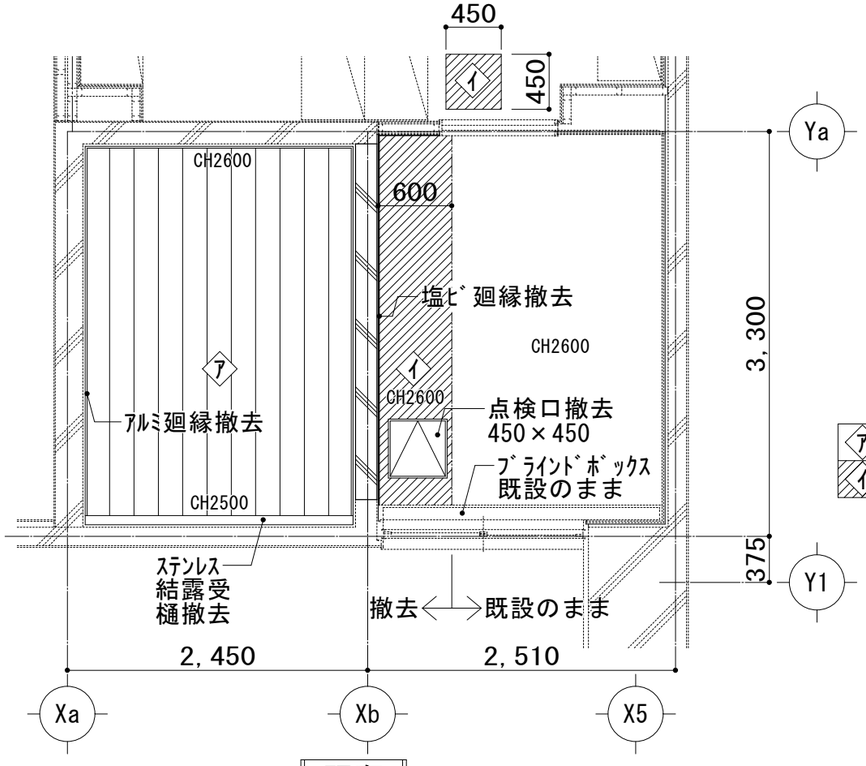
※ 既存浴槽撤去後実測を行い、
監督員の承諾を得ること

床詳細図	1/10



ｱ LGS19+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6+NAD塗+塩ﾋﾞ廻縁
ｲ 既設ﾎﾞｰﾄﾞ面､NAD塗(RB)
天井点検口 450×450 ｱﾙﾐ額縁

改修後

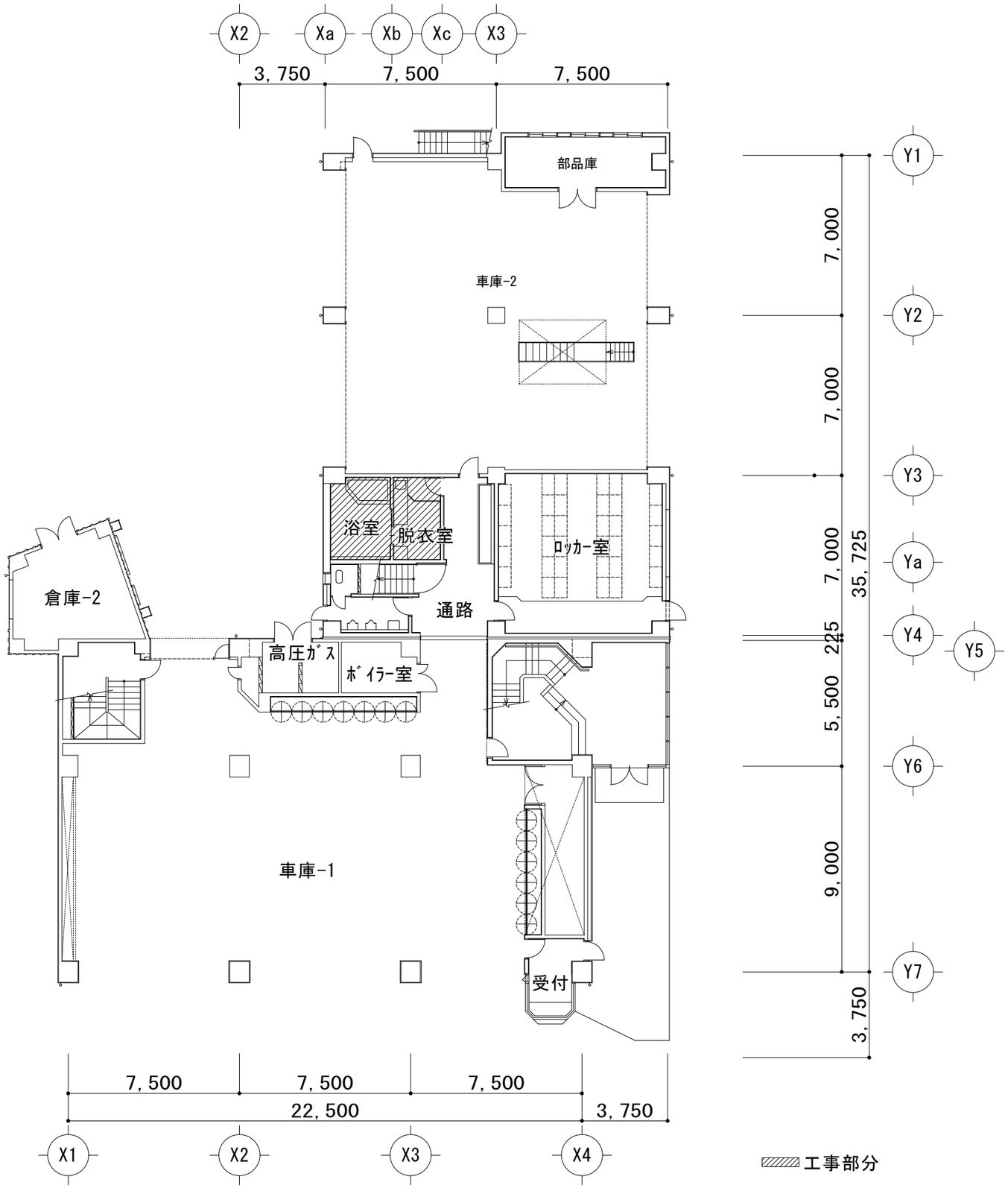


ｱ LGS19+ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ撤去
ｲ LGS19+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6+NAD塗撤去

既存

既存改修後天井伏図	1/50

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事（守口消防署　東部出張所）	1/10 1/50	A-22
					図面名 改修後床伏図･既存改修後天井伏図		



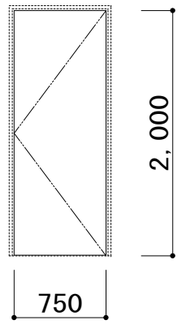
date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	scale	No.
2023. 3						1/200	A-23
					工事名 浴室個室化改良工事（門真本署）		
					図面名 1階平面図		

既存仕上表	※特記なき室は既設のまま　※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部撤去　【×】撤去　(★)ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(ﾓﾙﾀﾙは含有見込)					
	床	巾木	壁	廻縁	天井	ﾕﾆｯﾄ類
脱衣室	木床組【×】+ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ厚15【×】 (木床組下のﾓﾙﾀﾙは既設のまま) ﾓﾙﾀﾙ(★)【×】+ﾀｲﾙ張り【×】 (踏込)ﾓﾙﾀﾙ+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2【×】	木製巾木H100【×】	ﾓﾙﾀﾙ(★)【△】+EP塗【△】	木製廻縁【×】	木製下地【×】+繊維強化ｾﾒﾝﾄ板(ｱｽﾍﾞﾆｱ)厚4(★)【×】 +EP塗【×】	配管ﾗｲﾆﾝｸﾞ【×】 木製棚【×】
浴室	ﾓﾙﾀﾙ(★)【×】+ﾀｲﾙ張り【×】	壁におなじ	ﾓﾙﾀﾙ(★)【×】+ﾀｲﾙ張り【×】	塩ﾋﾞ製【×】	木製下地【×】+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6【×】	浴槽【×】

既存建具表

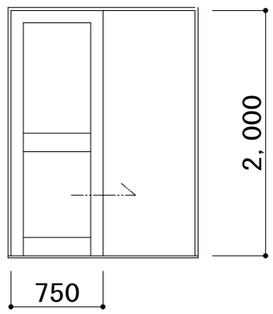
scale 1/50

SD 1

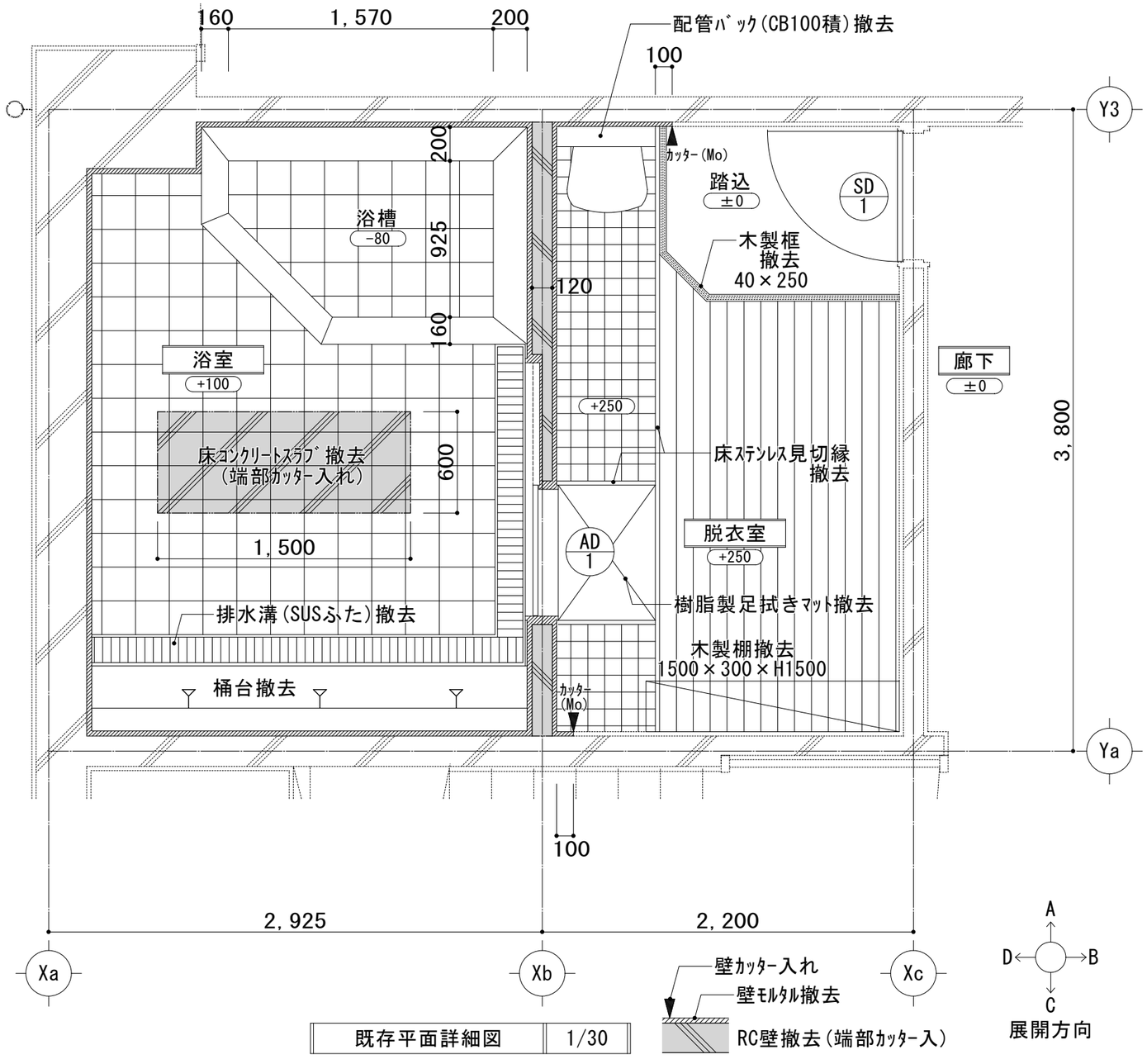


工事内容(記載以外 既設のまま)
・枠存置
・扉撤去:鋼板厚1.6 SOP塗

AD 1

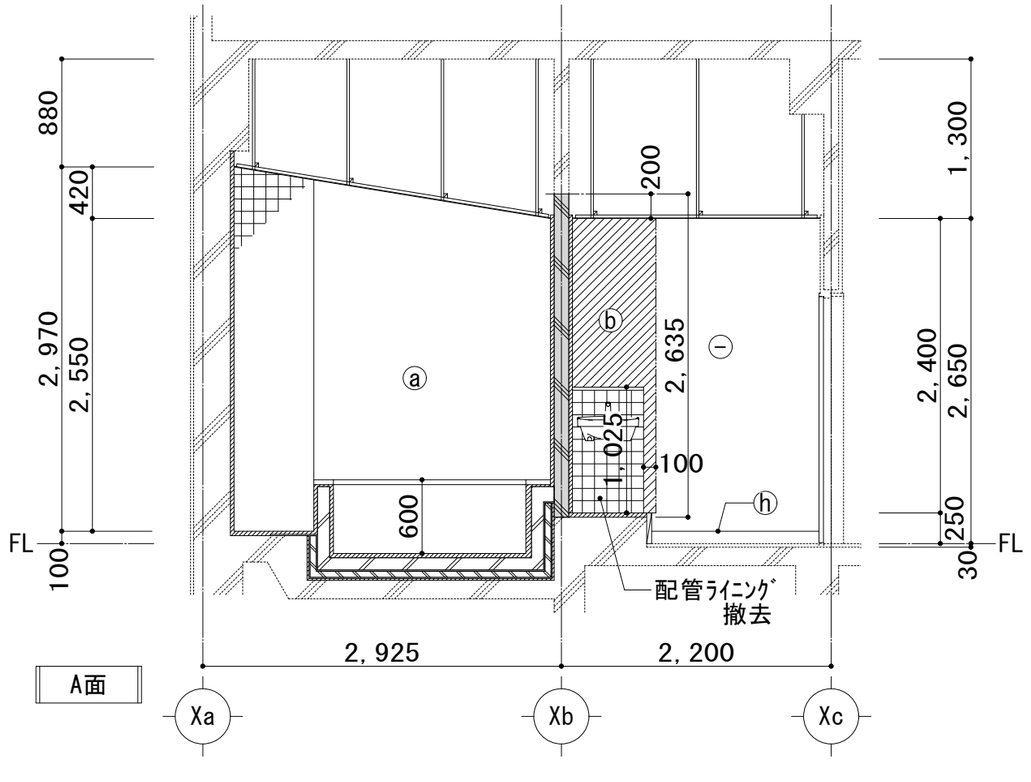


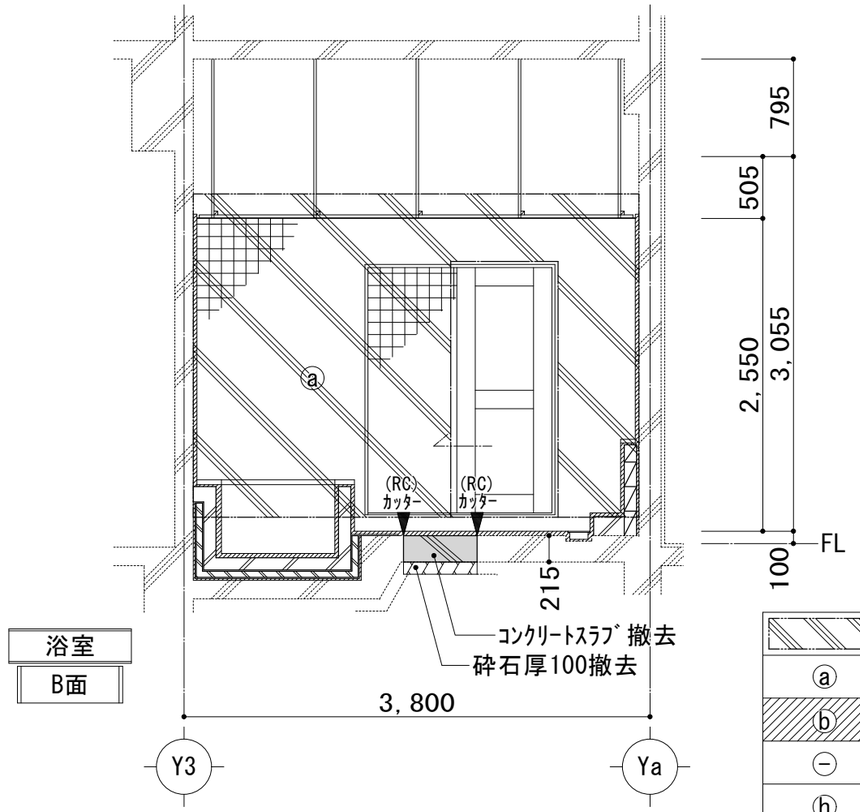
工事内容(記載以外 既設のまま)
・撤去(枠とも)
・概要:ｱﾙﾐ片引き戸
型ｶﾞﾗｽ厚4



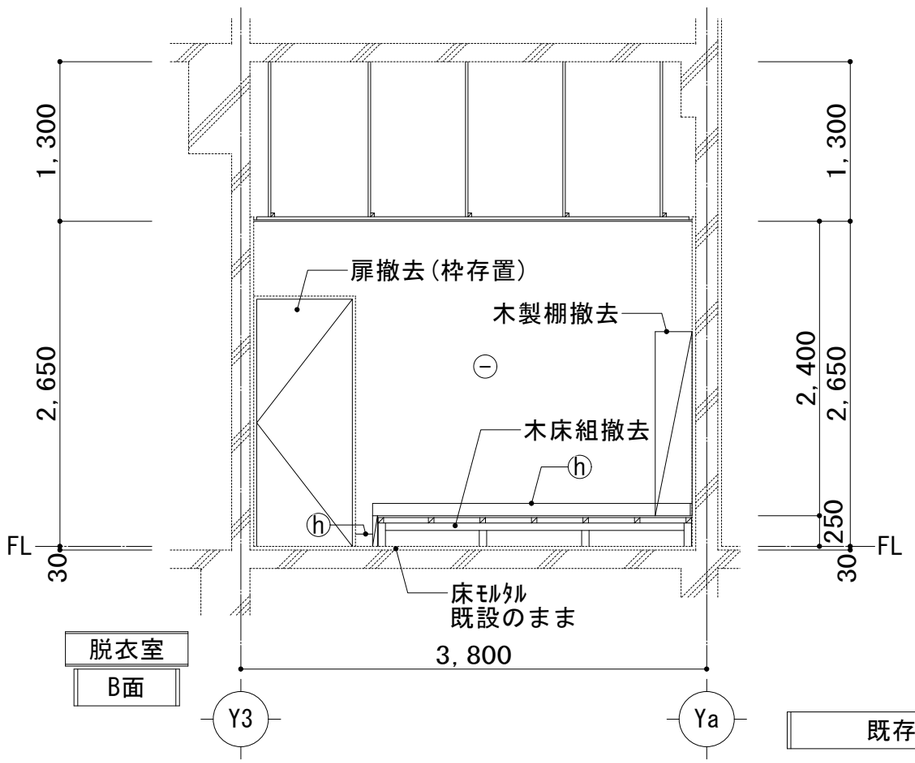
既存平面詳細図　1/30

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (門真本署)	scale 1/30 1/50	No. A-24
2023.3						図面名	既存仕上表・既存平面詳細図・既存建具表		

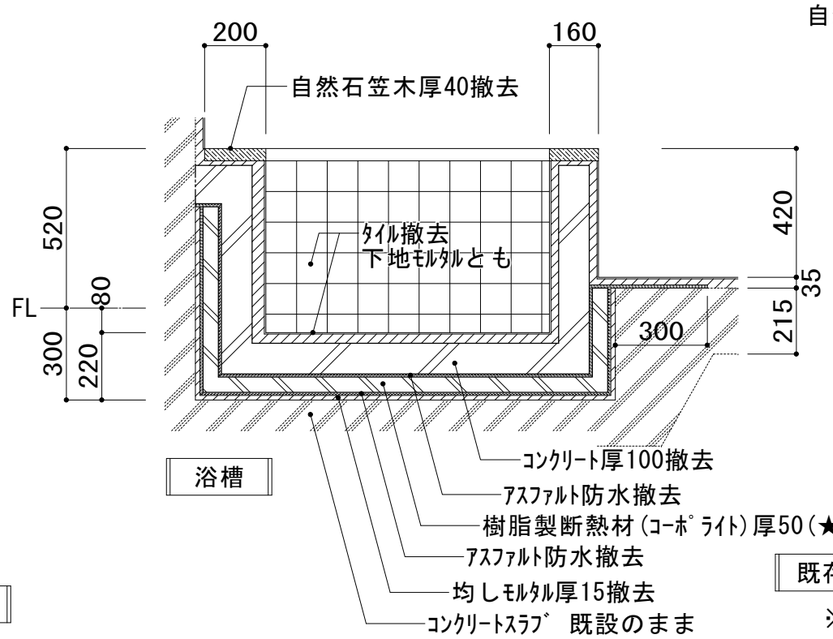


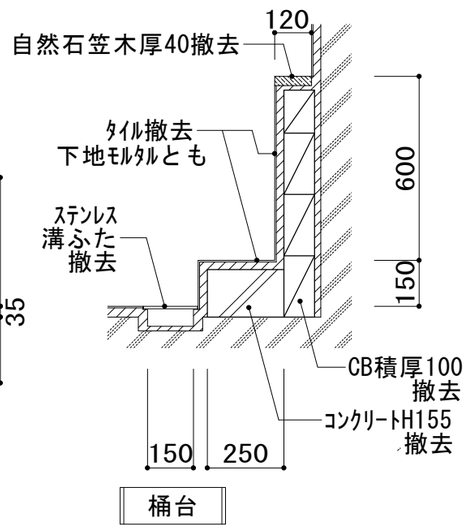


	壁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去(厚120)(端部ｶｯﾀｰ入)
ⓐ	ﾀｲﾙ撤去(下地ﾓﾙﾀﾙとも)
ⓑ	ﾓﾙﾀﾙ(EP塗)撤去(端部ｶｯﾀｰ入)
㊀	既設のまま
ⓗ	木製巾木 H100撤去



既存展開図 1/50

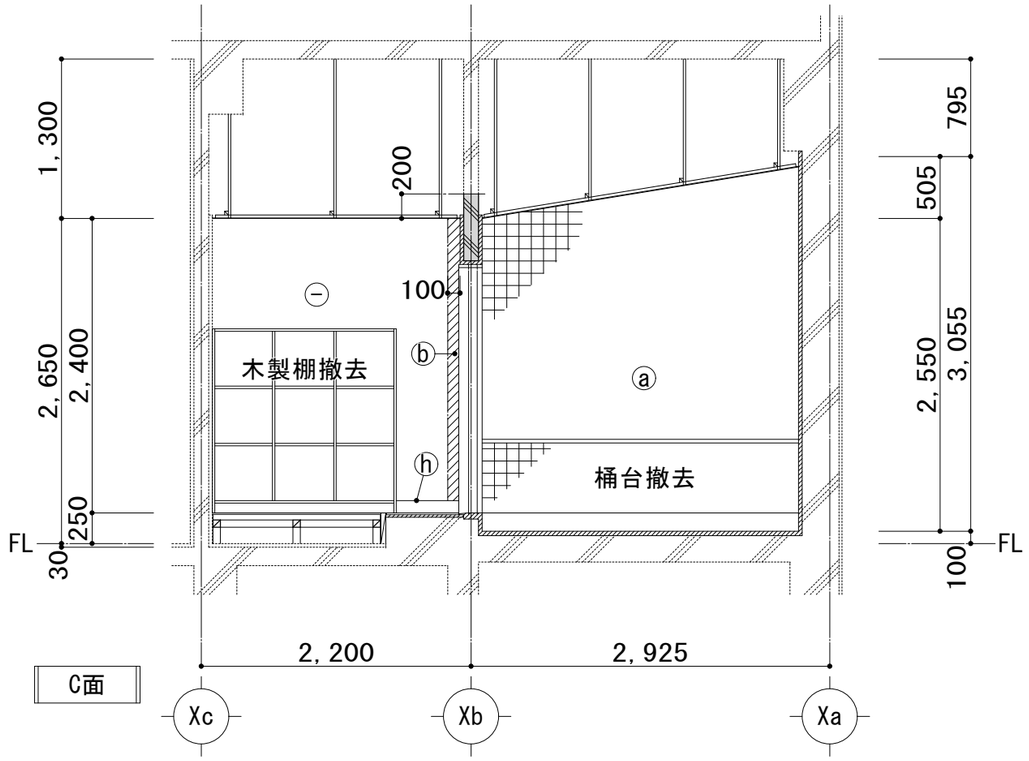


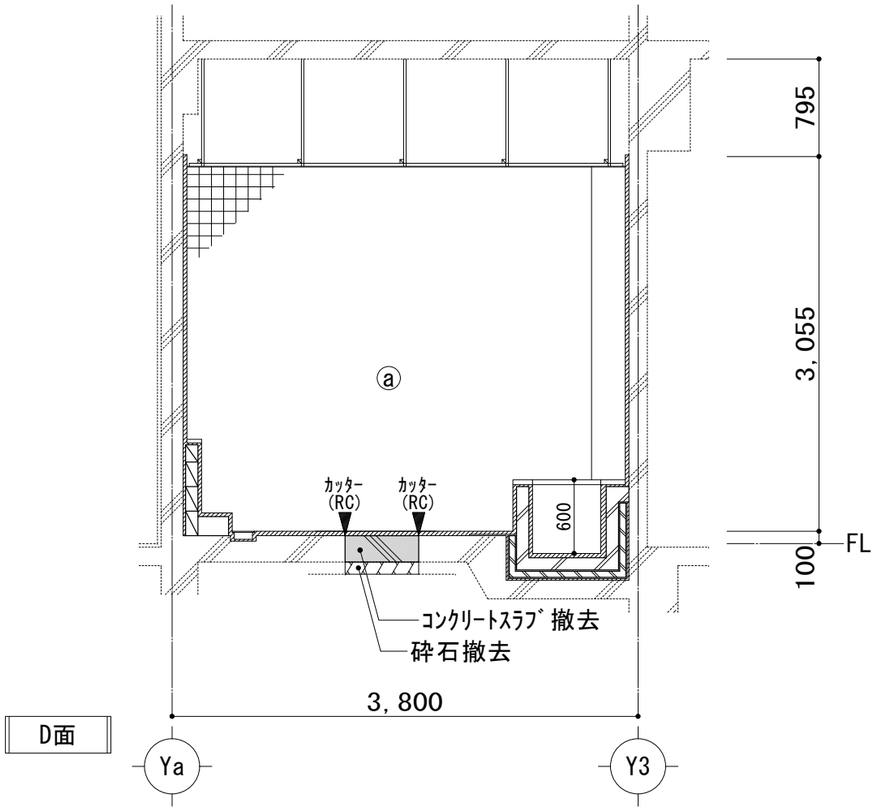


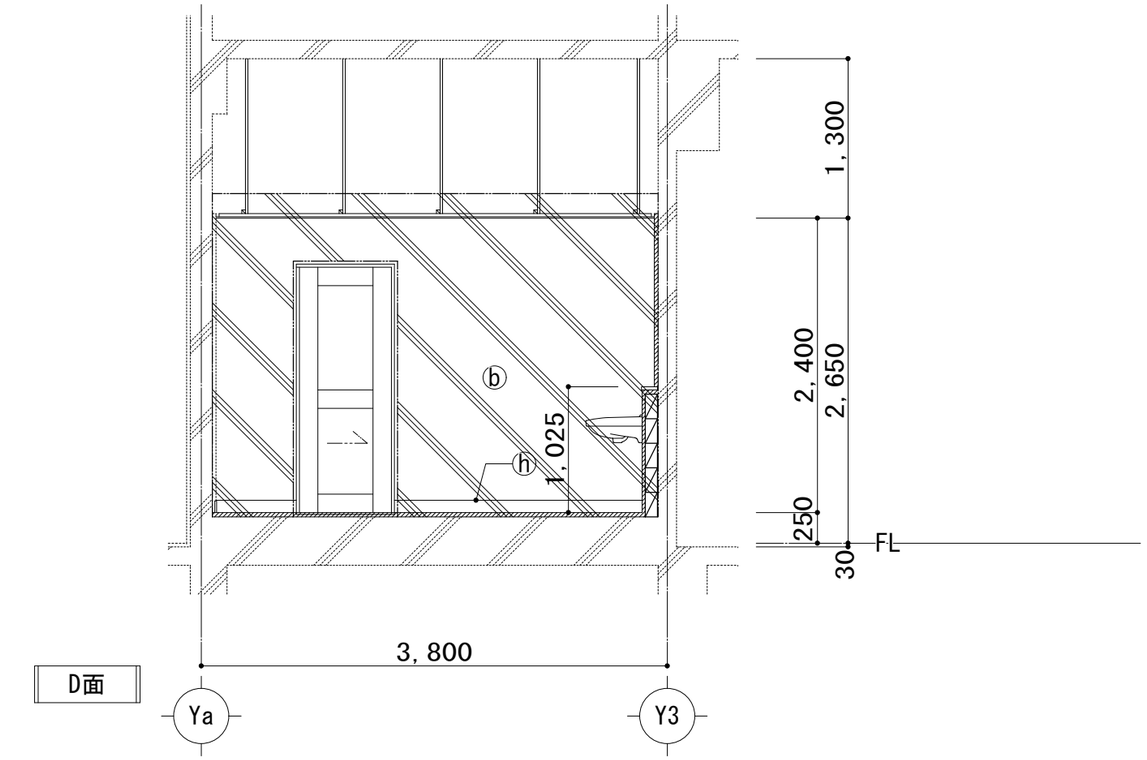
既存浴槽・桶台詳細図 1/20

※ (★)ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材

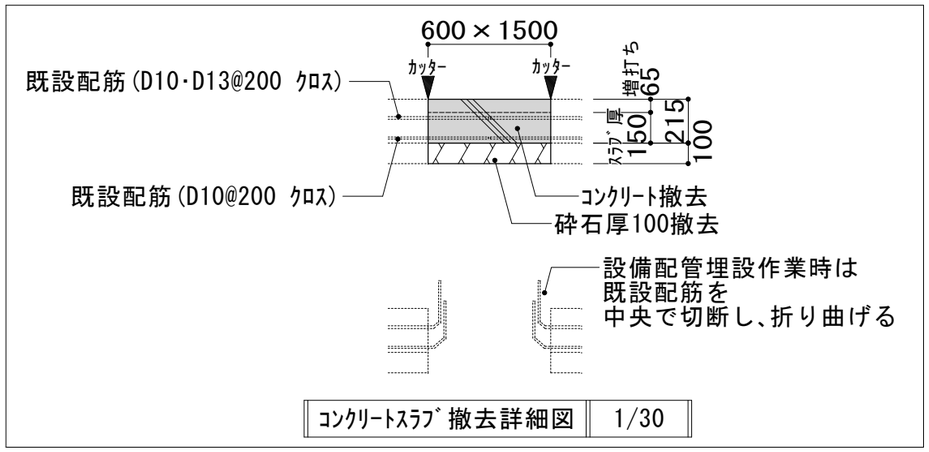
date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事 (門真本署)	scale 1/20 1/50
						図面名 既存展開図1・既存部分詳細図	No. A-25







	壁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去（厚120）（端部ｶｯﾀｰ入）
ⓐ	ﾀｲﾙ撤去（下地ﾓﾙﾀﾙとも）
ⓑ	ﾓﾙﾀﾙ+EP塗撤去
㊀	既設のまま
ⓗ	木製巾木 H100撤去



コンクリートスラブ撤去詳細図　1/30

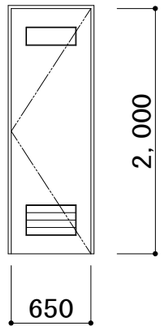
date			設計者	担当	作図	工事名	scale
2023.3		株式会社 匠（たくみ）設計				浴室個室化改良工事（門真本署）	1/30 1/50
						図面名	No.
						既存展開図２	A-26

改修後仕上表	※特記なき室は既設のまま　※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部新設　【○】新設　※樹脂製束床:樹脂製束+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20+普通合板厚12					
	床	巾木	壁	廻縁	天井	ユニット類
前室 脱衣A 脱衣B 脱衣C	・既設ｺﾝｸﾘｰﾄの上、ﾓﾙﾀﾙ【○】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2【○】 ・樹脂製束床【○】+ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2【○】 ・(踏込)既設ｺﾝｸﾘｰﾄの上、ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2【○】	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H100【○】	・LGS65【○】+GB-S厚12.5【○】+NAD塗【○】 ・既設ｺﾝｸﾘｰﾄの上、GB-S(直張り)厚12.5【○】+NAD塗【○】 ・既設ﾓﾙﾀﾙの上、NAD塗(RB)【○】	塩ﾋﾞ製【○】	LGS19【○】+ｹｲｶﾙ板厚6【○】+NAD塗【○】	・ユニットﾊﾞｽ(1116ｻｲｽﾞ BL認定品)【○】 ・ユニットｼｬﾜｰ(0812ｻｲｽﾞ)【○】

改修後建具表

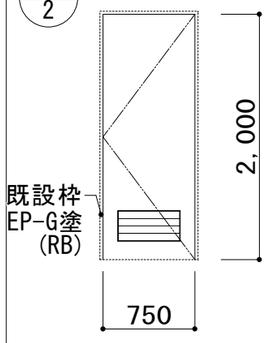
※SD-1、AW-1は既存平面詳細図参照

LSD 1　scale 1/50



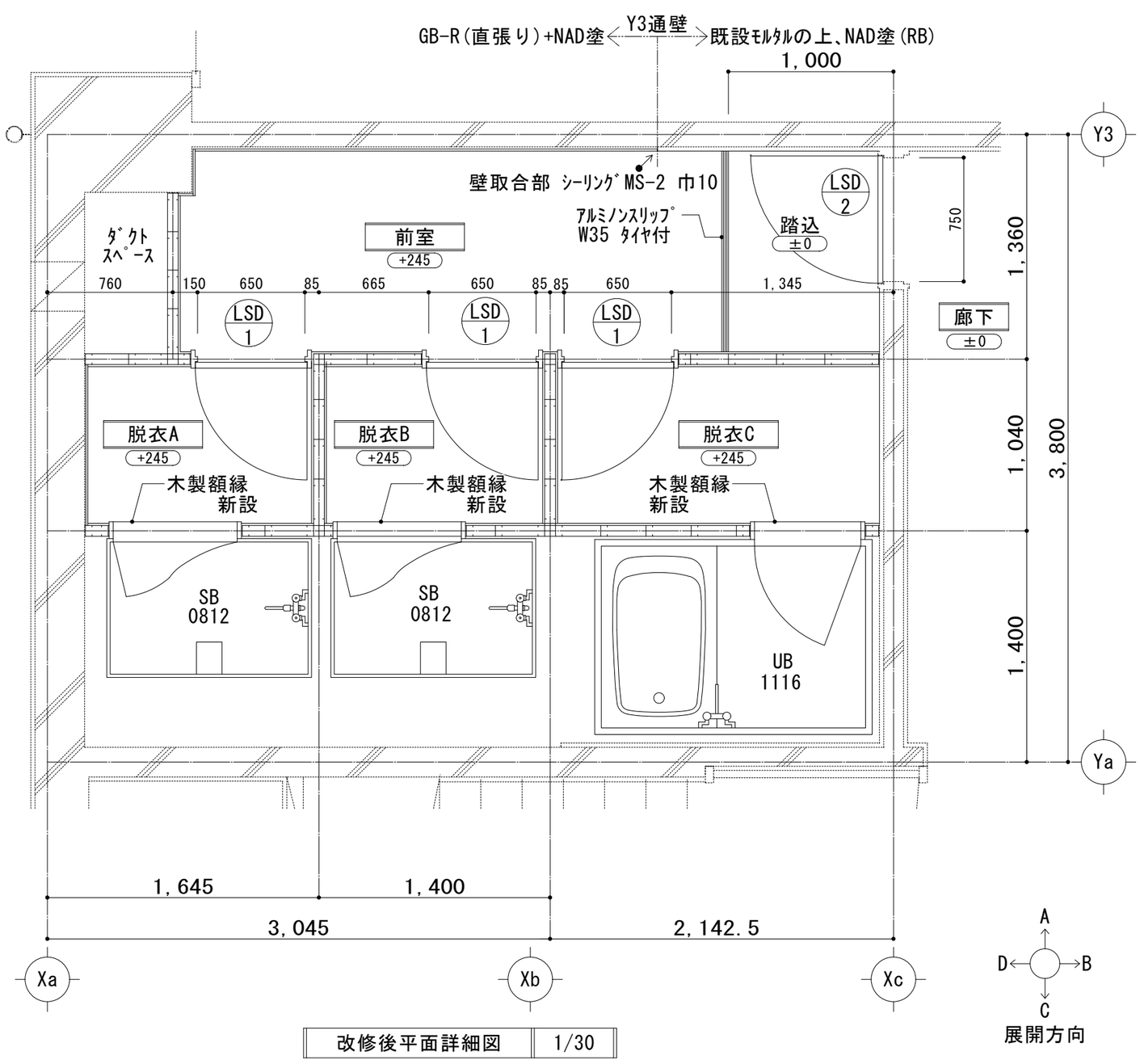
形式	軽量鋼製片開き戸
数量	3
扉仕様	化粧鋼板厚0.6
枠仕様	鋼製枠NAD塗
ｶﾞﾗｽ	型ｶﾞﾗｽ厚4
金物類	・ｽﾃﾝﾚｽ丁番 ・表示付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠(非常時解錠機構付) ・ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ
その他	

LSD 2　scale 1/50



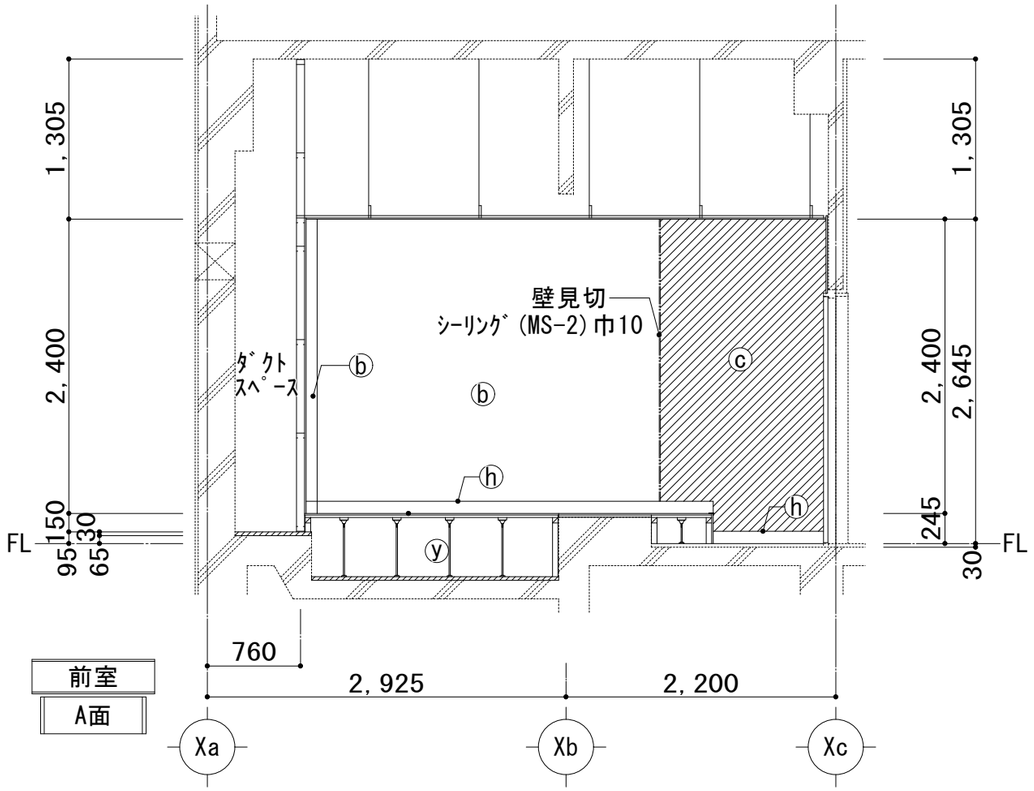
形式	軽量鋼製片開き戸
数量	1
扉仕様	化粧鋼板厚0.6
枠仕様	既設の鋼製枠にNAD塗(RB)
ｶﾞﾗｽ	−
金物類	・ｽﾃﾝﾚｽ丁番 ・ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠(空錠) ・ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ
その他	・既設枠に軽量鋼製戸(扉のみ)を新設する

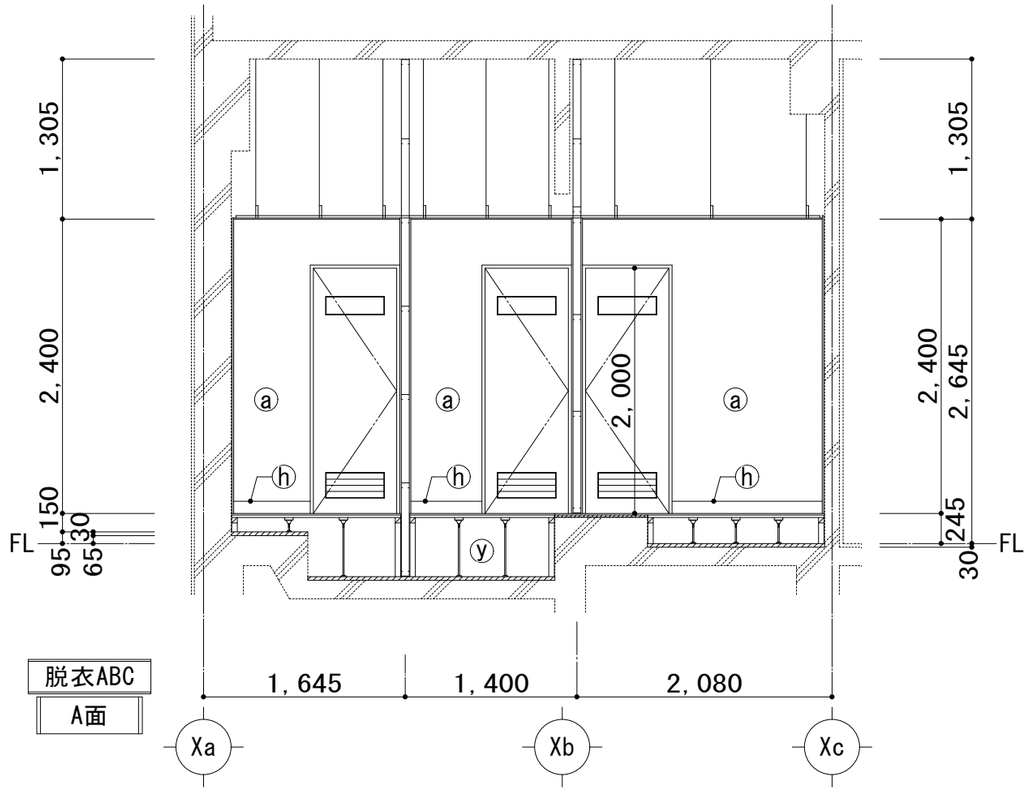
ユニットﾊﾞｽ付ﾄﾞｱ 木製額縁	木製四方額縁 25×110 NAD塗 UB:644×1910 SB:758×1916



改修後平面詳細図　1/30

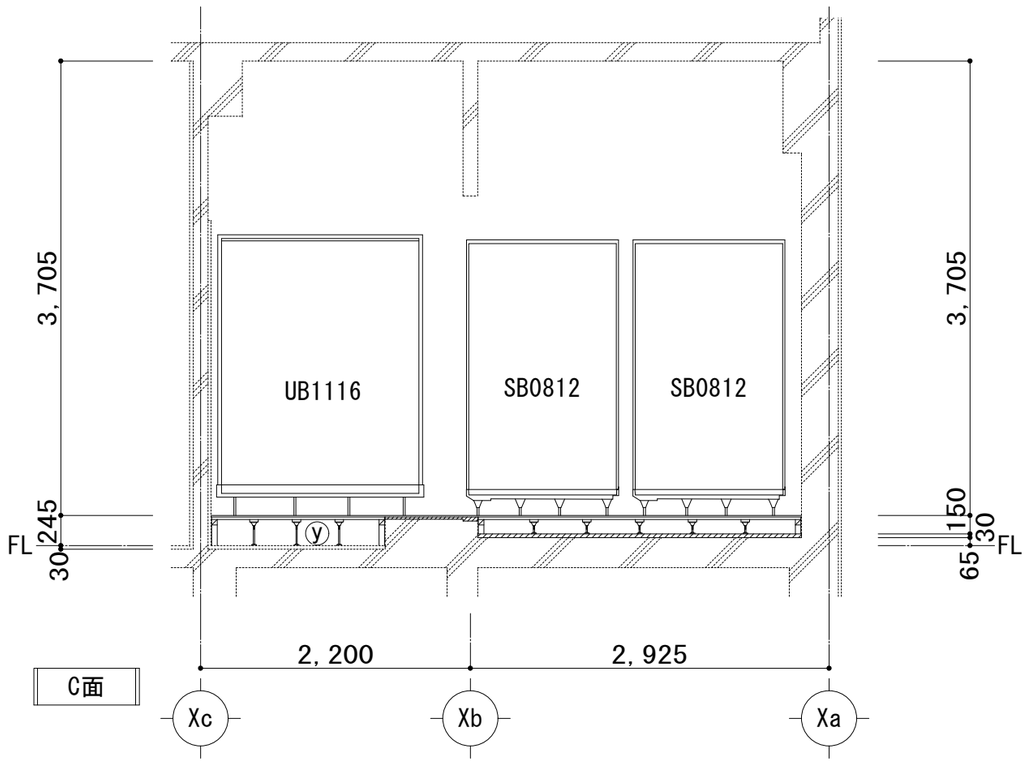
date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (門真本署)	scale 1/30 1/50 / No. A-27
2023.3						図面名	改修後仕上表・改修後平面詳細図・改修後建具表	

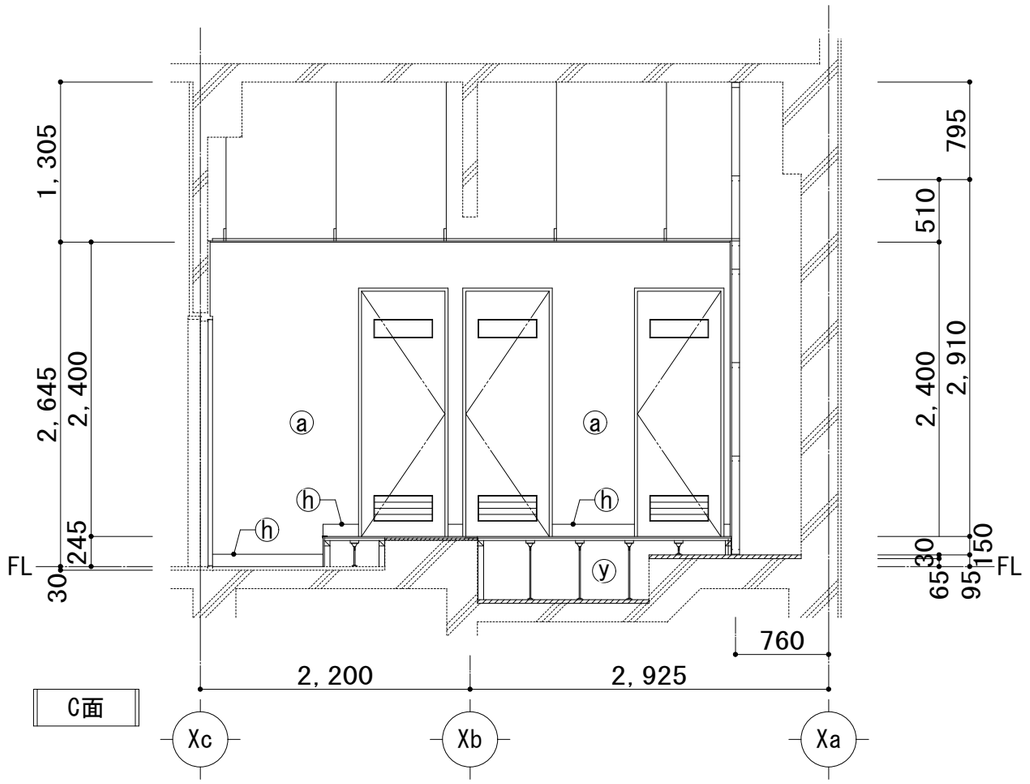


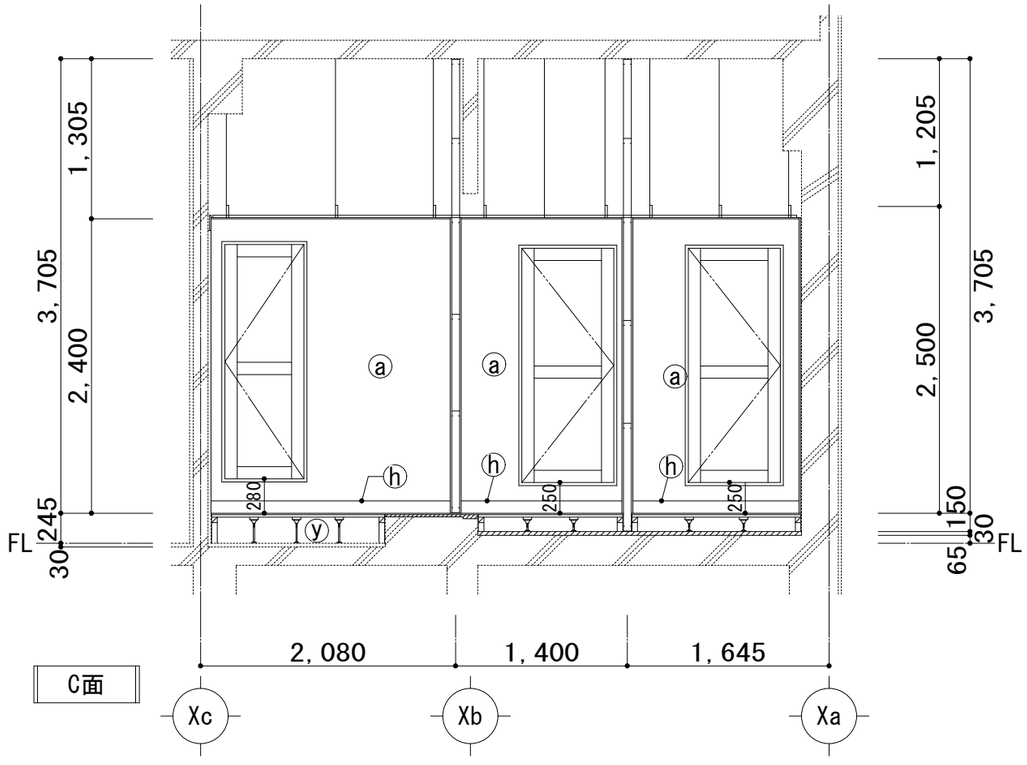


ⓐ	LGS65+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓑ	GB-R厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓒ	既設ﾓﾙﾀﾙの上、NAD塗(RB)
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床
ⓜ	既設のまま

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (門真本署)	scale
2023.3						図面名	改修後展開図 1	1/50
								No. A-28



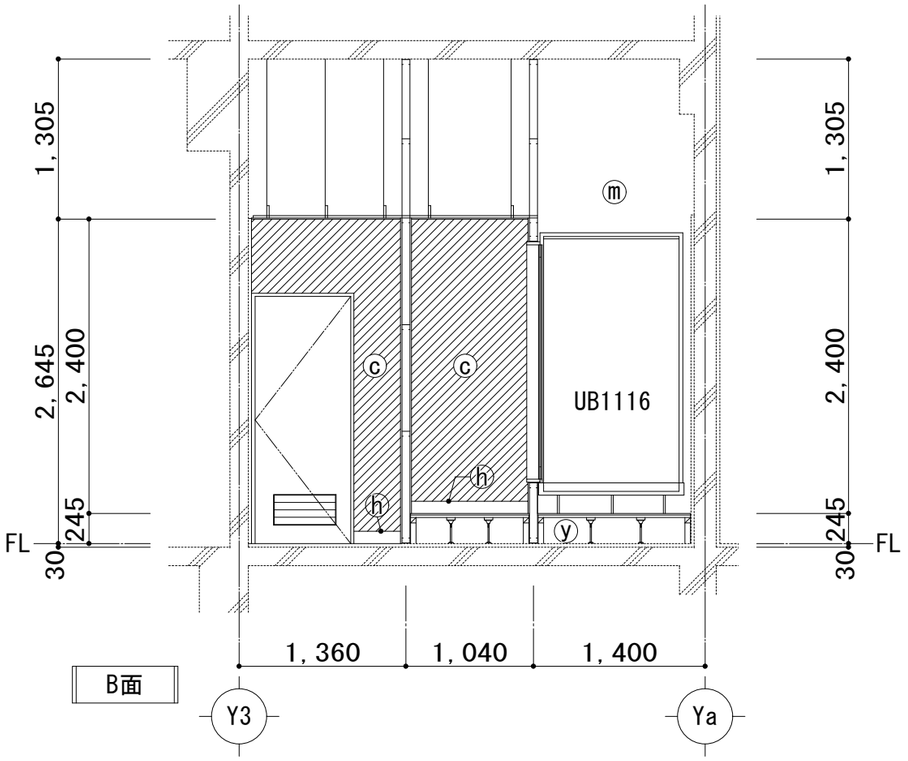


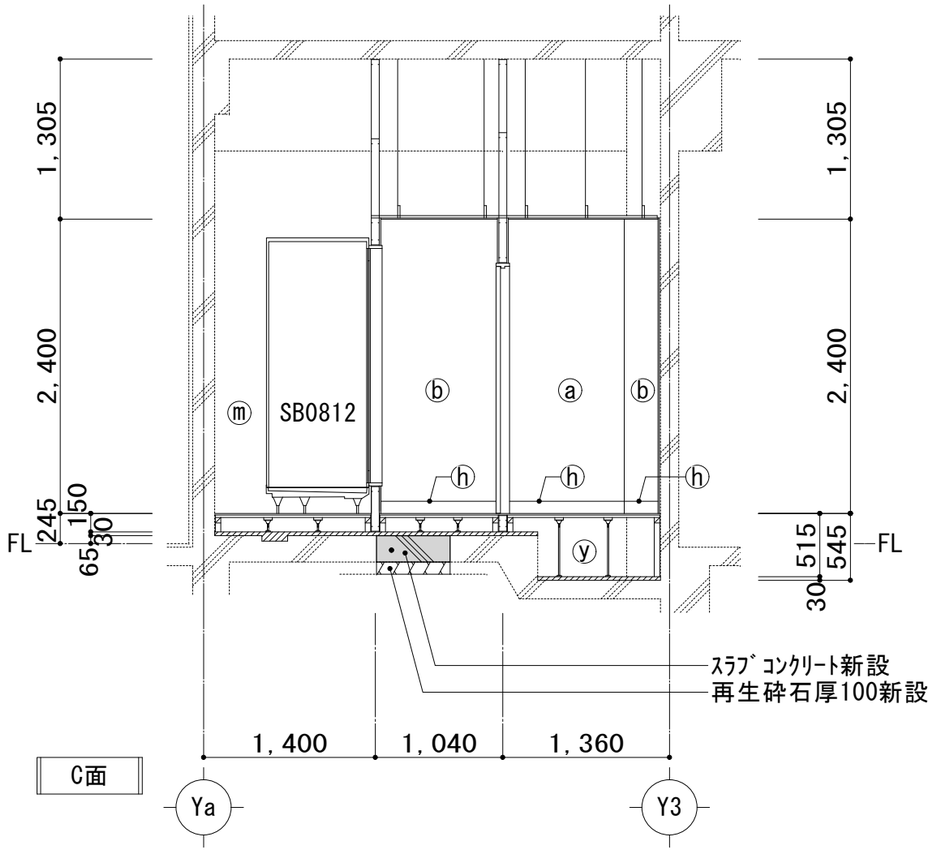


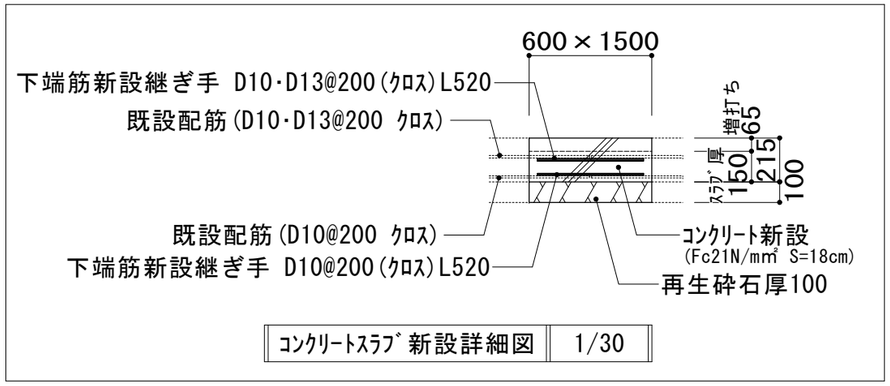
ⓐ	LGS65+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓑ	GB-R厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓒ	既設ﾓﾙﾀﾙの上、NAD塗(RB)
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床
ⓜ	既設のまま

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（門真本署）	scale
2023.3						図面名 改修後展開図２	1/50

No. A-29





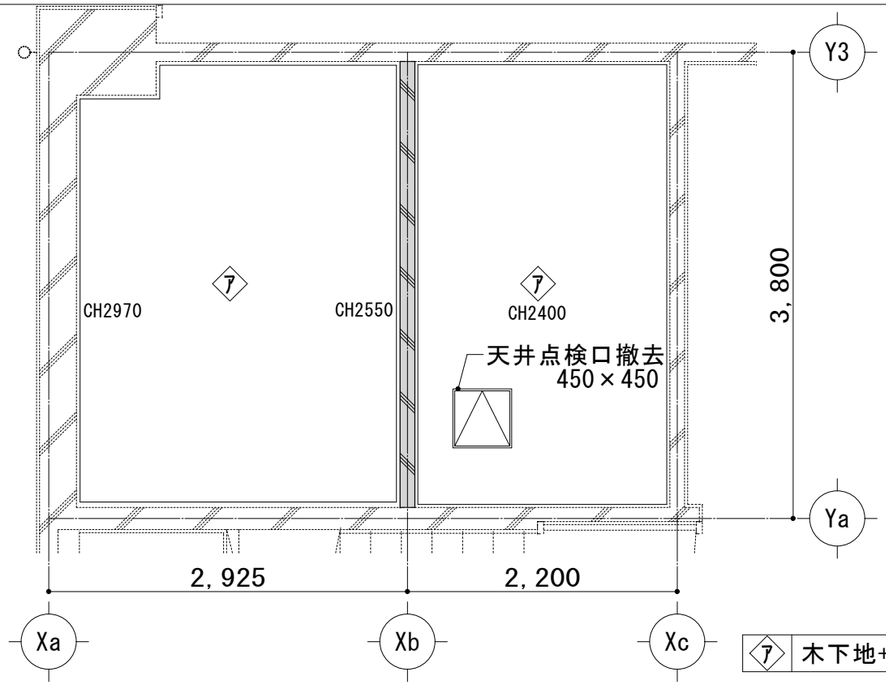


コンクリートスラブ新設詳細図 | 1/30

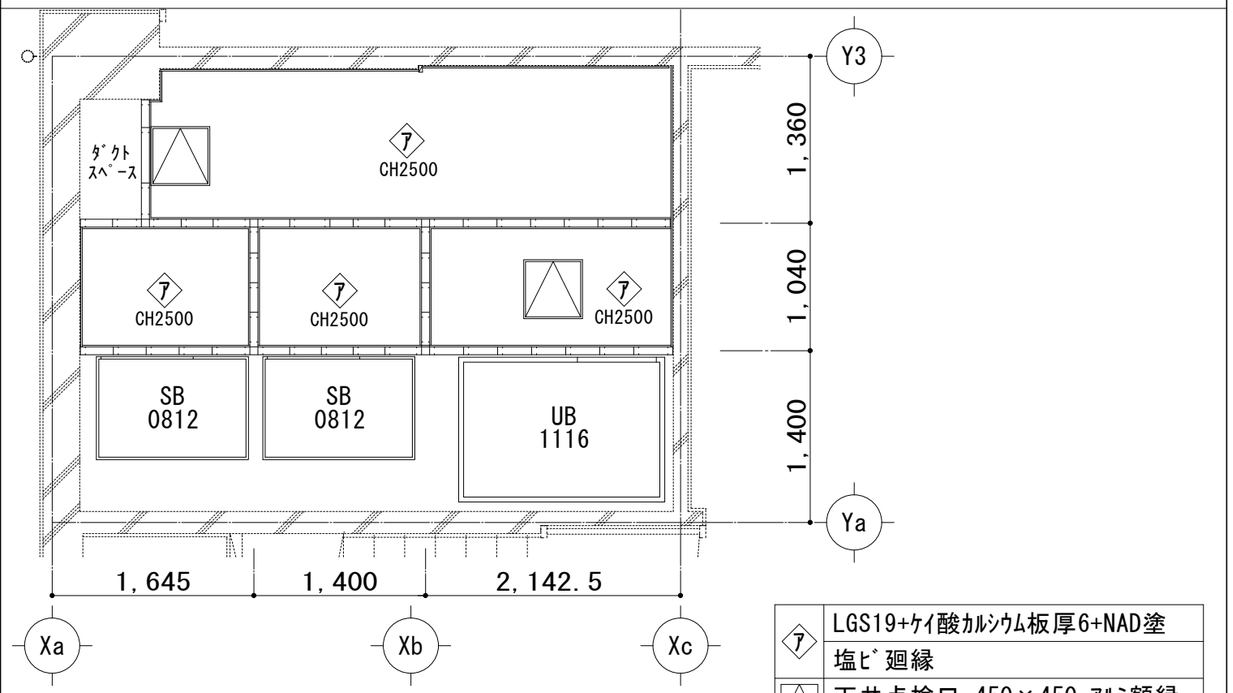
ⓐ	LGS65+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓑ	GB-R厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓒ	既設モルタルの上、NAD塗(RB)
ⓗ	ビニル巾木H100
ⓨ	樹脂製束床
ⓜ	既設のまま

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事 (門真本署)	scale
2023.3						図面名	改修後展開図３	1/30 1/50
								No. A-30

既存改修後天井伏図

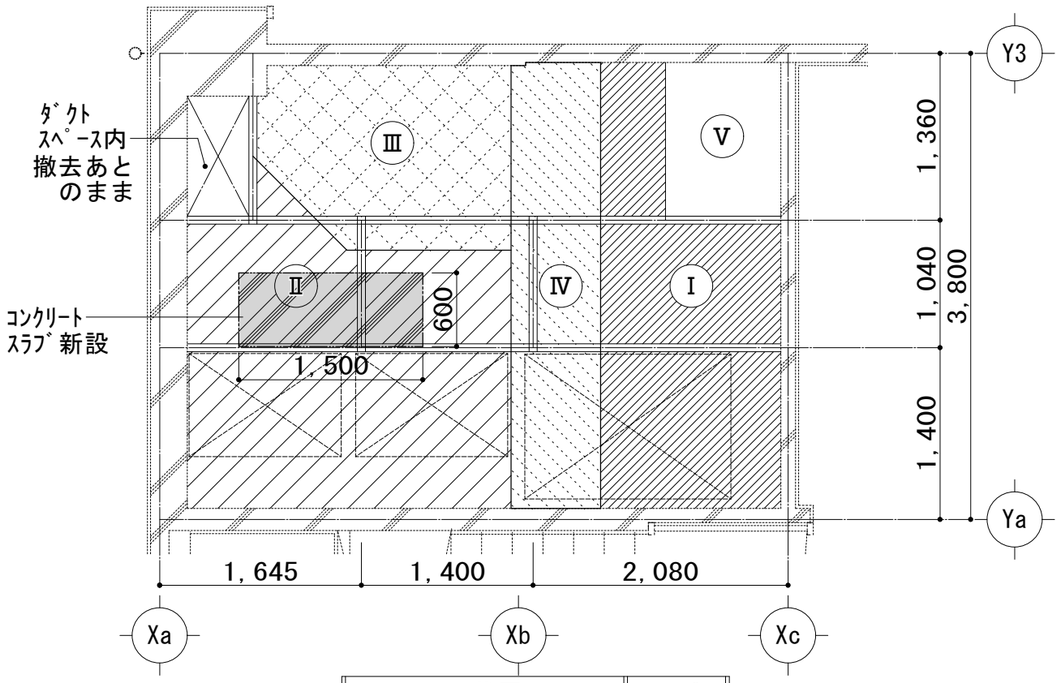


既存天井伏図	1/50

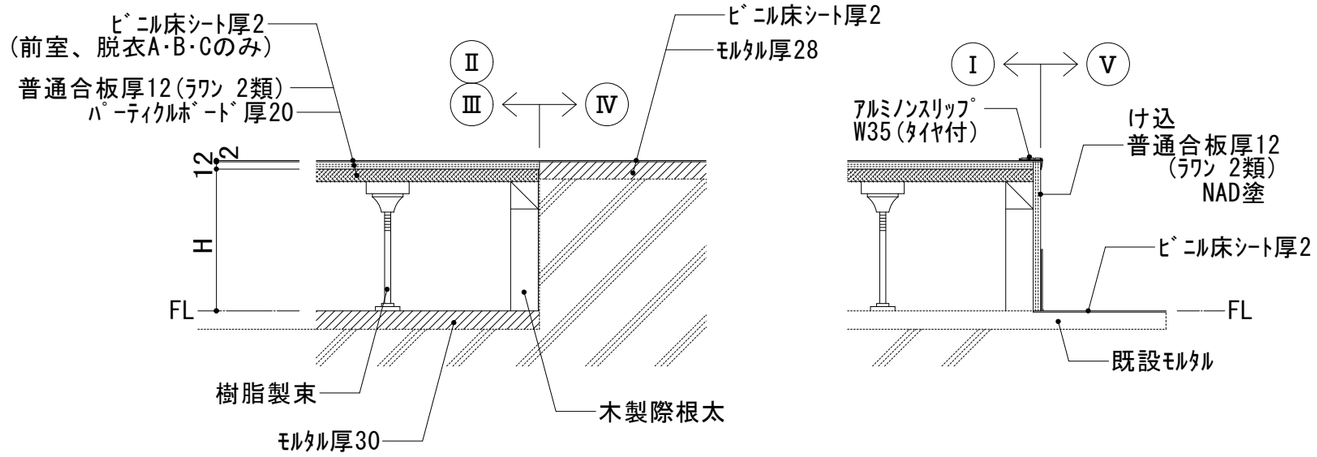


改修後天井伏図	1/50

改修後床伏図



床伏図	1/50



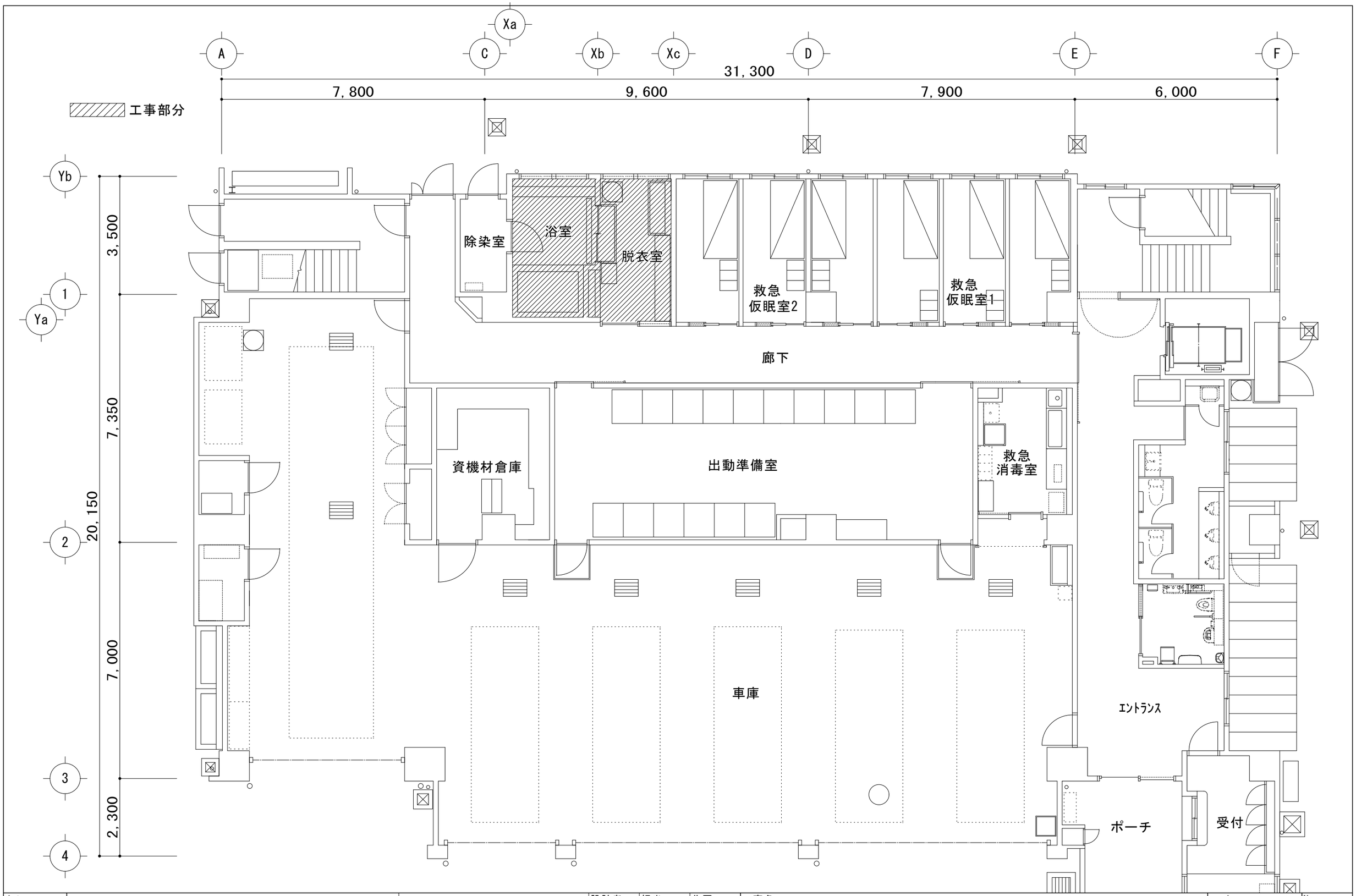
床詳細図	1/10

参考値

	H
Ⅰ	261
Ⅱ	136
Ⅲ	501

※ 既存浴槽撤去後実測を行い、
監督員の承諾を得ること

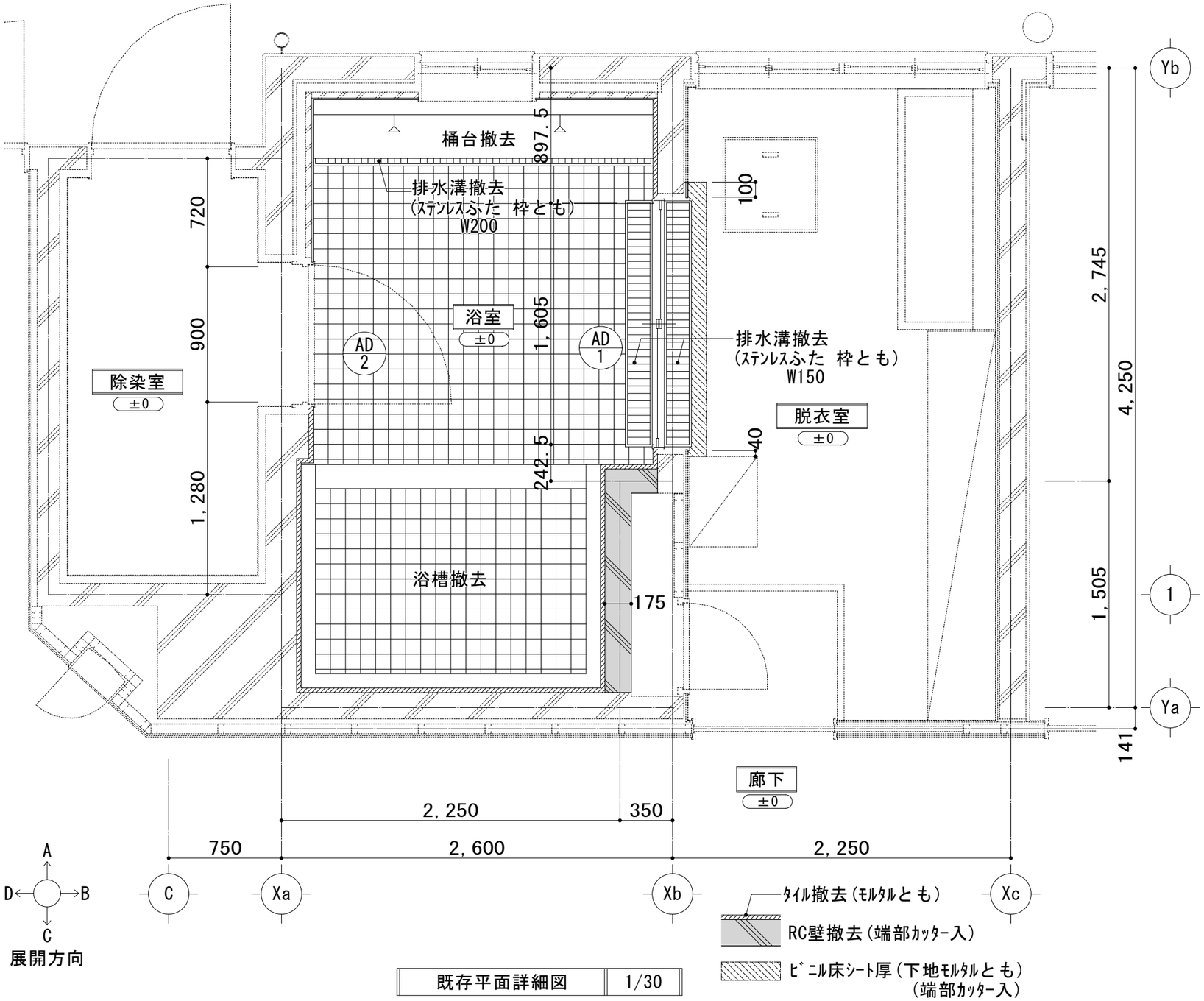
date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事（門真本署）	1/10 1/50	A-31
					図面名 既存改修後天井伏図･改修後床伏図		



date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale
2023.3						図面名 １階平面図	1/100

No. A-32

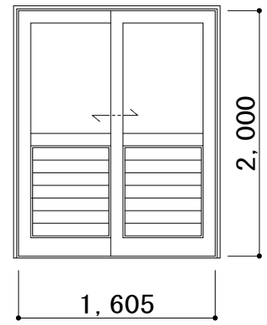
既存仕上表	※特記なき室は既設のまま　※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部撤去　【×】撤去					
	床	巾木	壁	廻縁	天井	ﾕﾆｯﾄ類
脱衣室	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.8【△】	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H100【△】	・LGS65+GB-R厚12.5+化粧ｹｲｶﾙ板厚6 ・RC【△】+GB-R(直張り)厚12.5【△】+化粧ｹｲｶﾙ板厚6【△】	塩ﾋﾞ製【△】	LGS19+ｹｲｶﾙ板厚5+EP塗	洗面台、木製棚、排水溝【△】
浴室	保護ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し+磁器質ﾀｲﾙ【×】	壁におなじ	・RC【△】+磁器質ﾀｲﾙ【×】 ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板+磁器質ﾀｲﾙ【×】	ｱﾙﾐ製【×】	LGS19【×】+ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ【×】	浴槽【×】



既存平面詳細図　1/30

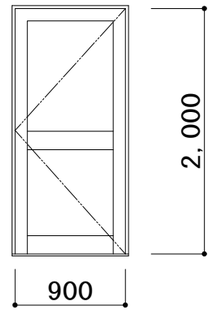
既存建具表

AD 1　scale 1/50



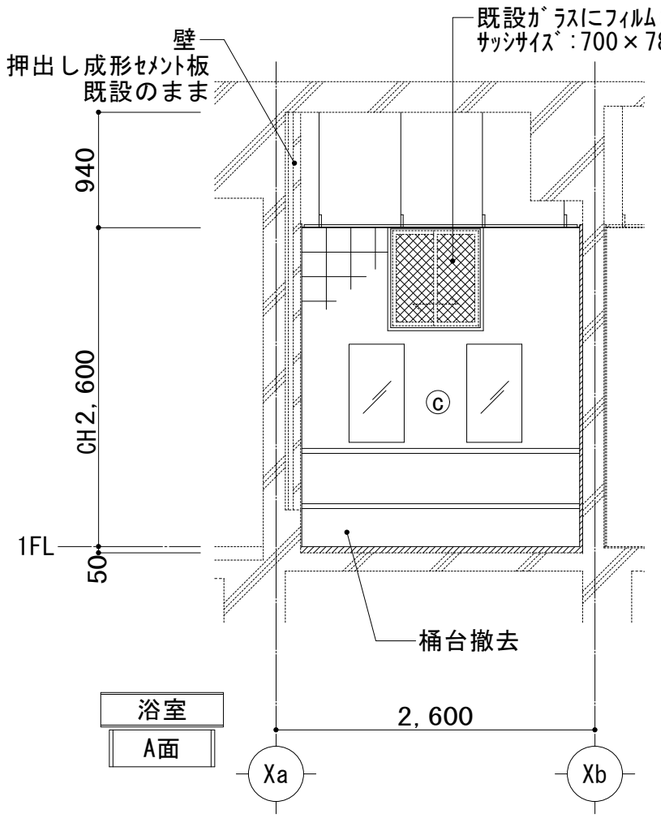
工事内容(記載以外 既設のまま)
・撤去(枠、下枠とも)
・概要:ｱﾙﾐ製引き違い戸
型ｶﾞﾗｽ厚4

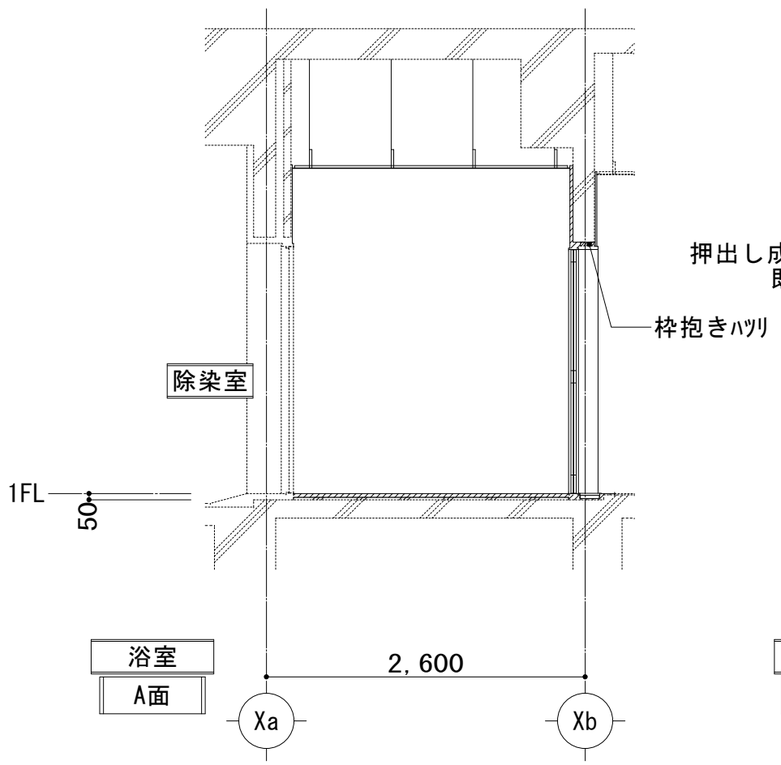
AD 2　scale 1/50

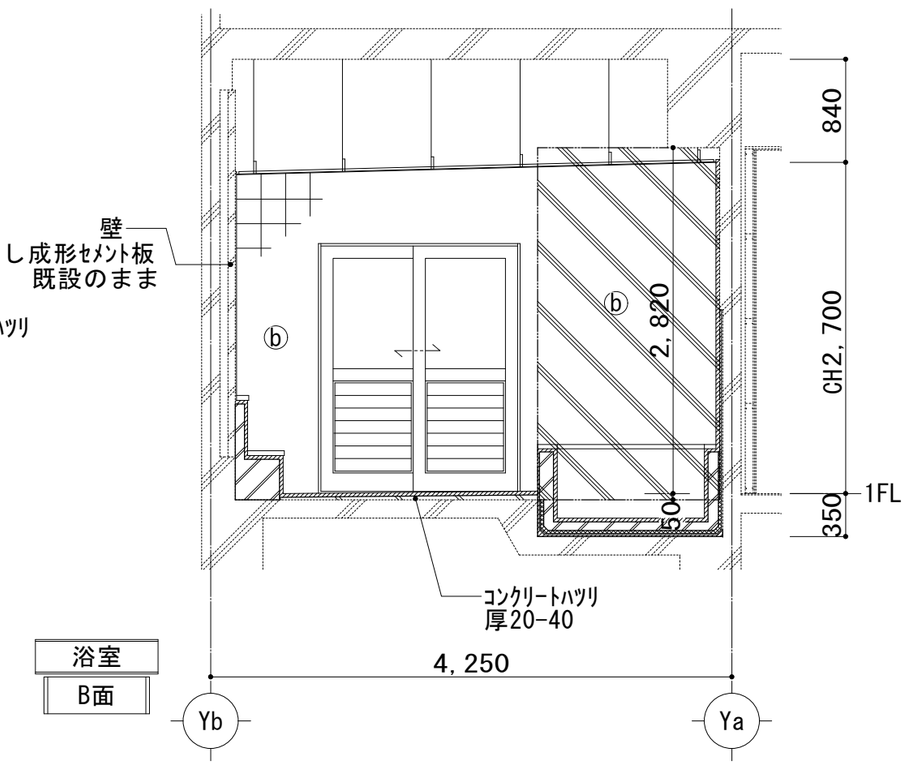


工事内容(記載以外 既設のまま)
・既設のまま

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事 (門真消防署 南部出張所)	1/30 1/50	A-33
					図面名 既設仕上表・既設平面詳細図・既設建具表		

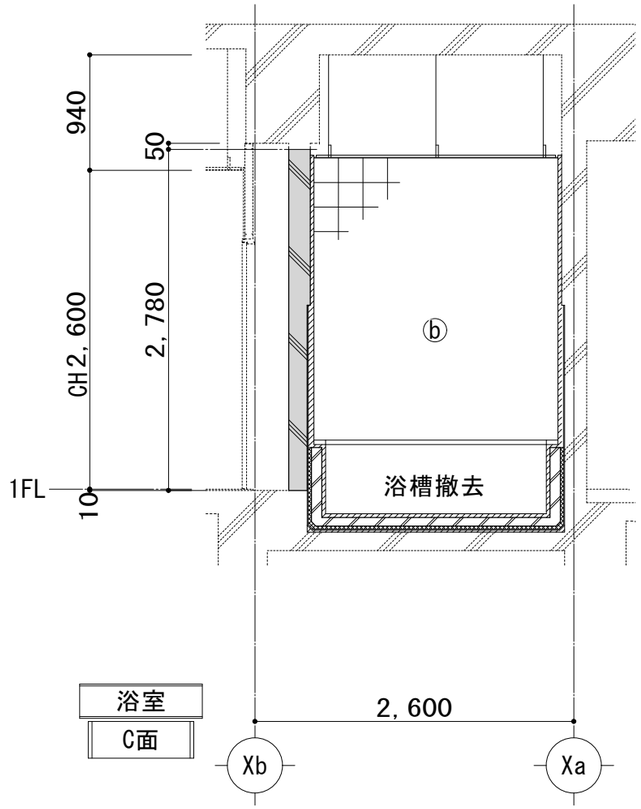


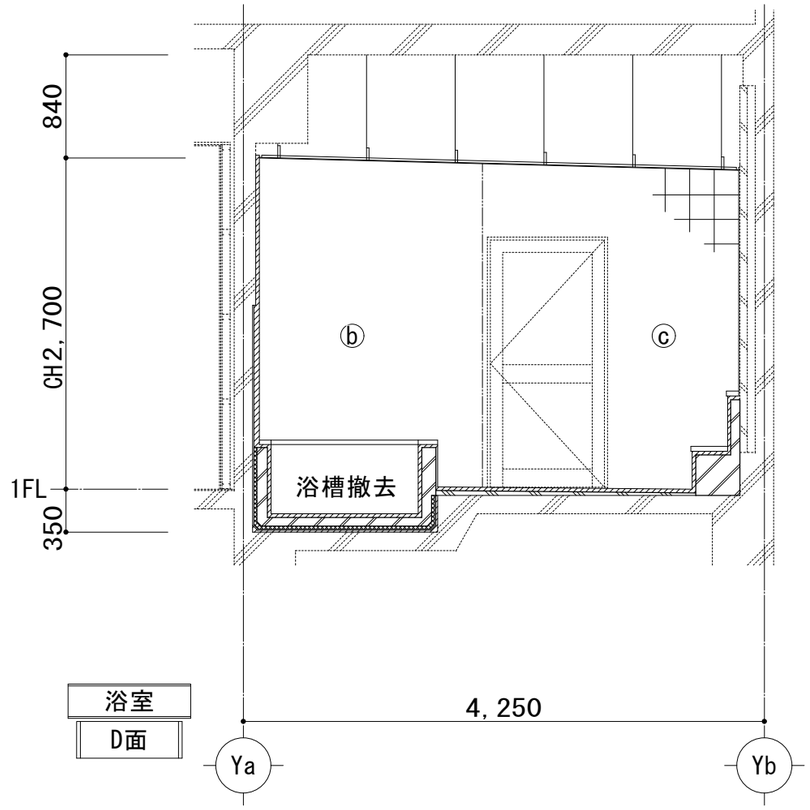


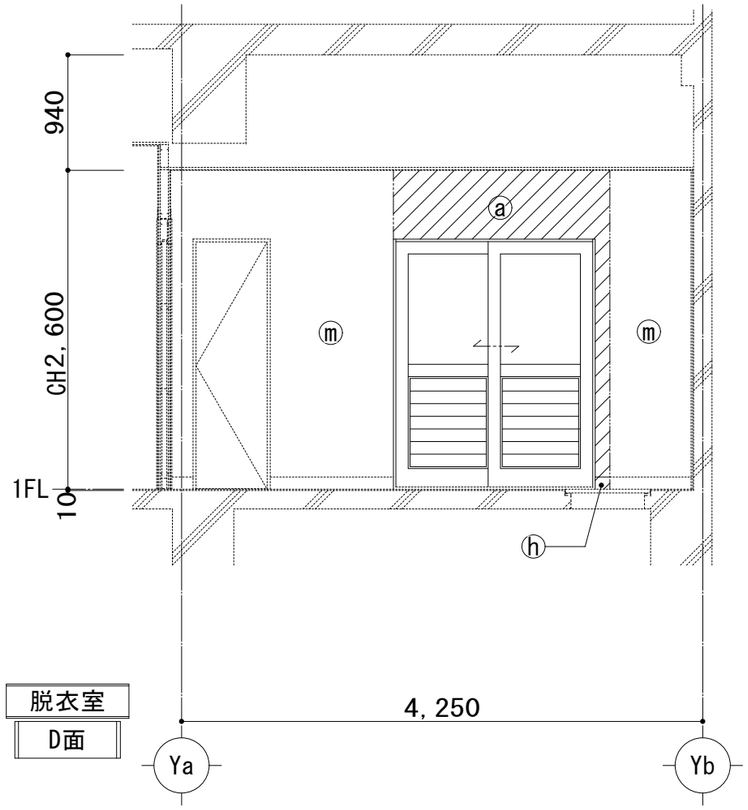


	壁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去(厚175)(端部ｶｯﾀｰ入)
ⓐ	GB-R厚12.5(直張り)撤去(ｺﾝｸﾘｰﾄ壁存置)
ⓑ	壁ﾀｲﾙ撤去(下地ﾓﾙﾀﾙとも)
ⓒ	壁ﾀｲﾙ撤去(接着張り)
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100撤去
ⓜ	既設のまま

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事 (門真消防署 南部出張所)	scale 1/50	No. A-34
						図面名 既存展開図 1		



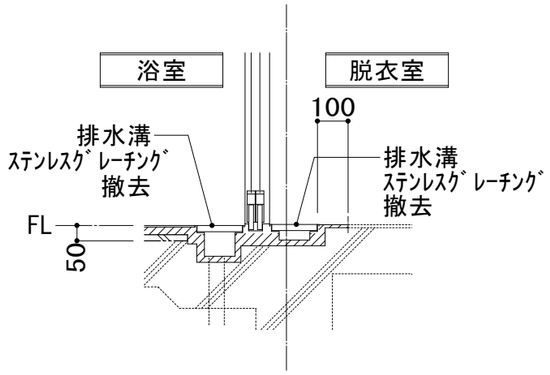




	壁ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去(厚175)(端部ｶｯﾀｰ入)
ⓐ	GB-R厚12.5(直張り)撤去(ｺﾝｸﾘｰﾄ壁存置)
ⓑ	壁ﾀｲﾙ撤去(下地ﾓﾙﾀﾙとも)
ⓒ	壁ﾀｲﾙ撤去(接着張り)
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100撤去
ⓜ	既設のまま

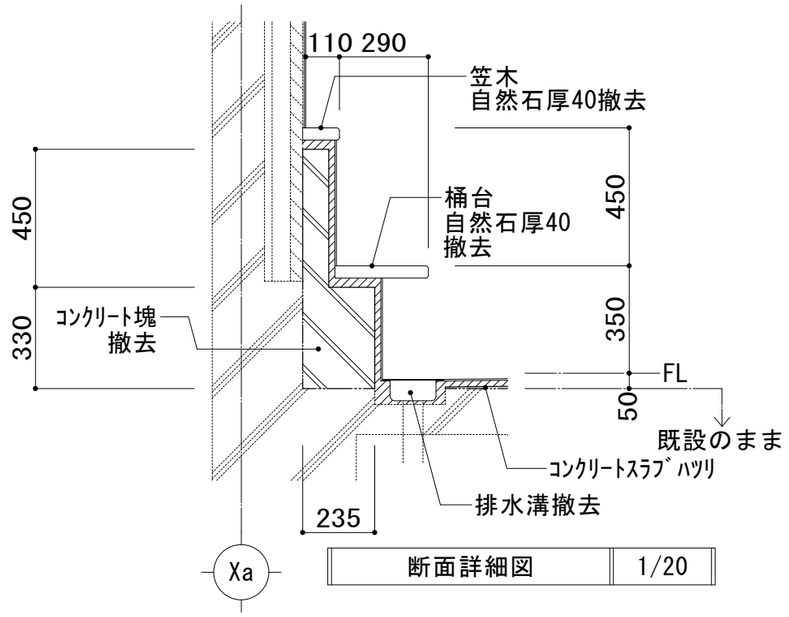
date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale 1/50	No. A-35
						図面名 既存展開図２		

既存AD-1下枠詳細図



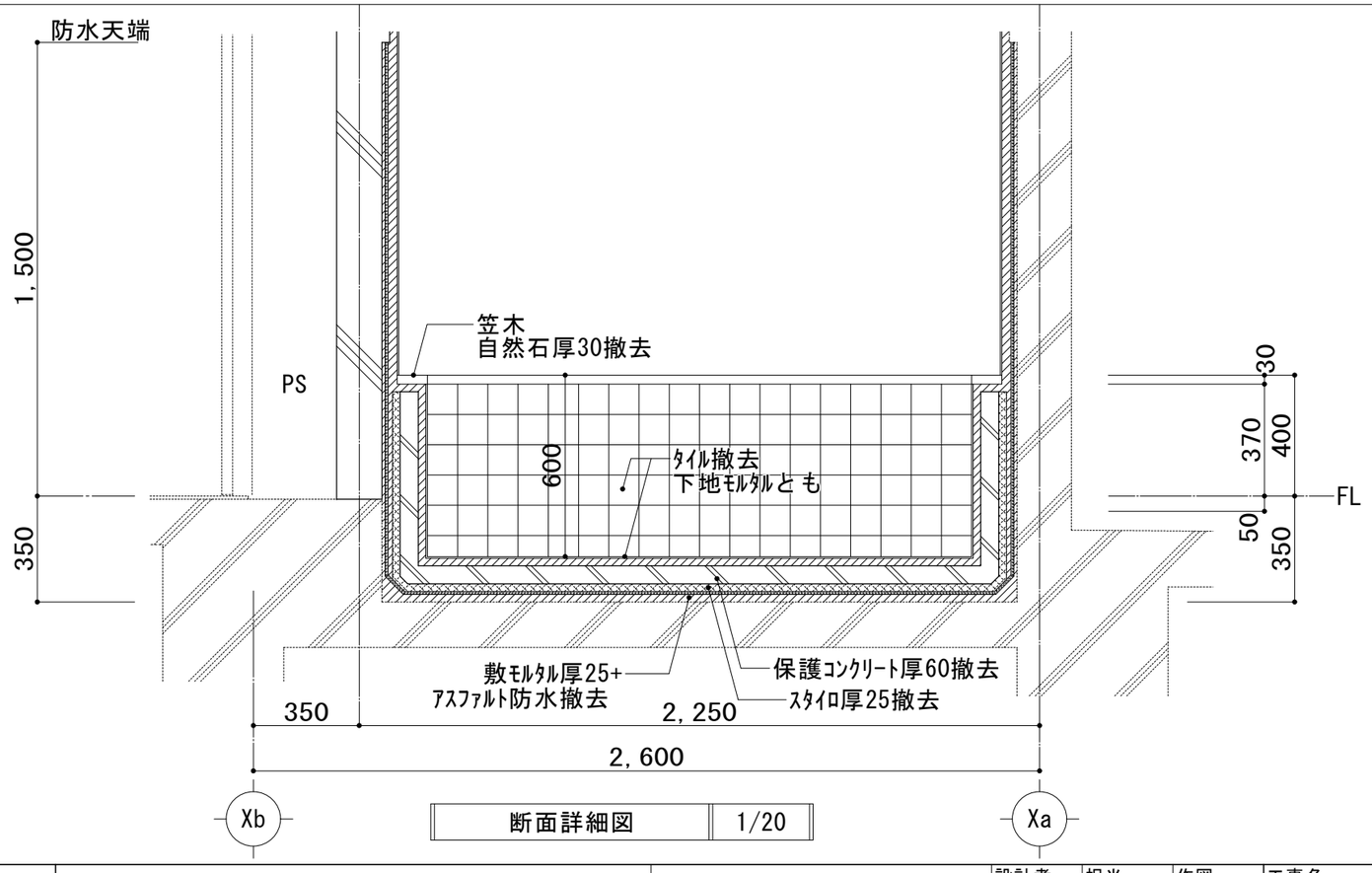
断面詳細図 1/20

既存桶台細図

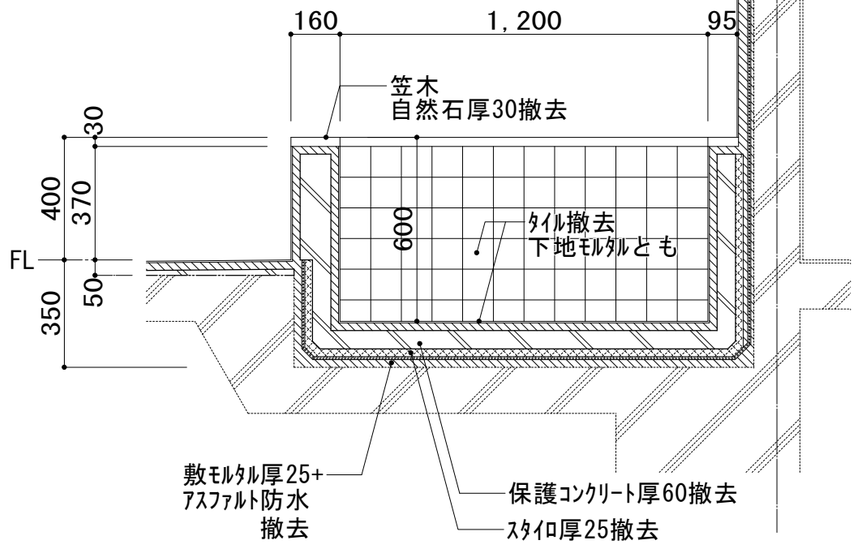


断面詳細図 1/20

既存浴槽詳細図



断面詳細図 1/20

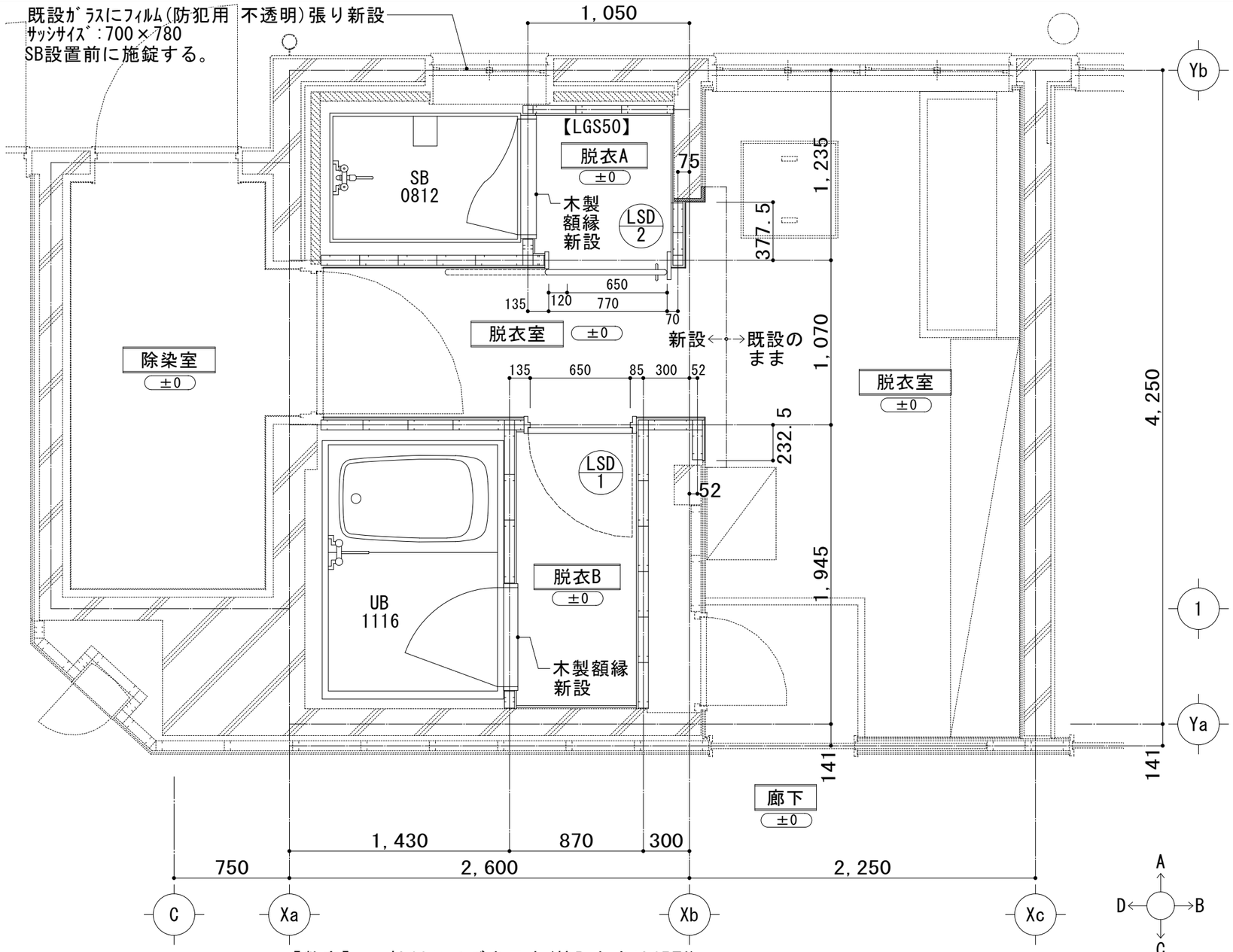


断面詳細図 1/20

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale
2023.3						図面名	既存部分詳細図	1/30

No. A-36

改修後仕上表	※特記なき室は既設のまま　※記号凡例 記号なし:既設のまま　【△】一部新設　【○】新設　※樹脂製束床:樹脂製束+ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ厚20+普通合板厚12					
	床	巾木	壁	廻縁	天井	ﾕﾆｯﾄ類
脱衣室 (増設部)	既設ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾓﾙﾀﾙ【△】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.8【△】 (発泡層付(HS))	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H100【△】	・LGS65【△】+GB-R厚12.5【△】+化粧ｹｲｶﾙ板厚6【△】 ・RC+ﾓﾙﾀﾙ【△】+化粧ｹｲｶﾙ板厚6【△】	塩ﾋﾞ製【△】	LGS19【△】+ｹｲｶﾙ板厚5【△】 +NAD塗【△】	
脱衣A 脱衣B	既設ｺﾝｸﾘｰﾄ+ﾓﾙﾀﾙ【○】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.8【○】 (発泡層付(HS)) 樹脂製束床【○】+ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ厚2.8【○】 (発泡層付(HS))	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H100【○】	・LGS65【○】+GB-S厚12.5【○】+NAD塗【○】 (一部50) ・GB-S厚12.5(直張り)【○】+NAD塗【○】	塩ﾋﾞ製【○】	LGS19【○】+ｹｲｶﾙ板厚5【○】 +NAD塗【○】	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ(1116ｻｲｽﾞ BL認定品)【○】 ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ(0812ｻｲｽﾞ)【○】

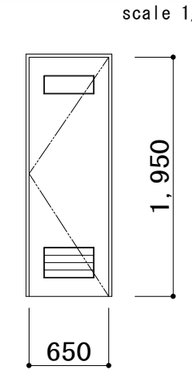


【数字】: 壁LGSサイズを示す(特記なきは65型)

改修後平面詳細図	1/30

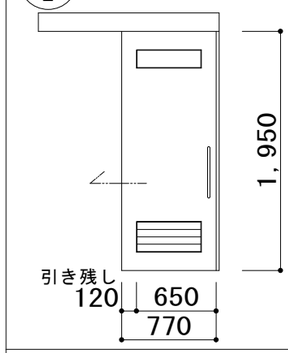
改修後建具表

LSD 1　scale 1/50



形式	軽量鋼製片開き戸
数量	1
扉仕様	化粧鋼板厚0.6
枠仕様	鋼製枠NAD塗
ｶﾞﾗｽ	型ｶﾞﾗｽ厚4
金物類	・ｽﾃﾝﾚｽ丁番 ・表示付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠 (非常時解錠機構付) ・ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ
その他	

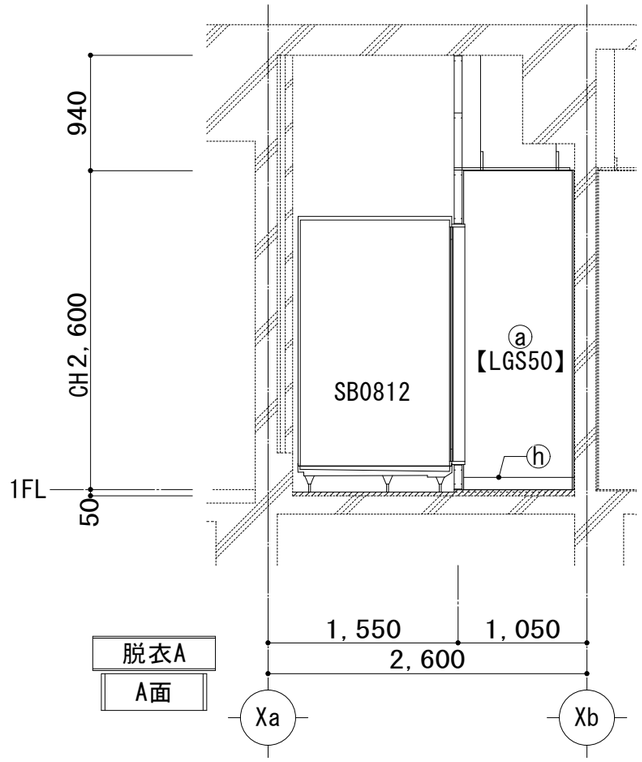
LSD 2　scale 1/50

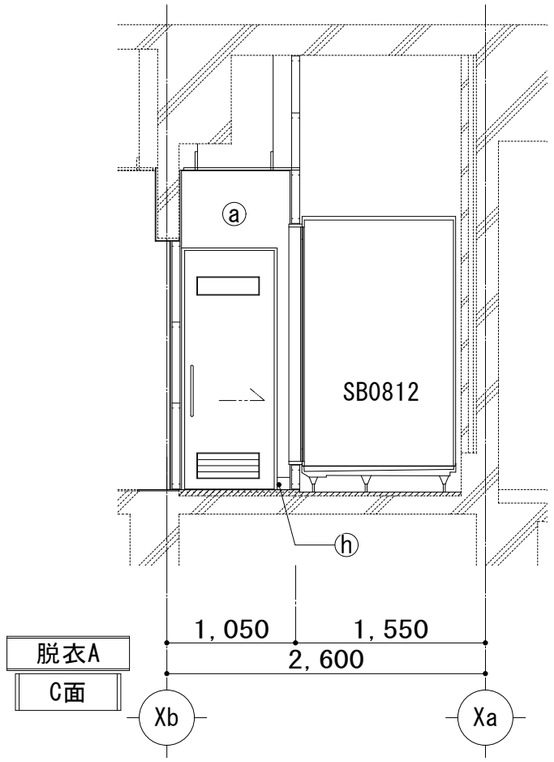


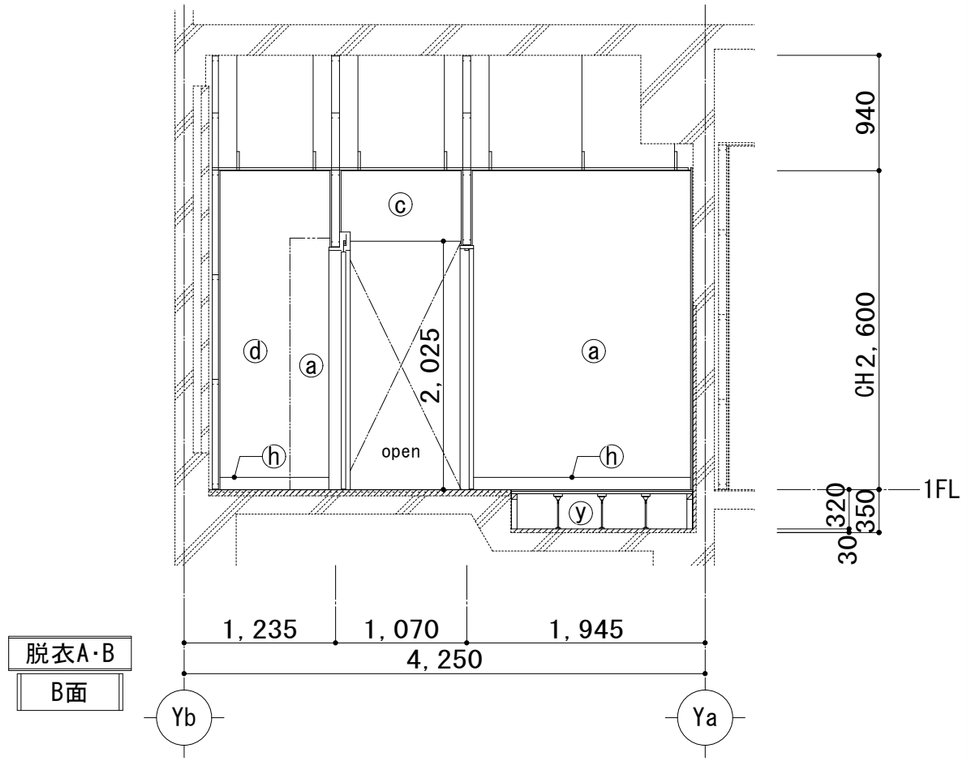
形式	軽量鋼製片引き戸
数量	1
扉仕様	化粧鋼板厚0.6
枠仕様	鋼製枠NAD塗
ｶﾞﾗｽ	型ｶﾞﾗｽ厚4
金物類	・天吊り式自動閉鎖装置 ・樹脂製ﾊﾝﾄﾞﾙ ・表示付ｻﾑﾀｰﾝ錠 (非常時解錠機構付) ・ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘ ・金物類はﾒｰｶｰ標準品一式
その他	

ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ付ﾄﾞｱ 木製額縁	木製四方額縁 25×110 NAD塗 UB:644×1910 SB:758×1916

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事 (門真消防署　南部出張所)	1/30 1/50	A-37
					図面名 改修後仕上表・改修後平面詳細図・改修後建具表		

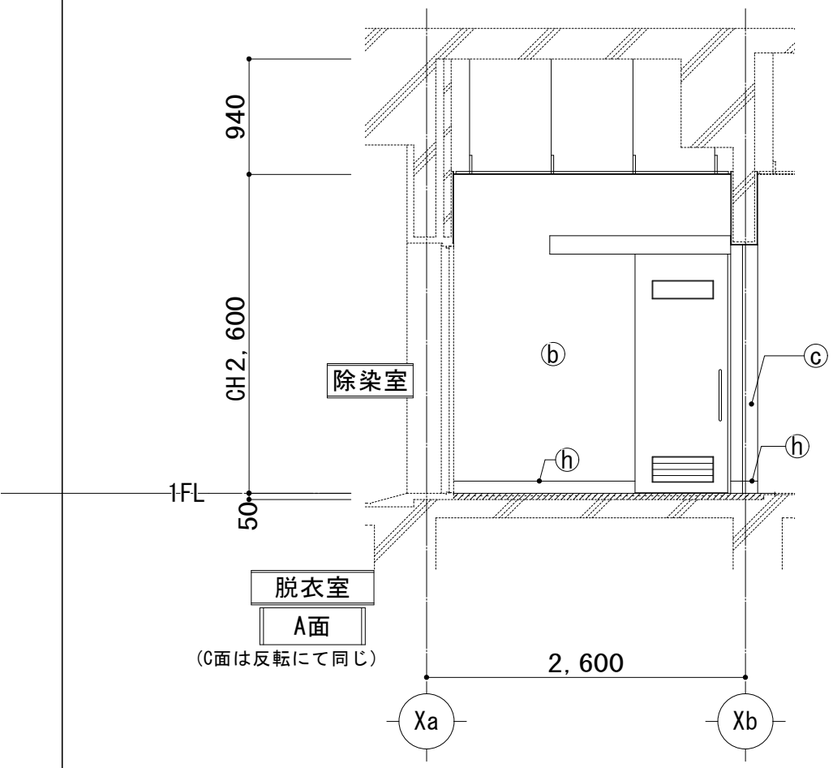


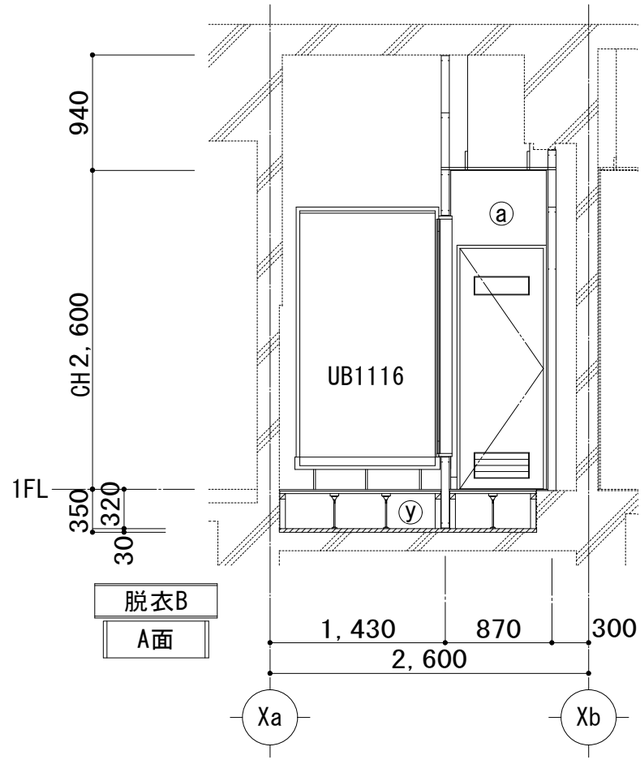


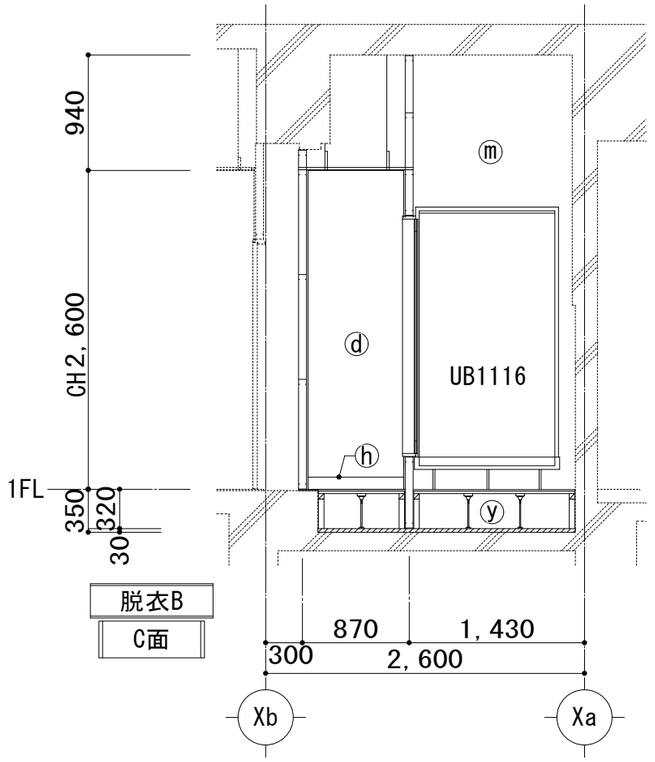


ⓐ	LGS65+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓑ	LGS65+GB-R厚12.5+化粧ｹｲｶﾙ板厚6
ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ塗+化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6
ⓓ	GB-S厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床
ⓜ	既設のまま

date 2023.3		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所） 図面名 改修後展開図１	scale 1/50	No. A-38



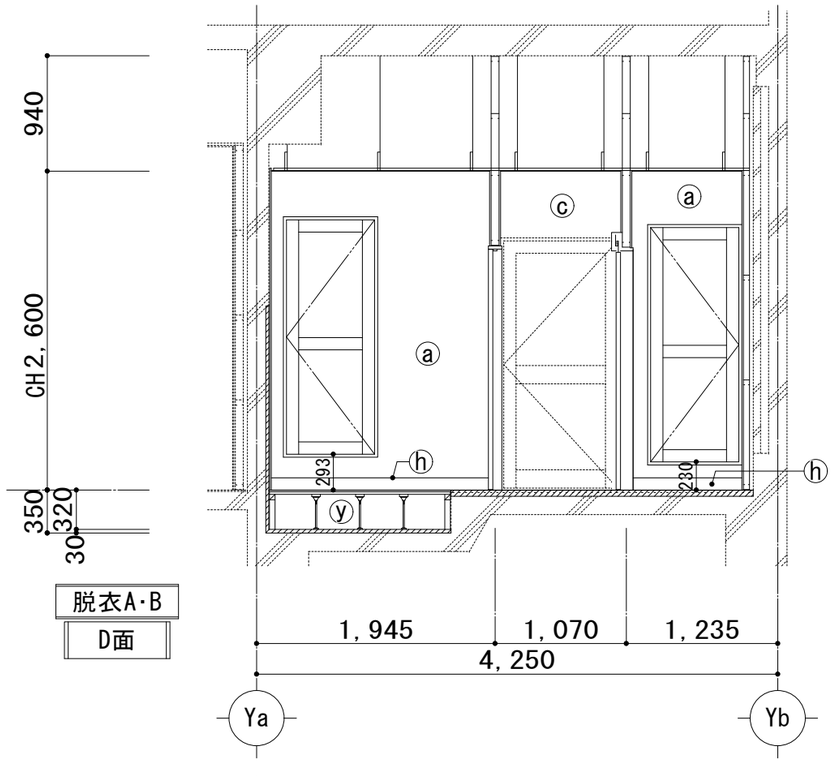


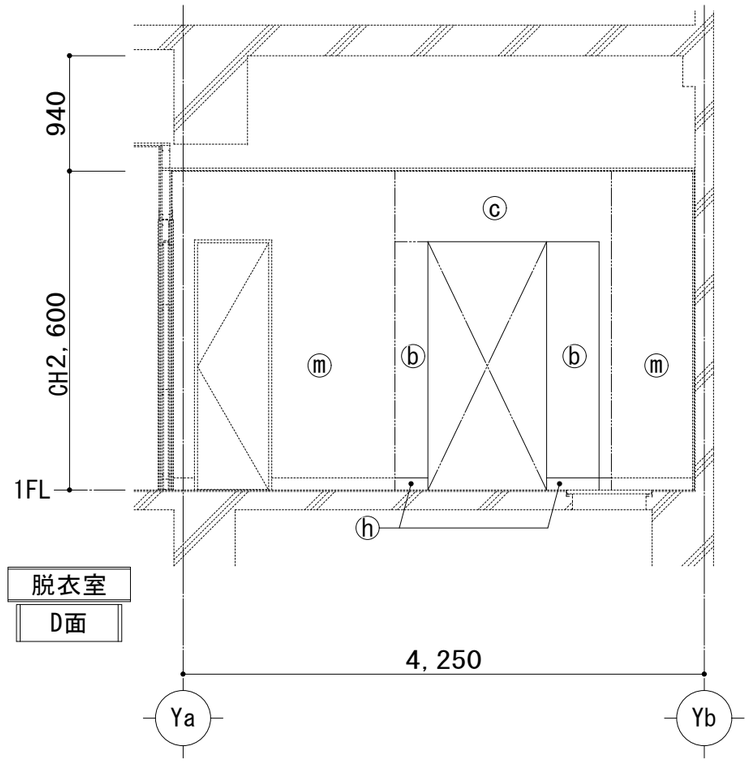


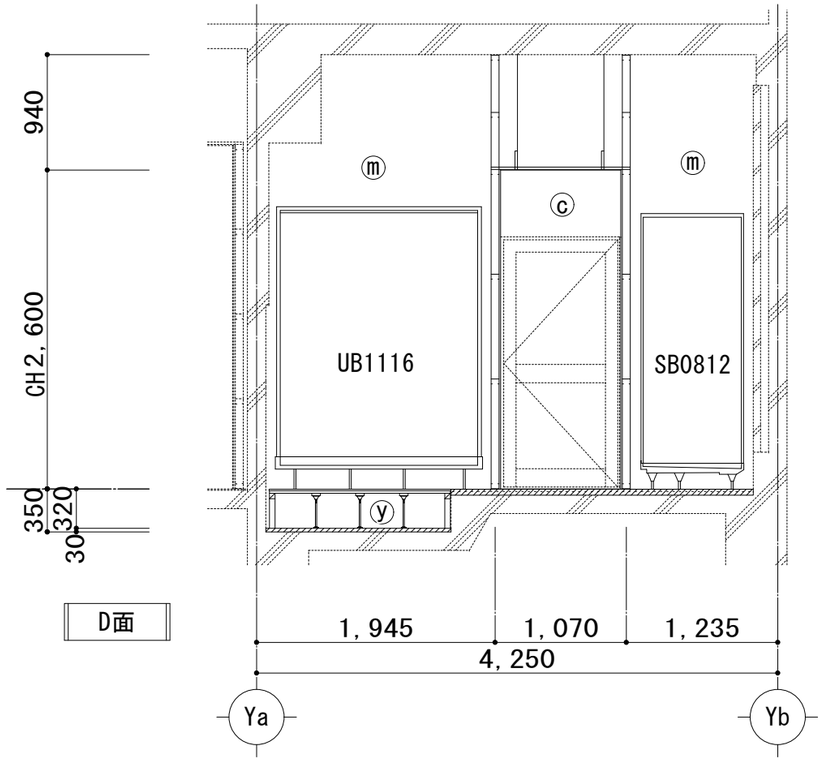
ⓐ	LGS65+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓑ	LGS65+GB-R厚12.5+化粧ｹｲｶﾙ板厚6
ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ塗+化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6
ⓓ	GB-S厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床
ⓜ	既設のまま

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名	浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale
2023.3						図面名	改修後展開図２	1/50

No. A-39





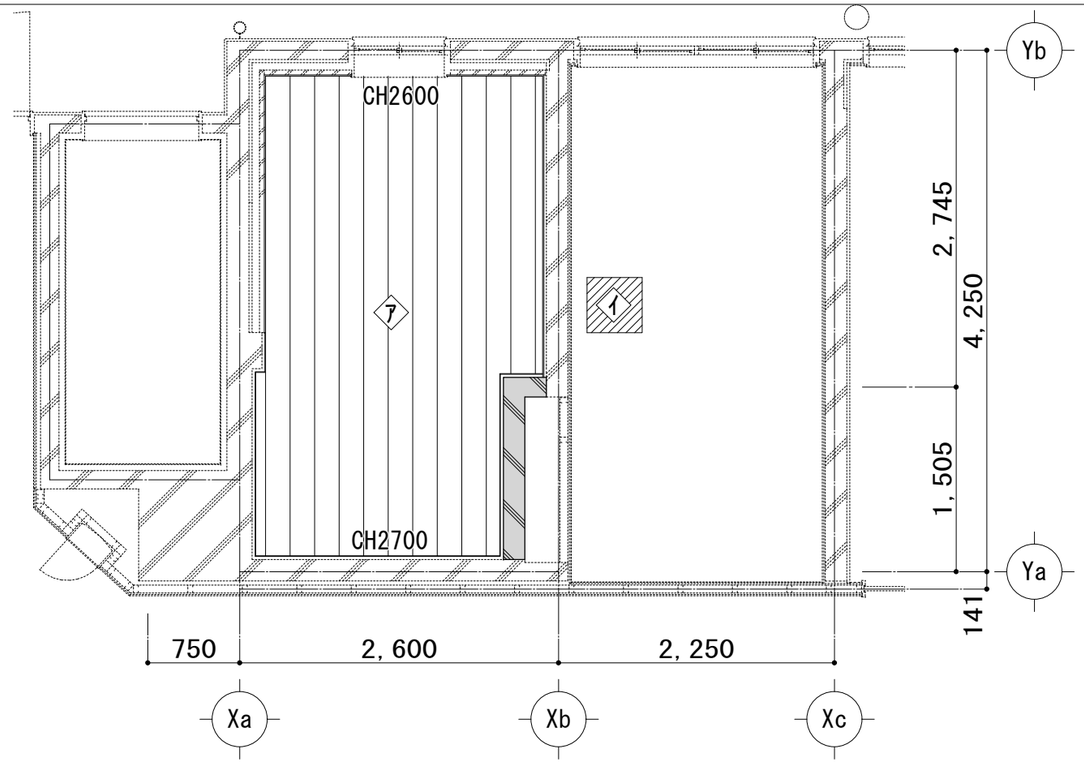


ⓐ	LGS65+GB-R厚12.5+NAD塗
ⓑ	LGS65+GB-R厚12.5+化粧ｹｲｶﾙ板厚6
ⓒ	ﾓﾙﾀﾙ塗+化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6
ⓓ	GB-S厚12.5(直張り)+NAD塗
ⓗ	ﾋﾞﾆﾙ巾木H100
ⓨ	樹脂製束床
ⓜ	既設のまま

date		株式会社 匠(たくみ)設計	設計者	担当	作図	工事名 浴室個室化改良工事（門真消防署　南部出張所）	scale
2023.3						図面名 改修後展開図３	1/50

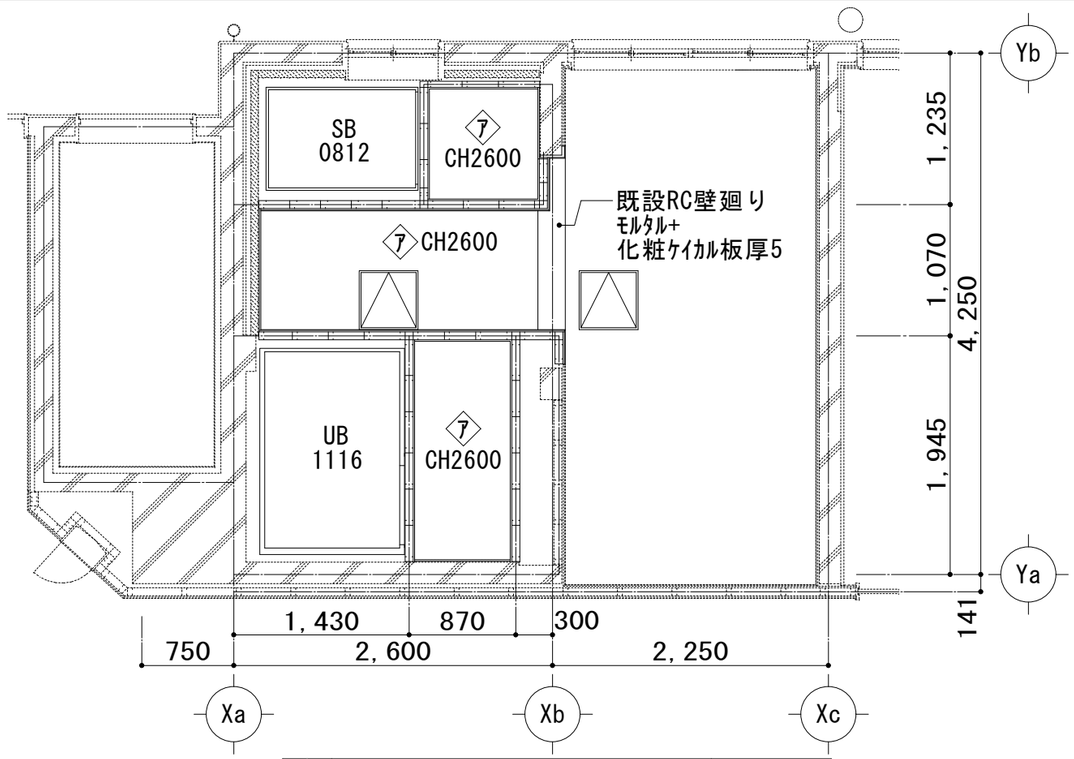
No. A-40

既存改修後天井伏図



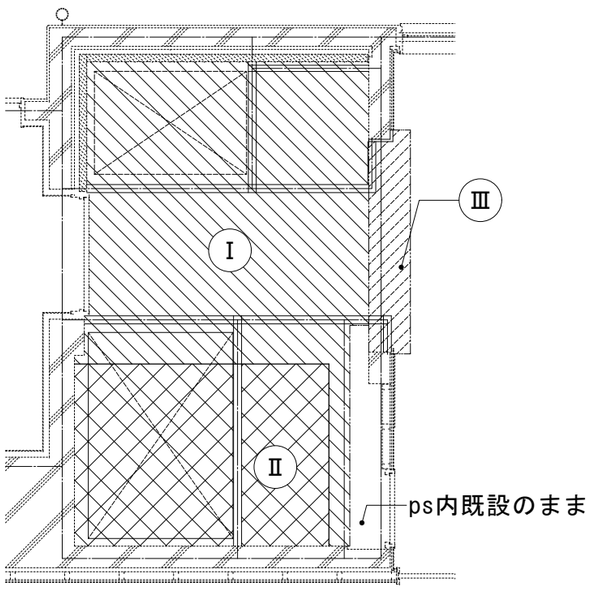
既存		
⑦	LGS19+ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ撤去(LGSとも)	
①	LGS19+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6+EP塗撤去(LGSとも)	

天井伏図　1/50

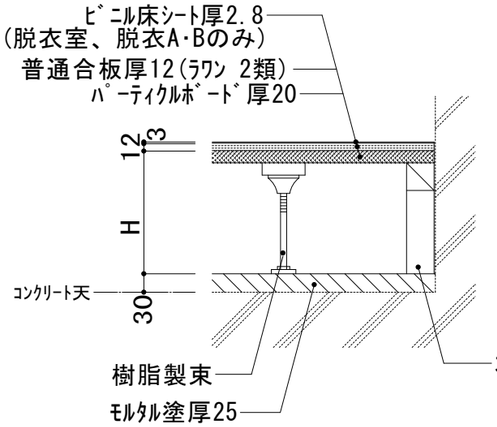


改修後		
⑦	LGS19+ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6+NAD塗	塩ﾋﾞ廻縁
	天井点検口 450×450 ｱﾙﾐ額縁	

改修後床伏図



床伏図　1/50



参考値

	H
Ⅰ	ﾓﾙﾀﾙ厚47のみ
Ⅱ	305
Ⅲ	薄塗ﾓﾙﾀﾙ厚7

※ 既存浴槽撤去後実測を行い、
監督員の承諾を得ること

床詳細図　1/10

date		設計者	担当	作図	工事名	scale	No.
2023.3	株式会社 匠(たくみ)設計				浴室個室化改良工事 (門真消防署　南部出張所)	1/10 1/50	A-41
					図面名 既存改修後天井伏図･改修後床伏図		